



浜松市戦略計画2019 評価レポート



戦略計画 2019 の評価に当たって

政策・事業シートの評価結果に基づき、戦略計画の評価書である「戦略計画 2019 評価レポート」を作成しました。本書により、総合計画の進捗管理を行い、次年度以降の事業展開に向け、経営資源の最適化を図っていきます。

令和 2 年 7 月

— 目 次 —

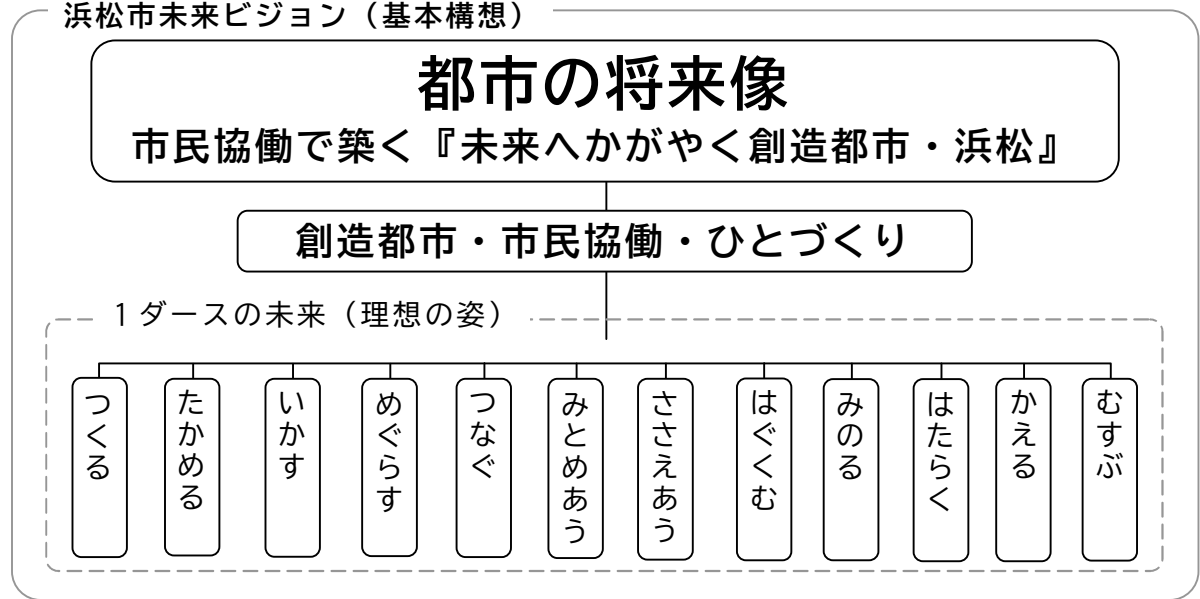
| | | |
|-----|-------------------------|-----|
| I | 評価の位置付け | 1 |
| II | 分野別計画の評価 | 5 |
| | [参考]指標達成率・平均指標達成率の計算方法 | 6 |
| 1 | 産業経済 | 7 |
| 2 | 子育て・教育 | 27 |
| 3 | 安全・安心・快適 | 45 |
| 4 | 環境・エネルギー | 75 |
| 5 | 健康・福祉 | 84 |
| 6 | 文化・生涯学習 | 98 |
| 7 | 地方自治・都市経営 | 106 |
| III | 総合戦略の評価 | 135 |
| | [参考]指標達成率・平均指標達成率の計算方法 | 136 |
| | 基本目標Ⅰ 「若者がチャレンジできるまち」 | 137 |
| | 基本目標Ⅱ 「子育て世代を全力で応援するまち」 | 142 |
| | 基本目標Ⅲ 「持続可能で創造性あふれるまち」 | 146 |
| IV | 重点戦略の評価 | 153 |
| | [参考]指標達成率・平均指標達成率の計算方法 | 154 |
| 1 | オール浜松で地域産業を盛り上げる | 155 |
| 2 | 子育てから教育まで 続「こども第一主義」 | 163 |
| 3 | 実感！ 健康寿命日本一 | 169 |
| 4 | きれいな浜松をいつまでも | 173 |
| 5 | 安全・安心で強靱な日本一暮らしやすいまち | 177 |
| 6 | 市民協働が奏でるこころ豊かなまちづくり | 182 |
| 7 | 持続可能な都市経営の推進 | 187 |

I 評価の位置付け



1 浜松市総合計画の体系

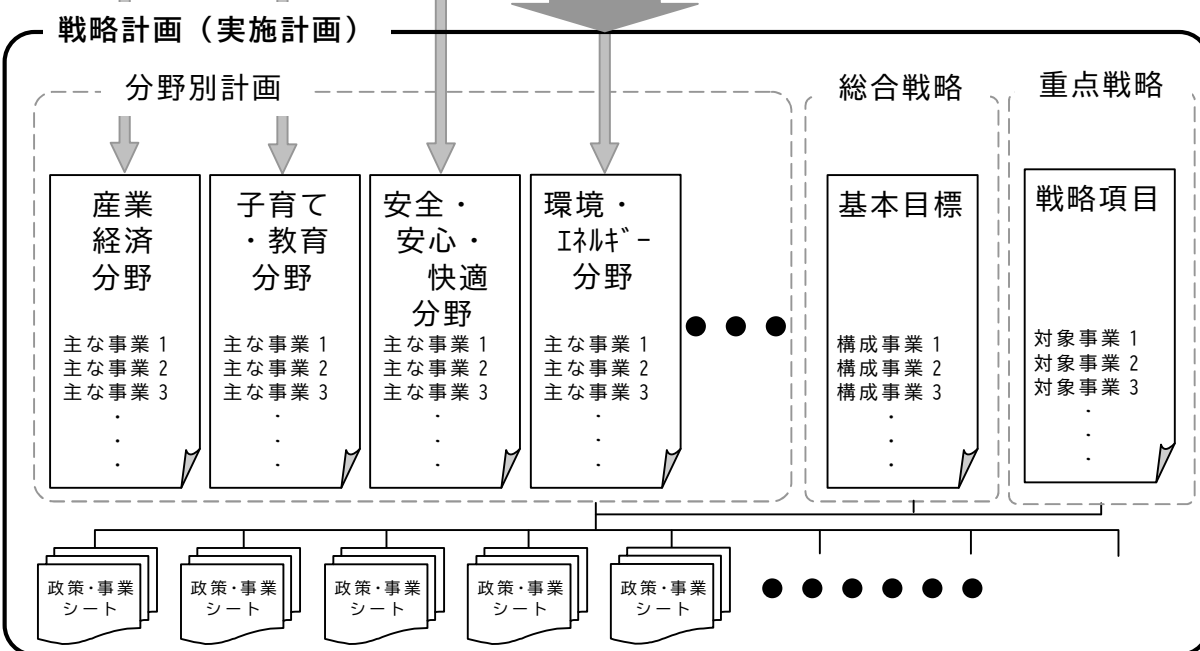
浜松市未来ビジョン（基本構想）



第1次推進プラン（基本計画）



個別計画

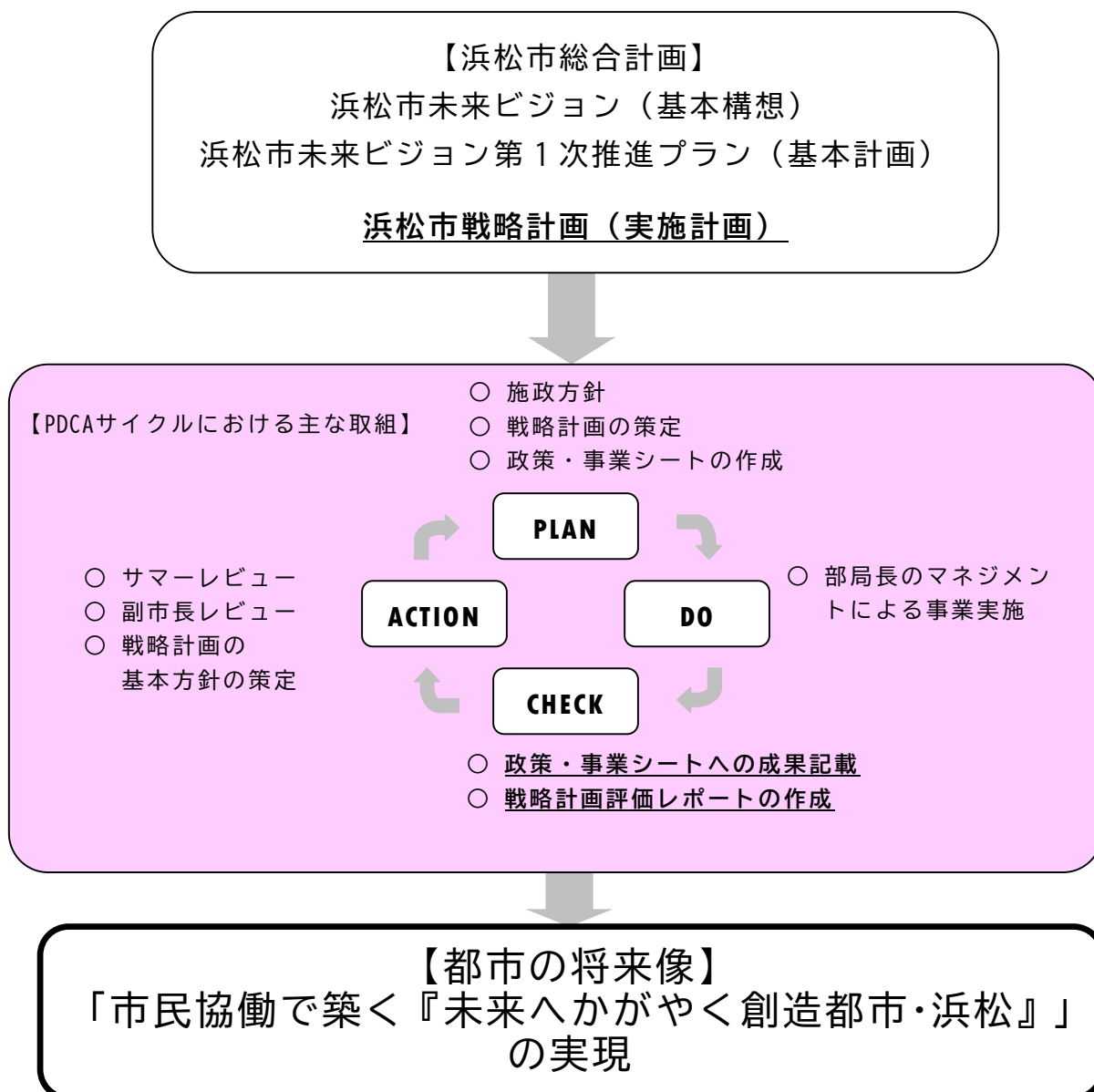


2 戦略計画を核とする経営の仕組み

浜松市総合計画は、浜松市未来ビジョン（基本構想）【計画期間 30 年：2015～2044 年度（平成 27～令和 26 年度）】、第 1 次推進プラン（基本計画）【計画期間 10 年：2015～2024 年度（平成 27～令和 6 年度）】、戦略計画（実施計画）【計画期間 1 年】の 3 層構造としています。

戦略計画は、政策実現のために進める具体的な事業を示す実施計画として毎年策定し、事業実施の翌年度には、実施状況を評価する戦略計画評価レポートを作成します。

戦略計画を核とした PDCA サイクルによる経営の仕組みにより、①意思決定の仕組み、②資源配分の仕組み、③分かりやすい市政情報の提供を図ります。



3 戦略計画 2019 の構成

令和元年 5 月に策定した「戦略計画 2019」は、以下の構成となっています。

(1) 分野別計画

第 1 次推進プラン（基本計画）を具体化し、部局や課の経営方針を明確にするため、7 つの分野、19 の基本政策、112 の政策について、主な事業を掲載し、資源配分として職員数や予算額を示したものです。

(2) 総合戦略

「浜松市“やらまいか”総合戦略」【計画期間 5 年：2015～2019 年度（平成 27～令和元年度）】の基本目標達成に向けた 44 の施策について主な事業を掲載し、重要業績評価指標（KPI）や計画値、実績値と総合戦略最終年度の目標値を示したものです。

(3) 重点戦略

市長が市民の皆様へ実行をお約束した「やりますリスト」219 項目について、重点戦略【計画期間 4 年：2019～2022 年度（令和元～4 年度）】として位置付け、対象事業を掲載し、指標項目や計画値と重点戦略最終年度の目標値を示したものです。

(4) 政策・事業シート

市が取り組む政策・事業について、前年度の政策・事業の成果と本年度に実施する政策・事業の概要、指標の目標値、予算・人員の配分を示しているものです。

4 評価について

(1) 政策・事業シートによる評価

政策・事業シートを用いて、当該年度の評価を事業所管課で実施します。政策シートでは政策全体について、事業シートでは個々の事業について、指標に対する実績値を記載し、進捗状況を振り返ります。

(2) 戦略計画評価レポート

当該年度の主な取組について記載するとともに、政策・事業シートの評価結果に基づき、分野別計画、総合戦略、重点戦略ごとに指標達成率による ABC 評価を行っています。本書により、総合計画の進捗管理を行い、次年度以降の事業展開に向け、経営資源の重点化、事業のスクラップ・アンド・ビルドを推進していきます。

Ⅱ 分野別計画の評価



| | |
|-------------|----------|
| 1 産業経済 | (P. 7) |
| 2 子育て・教育 | (P. 27) |
| 3 安全・安心・快適 | (P. 45) |
| 4 環境・エネルギー | (P. 75) |
| 5 健康・福祉 | (P. 84) |
| 6 文化・生涯学習 | (P. 98) |
| 7 地方自治・都市経営 | (P. 106) |

[参考] 指標達成率・平均指標達成率の計算方法

【指標達成率の計算方法】

① 上昇することが目標値となっている指標

実績値 ÷ 計画値 × 100 (%) [小数点以下切り捨て]

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-------------|------------------|---------------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 〇〇の推進 (〇〇課) | △△事業 参加人数 (人) | 200 | 180 | 90% | 88% | B |
| | □□規制 違反件数 (件) | 90 | 120 | 75% | | |
| | ◎◎事業 | 180 ÷ 200 × 100 (%) = 90% | | | | |

② 減少することが目標値となっている指標

計画値 ÷ 実績値 × 100 (%) [小数点以下切り捨て]

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-------------|------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 〇〇の推進 (〇〇課) | △△事業 参加人数 (人) | 200 | 180 | 90% | 88% | B |
| | □□規制 違反件数 (件) | 90 | 120 | 75% | | |
| | ◎◎事業 認定数 (件) | 50 | 75 | 150% | | |

90 ÷ 120 × 100 (%) = 75%

【平均指標達成率の計算方法】

指標達成率の平均値 [小数点以下切り捨て]

*指標達成率の値が 100%以上の場合は、100%として計算

*指標達成率の値が “-” の場合は、平均指標達成率の計算から除外する。

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-------------|------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 〇〇の推進 (〇〇課) | △△事業 参加人数 (人) | 200 | 180 | 90% | 88% | B |
| | □□規制 違反件数 (件) | 90 | 120 | 75% | | |
| | ◎◎事業 認定数 (件) | 50 | 75 | 150% | | |

$$(90\% + 75\% + 100\%) \div 3 = 88\%$$

産業経済

| | |
|------------------------|--|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。 |
| 政策の柱 (10年後) | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。 |
| 基本政策① | 世界の一步先を行く産業・サービスの創造 |
| 責任者 | 産業部長 宮城 和敬 産業部 観光・ブランド振興担当部長 石坂 守啓 |
| 評価 | B 指標達成率の平均 85% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|---|-------|----------|
| 新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現（産業総務課） | 82% | B |
| 新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現（産業振興課） | 100% | A |
| 海外需要を取り込み、国内事業の活性化を図るため中小企業の海外展開を促進（産業振興課） | 59% | C |
| 企業誘致の推進による産業集積の促進（企業立地推進課） | 100% | A |
| 新規創業や新事業展開の促進（産業振興課） | 69% | B |
| 魅力ある都心づくりと商業振興（産業振興課） | 82% | B |
| 観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化（観光・シティプロモーション課） | — | — |
| 世界を含めた都市間競争を勝ち抜くシティプロモーションの展開（観光・シティプロモーション課） | 95% | B |
| だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備（産業総務課） | 100% | A |

主な取組(成果・課題など)

♪ 新産業創出に向けた技術開発や事業化を支援します。

新産業創出事業費補助金を交付することにより中小企業20社の新技術・新製品開発を支援しました。また、浜松地域イノベーション推進機構を通じて、技術開発支援、企業間マッチング支援など既存産業の高度化・高付加価値化、新産業創出に向けた取り組みを支援しました。

その結果、企業間マッチングでは83件のマッチング機会を提案し、12件を成約につなげることにできました。また、フォトンバレーセンターでは光・電子技術の活用により技術的経済的課題を解決するA-SAP事業により、8件の新規プロジェクトが生まれました。さらに、次世代自動車センターでは、中小企業の固有技術を活かした技術マッチングにより、8件の商談機会を提供することができました。

♪ベンチャーキャピタルがベンチャー企業に投資し易い環境の整備や、成長が期待されるベンチャー企業に実証実験の場を提供すること等により、ベンチャー企業の誘致・育成を推進します。

ファンドサポート事業を実施し、ベンチャーキャピタル9社を認定するとともに、市内ベンチャー3社の資金調達を支援しました。また、実証実験サポート事業を実施し、首都圏ベンチャー5社の実証実験プロジェクトを支援しました。その他、ベンチャー経営塾の開講、サテライトオフィスの運営、IT人材育成・獲得支援事業、ハッカソン、ものづくりコワーキングスペース整備事業などを通じて、市内ベンチャーの成長支援および首都圏等のベンチャー誘致に取り組みました。首都圏におけるベンチャー企業の誘致活動では、563件の企業訪問等を実施しました。

その結果、新規ベンチャー創業数7社、ベンチャー企業の進出数5社、28.8億円の資金調達につなげることができました（令和元年11月時点。令和2年8月確定予定）。

♪ 近年加速する自動車産業の技術革新に対応するため、中小企業の固有技術を活かし、次世代に向けた自動車産業の活性化を目指す次世代自動車センター事業を支援します。

次世代自動車センターを通じて、地域企業が次世代自動車に搭載する部品を開発するために必要な技術啓発、技術研鑽、技術創造、人材育成、販路開拓の5つの支援策を実施しました。具体的には主に会員企業（342社。令和2年3月末時点）に対し、次世代自動車に関する情報提供や知識習得を促す講座、セミナー等を年間17事業（29回）開催し、延べ2,112名の参加がありました。また、会員企業の「固有技術」を可視化するため、固有技術探索基礎講座の開催、専門性の高い技術コーディネーターの企業訪問により同センターが企業個々の「固有技術探索チャート」を作成し支援するなど、38社に対し「固有技術」探索を支援しました。その結果、30社がコネクテッド、自動運転、シェアリング&サービス、電動化への取り組みを進めました。

♪ 海外ビジネスサポートデスクなどを活用した海外ビジネス展開を支援します。

市内中小企業の海外展開に向け、総合的な相談・支援窓口「海外ビジネスサポートデスク」の設置やタイ、ベトナム、インドネシア政府との覚書に基づいた連携事業の実施、国際見本市への共同出展などの取り組みを行いました。

その結果、年間98件（国内48件、海外50件）の相談を受け付け、市内企業の新規進出や現地での事業拡大を支援するとともに、光・電子技術の見本市「Photonics West 2020」をはじめとした、大規模な3つの国際見本市への参加の支援を行い、計12社の参加、48件の商談を行うなど、活力ある海外市場の需要を取り込み、地域経済の持続的発展につなげることができました。

♪ 第三都田工場用地を中心として、新たなリーディング産業の誘致を推進します。

北区都田町の新・産業集積エリアの第三都田地区工場用地について、令和元年度までに全13区画（34.9ha）の造成を完了させ、8区画（30.8ha）の用地を進出企業へ引き渡しました。令和元年度に分譲した2区画（18.2ha）に、新たなリーディング産業の核となる県外の優良企業を誘致するなどの成果をあげることができました。

また、戦略的な企業立地推進として、市内外の企業の立地計画を把握するためのアンケート調査や本市への立地を促す企業訪問など誘致活動を実施するなかで、用地情報の提供などの立地支援を行い、34件の立地も決定しました。

♪ 産官学金の連携による創業・事業承継を支援します。

はままつスタートアップ（浜松地域の産学官金の各創業支援機関の連携体制）の中心総合窓口の役割を持つ「はままつ起業家カフェ」を浜松商工会議所会館内で運営し、創業や新事業展開を考えている方への相談や情報収集ができる場の提供、創業支援セミナーなどを実施しました。365人の新規相談者などに対し、延べ1,201回の相談に応じた結果、114人の新規創業につなげることができました。事業承継については、企業（個人事業主含む）への訪問相談及び市内4商工会での相談会を実施し、あわせて41件の相談を受けました。

♪ 公共空間の利活用など都心におけるにぎわい創出を促進します。

都心の空き床等の遊休不動産利活用促進を目的にリノベーションシンポジウムを開催し、ビルオーナー等の不動産所有者の意識啓発を図るとともに、家守育成トレーニングを実施し、まちづくりの担い手となる事業者の育成に取り組みました。また、リノベーションスクールでは、これまでの個人事業者を対象とした取組と併行し、新たに民間企業の事業参画を促す「リノベーションスクール（企業版）」を追加することで、一層の事業化促進を図りました。その結果、スクール提供物件に関しては、コワーキングスペースやコミュニティスペースの設置など2件が事業化し、空き床等の利活用が進みました。さらに、都心の就業者人口の増加を図るため、オフィス誘致を積極的に展開した結果、3社が都心にオフィスを開設しました。

併せて、新川モールについて、中心市街地の回遊性向上や新たな憩いや賑わいの拠点として整備するための設計を行いました。

♪ 浜名湖観光圏整備計画に基づく滞在型の観光地づくりを推進します。

平成31年3月に策定した、第3期となる浜名湖観光圏整備計画に基づき、地域連携DMOである「浜松・浜名湖ツーリズムビューロー」をプラットフォームとして、観光誘客事業を実施しました。

浜名湖観光圏では、着地型旅行商品予約販売システムとして、令和2年2月にサイトのリニューアルを行った「はままつ大好きネット『ちょい旅ガイド』」を運営し、体験型観光商品の提供を通じた滞在型観光の推進に努めました。

また、令和元年5月には、国の「ガーデンツーリズム登録制度」に「アメージングガーデン・浜名湖」が登録され、11月にシンポジウムを開催したほか、令和2年3月から共通入場券の販売を開始するなど、ガーデンツーリズムの普及・啓発や回遊促進策に取り組みました。

♪ 静岡デスティネーションキャンペーンや大河ドラマ「いだてん」など、大型イベントを活用した観光誘客を推進します。

静岡デスティネーションキャンペーンでは、平成31年4月から令和2年6月までを期間として、東海旅客鉄道(株)をはじめとした関係機関と協力し、観光列車「花フェスタ号」の運行や、大都市圏での観光キャラバンなどによるプロモーション活動を展開したほか、観光コンテンツとして50のキャンペーン商品を企画し、旅行商品の造成を通じた誘客等に努めました。その結果、当地域では、期間中の施設における入込客数が前年比10%増、宿泊客数は前年比10%増となりました。

「いだてん」では、「浜松魅力発信館 ザ・ゲート・ハママツ」内に7月～12月に「いだてん展」を開催したほか、7月に「田畑政治写真展」、8月と12月にトークツアーを実施するなど、主人公の一人である田畑政治氏の出身地として田畑氏の功績を顕彰しつつ、本市への観光誘客や地域振興につなげました。また、「ザ・ゲート・ハママツ」では、2020年が家康公が浜松城を築城して450年の記念の年になることから、大河ドラマ「いだてん」の放送終了後、令和2年1月に展示の大幅なリニューアルを実施、VRなどの技術を活用したコンテンツも追加し、多様な楽しみ方を提供しました。

♪ 東南アジア地域やラグビーワールドカップ2019を活用した欧州及び豪州からの訪日外国人旅行者の誘客を推進します。

中国、台湾をはじめとした東アジアや、タイ、ベトナム、マレーシアなどの東南アジアを重点市場に位置付け、周辺自治体との広域連携や、二次交通事業者や地域観光事業者との官民連携によって、広域観光ルートの設定や商品造成、誘客セールス・プロモーションを行いました。

また、ラグビーワールドカップ2019TMの観戦を目的に訪日する外国人旅行者を誘客するため、デジタルマーケティングを活用したウェブプロモーションや受入環境整備によって、本大会を契機とした欧米豪市場開拓に取り組みました。

♪ 「出世の街」や「ビーチ・マリンスポーツの聖地」など、本市の多彩な魅力を活用したシティプロモーションを推進します。

出世大家康くんのSNS (Twitter、Facebook、Instagram) 等を活用して、「出世の街」をはじめとする本市の観光・シティプロモーション情報を発信するとともに、多種多様なビーチ・マリンスポーツを行うことができる浜名湖・遠州灘の魅力等をYouTubeや「ビーチ・マリンスポーツの聖地 浜松ウェブサイト」等で全国へ発信しました。

また、日本航空(株)や(株)dancearthの企業と連携したプロモーションを実施し、本市の多彩な魅力の発信に繋げることができました。

♪ 「ふるさと納税」制度を通じた寄附金の獲得及び地場産品の流通を拡大します。

ふるさと納税ポータルサイトを活用し、「浜名湖うなぎ」や「浜松餃子」、「三ヶ日みかん」など、約1,000種類の地場産品を全国にPRするとともに、寄附者への返礼品として約4.5億円分の地場産品を全国に流通させました。

令和元年度の寄附金は前年を上回る約16.3億円、寄附件数は88,780件でした。

♪ UIJターン就職、女性の就労や高齢者継続雇用の促進など、産業人財の確保と働きやすい労働・雇用環境の創出を目指します。

働くことを希望する誰もが就業できる社会の実現と地域産業の人財確保に向け、子育て等により離職した女性の再就職支援など、女性の就労支援に取り組み、87名の就業に結びつけることができました。また、70歳になっても働き続けることができる環境を整備している事業者を高齢者活躍宣言事業所として52社認定しました。

UIJターン就職の促進については、UIJターン就職を希望する大学生や転職希望者の個別相談窓口として、首都圏・中京圏等の大学や静岡県移住相談センターなど212箇所にアドバイザーを派遣し、市内企業とのマッチングを支援した結果、134名の内定者に結びつけることができました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。(予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額)

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 一 | 14,888 | 一 | 14,094 |
| 特 | 13,418 | 特 | 12,723 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 28,306 | 計 | 26,817 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現 (産業総務課) | 新規融資あっ旋件数 (申請件数) (件) | 270 | 125 | 46% | 82% | B |
| | はかりの定期検査における合格率 (%) | 100 | 99.9 | 99% | | |
| | 商品量目立入検査における適正商品率 (%) | 100 | 99.1 | 99% | | |
| | 収益保証(売上×保証率 (1.4%~2.0%))H30 ~R4契約 (千円) | 180,800 | 152,559 | 84% | | |
| 中小企業金融支援事業 【1】 | 新規融資額 (千円) | 1,500,000 | 1,043,950 | 69% | 69% | B |
| 中小企業活性化支援事業 【3】 | 商工会会員数 (社) | 5,750 | 5,750 | 100% | 91% | B |
| | 事業承継相談の件数 (R1~累計) (件) | 50 | 41 | 82% | | |
| 新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現 (産業振興課) | 新技術・新製品開発などの事業化件数 (件) | 35 | 46 | 131% | 100% | A |
| 産業イノベーション推進事業 【1・2・4・5・9】 | 新技術・新製品開発などの事業化件数 (件) | 35 | 46 | 131% | 100% | A |
| | 粗付加価値額【従業者4人以上の事業所】 (千円) | 92,953 | R2. 12頃確定 | — | | |
| | 電動化への取組社数 (社) | 10 | 23 | 230% | | |
| | 産学官金連携による新事業プロジェクト件数 (件) | 5 | 6 | 120% | | |
| | 受講生と企業のマッチング成功件数 (件) | 20 | 21 | 105% | | |
| 首都圏ビジネス情報センター事業【10】 | 企業、大学等の訪問件数 (件) | 350 | 563 | 160% | 100% | A |
| ベンチャー企業誘致事業 | サテライトオフィス誘致企業数 (社) | 2 | 0 | 0% | 0% | C |
| | 首都圏等から誘致したベンチャー企業数 (社) | 1 | R2. 8頃確定 | — | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--|-----------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 海外需要を取り込み、国内事業の活性化を図るため中小企業の海外展開を促進 (産業振興課) | 見本市出展企業の成約件数(件) | 25 | 10 | 40% | 59% | C |
| | 海外展開企業数(社) ※県の調査によるもの | 165 | 130 | 78% | | |
| 海外ビジネス展開支援事業【6】 | 見本市出展企業の成約件数(件) | 25 | 10 | 40% | 59% | C |
| | 海外展開企業数(社) ※県の調査によるもの | 165 | 130 | 78% | | |
| 企業誘致の推進による産業集積の促進 (企業立地推進課) | 分譲面積に占める売却済み面積の割合(%) | 88 | 88 | 100% | 100% | A |
| | 企業立地決定件数(H27～累計)(件) | 116 | 130 | 112% | | |
| 新・産業集積エリア整備事業【11】 | 分譲面積に占める売却済み面積の割合(%) | 88 | 88 | 100% | 100% | A |
| | 工場用地開発面積(R1～累計)(ha) | 15 | 35 | 233% | | |
| 企業立地推進事業【12・13】 | 企業立地決定件数(H27～累計)(件) | 116 | 130 | 112% | 100% | A |
| | 市有工業団地の分譲面積に占める売却済み面積の割合(%) | 88 | 88 | 100% | | |
| | 立地企業の新規雇用人数(R1～累計)(人) | 150 | 365 | 243% | | |
| 新規創業や新事業展開の促進 (産業振興課) | 創業支援事業に伴う新規創業者数(法人登記数)(人) | 120 | 130 | 108% | 69% | B |
| | インキュベーション施設入居率(%) | 100 | 38.2 | 38% | | |
| 創業支援事業【7・8】 | 法人開業数(件) | 850 | R2.9頃確定 | — | 100% | A |
| | 創業支援事業に伴う新規創業者数(法人登記数)(人) | 120 | 130 | 108% | | |
| | HI-Cube入居企業の営業利益増加企業数(社) | 10 | R2.9頃確定 | — | | |
| | 市内企業に対するベンチャーキャピタルの投資額(百万円) | 190 | R2.8頃確定 | — | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---------------------------|----------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 魅力ある都心づくりと商業振興 (産業振興課) | 中心市街地の空き店舗 区画数(区画) | 53 | 68 | 77% | 82% | B |
| | 中心市街地の居住者人 口(人) | 13,100 | 11,974 | 91% | | |
| | 商店街が商業者以外と 連携して行った事業数 (件) | 5 | 4 | 80% | | |
| 商店街振興対策事業 | 商店街が商業者以外と 連携して行った事業数 (件) | 5 | 4 | 80% | 54% | C |
| | 商業者連携促進支援事 業費助成事業の採択件 数(件) | 14 | 4 | 28% | | |
| 中心市街地活性化施策調査 研究事業 | 歩行者通行量(休日・ 中心市街地8地点) (人) | 109,300 | 130,416 | 119% | 92% | B |
| | 公共施設の入場者数 (人) | 1,550,000 | 1,685,230 | 108% | | |
| | 中心市街地の居住者人 口(人) | 13,100 | 11,974 | 91% | | |
| | 中心市街地の空き店舗 区画数(区画) | 53 | 68 | 77% | | |
| 都心機能集積支援事業 【28・31】 | オフィス開設費用助成 件数(件/年) | 3 | 3 | 100% | 100% | A |
| | ギャラリーモール利用 率(区分1のみ)(%) | 60 | 65.3 | 108% | | |
| | 新川モール整備進捗率 (%) | 25 | 25 | 100% | | |
| まちなか回遊性推進事業 | 歩行者通行量(休日・ 中心市街地8地点) (人) | 109,300 | 130,416 | 119% | 100% | A |
| 地域産業振興支援事業 | バイクのふるさと浜松 来場者数(人) | 24,000 | 24,000 | 100% | 100% | A |
| | 粗付加価値額【従業員4 人以上の事業所】(千 万円) | 92,953 | R2.12頃確定 | — | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---|----------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|-----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 観光・コンベンションの振興 による地域経済の活性化 (観光・シティプロモーション課) | 観光交流客数(千人) | 23,700 | R2.10頃確定 | — | — | — |
| | 観光客誘致事業【33】 | 観光交流客数(千人) | 23,700 | R2.10頃確定 | — | 92% |
| | 滞在プログラム数(件) | 100 | 92 | 92% | | |
| 海外戦略推進事業【36・37】 | トップセールスの実施回数(回) | 3 | 3 | 100% | 100% | A |
| | 外国人延べ宿泊者数(千人/年) | 360 | R2.10頃確定 | — | | |
| | 欧米豪からの外国人宿泊客数(千人/年) | 36 | R2.10頃確定 | — | | |
| MICE推進事業【38】 | 国際会議等誘致件数(件) | 5 | 8 | 160% | 82% | B |
| | 新規賛助会員数(団体) | 35 | 11 | 31% | | |
| | コンベンション支援件数(件) | 200 | 301 | 150% | | |
| | コンベンション総消費額(億円) | 90 | 92 | 102% | | |
| 浜松・浜名湖DMO形成支援事業【34】 | 一人当たり旅行消費額(円) | 23,200 | R2.10頃確定 | — | 95% | B |
| | 来訪者満足度(%) | 90 | 86 | 95% | | |
| 観光宣伝事業【44】 | 観光交流客数(千人) | 23,700 | R2.10頃確定 | — | 100% | A |
| | 撮影支援件数(件) | 190 | 206 | 108% | | |
| ふるさと納税事業 | ふるさと納税寄附額(百万円) | 1,500 | 1,628 | 108% | 100% | A |
| | ふるさと納税寄附件数(件) | 75,000 | 88,780 | 118% | | |
| 世界を含めた都市間競争を勝ち抜くシティプロモーションの展開 (観光・シティプロモーション課) | 浜松市の魅力度(地域ブランド調査)(位) | 42 | 44 | 95% | 95% | B |
| | 浜松市の魅力度(地域ブランド調査)(位) | 42 | 44 | 95% | | |
| シティプロモーション事業【42・43・198】 | サポーターズクラブ会員数(人) | 1,450 | 1,522 | 104% | 70% | B |
| | 市区町村別認知度ランキング(全国順位) | 15 | 28 | 53% | | |
| | 市区町村別認知度ランキング(県内順位) | 1 | 3 | 33% | | |
| | 魅力発信拠点施設の入場者数(千人) | 250 | 225 | 90% | | |
| 魅力発信拠点施設管理運営事業 | 魅力発信拠点施設の入場者数(千人) | 250 | 225 | 90% | 90% | B |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|------------------------------------|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| だれもが働きやすい労働・雇 用環境の整備 (産業総務課) | ハローワーク浜松管内 の有効求人倍率(年平均) (倍) | 1.00 | 1.42 | 142% | 100% | A |
| | 支援女性の就業率 (%) | 50 | 53 | 106% | | |
| 雇用促進事業【14・15・ 16・19・121】 | ハローワーク浜松管内 の有効求人倍率(年平均) (倍) | 1.00 | 1.42 | 142% | 88% | B |
| | 支援女性の就業率 (%) | 50 | 53 | 106% | | |
| | COC+への市内参加校卒 業生の市内就職率 (%) | 24.6 | 20.7 | 84% | | |
| | UIJターン就職支援 マッチングアドバイザー 派遣事業による内 定者数(人) | 40 | 134 | 335% | | |
| | 外国人留学生のイン ターンシップフェア参 加者数(人) | 35 | 17 | 48% | | |
| 高齢者活躍宣言事業所 認定制度の認定事業所 数(件) | 30 | 52 | 173% | | | |

| | | |
|--------------|---------------------|------------------------|
| 基本政策② | 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業 | |
| 責任者 | 産業部 農林水産担当部長 山下 文彦 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 91% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|------------------------------------|-------|----|
| 農業参入機会の創出による担い手の確保 （農業水産課） | 100% | A |
| 農業参入機会の創出による担い手の確保 （農業振興課） | 74% | B |
| ICTを活用した魅力あふれる農業への変革 （農業水産課） | 100% | A |
| 生産基盤の安定による農業振興 （農業水産課） | 93% | B |
| 生産基盤の安定による農業振興 （農業振興課） | 82% | B |
| 生産基盤の安定による農業振興 （農地整備課） | 78% | B |
| 生産基盤の安定による農業振興 （農地利用課） | 66% | B |
| 産業と市民活動による担い手の確保 （農業水産課） | — | — |
| 産業と市民活動による担い手の確保 （農業振興課） | 91% | B |
| 適切な伐採と流通の活性化 （林業振興課） | 99% | B |
| 森林管理を通じた環境対応社会への貢献 （林業振興課） | 100% | A |
| 適切な資源管理による水産業の振興 （農業水産課） | 100% | A |
| 漁港などの基盤整備による水産業の振興 （農業水産課） | 92% | B |
| 地元水産物の消費の活性化 （農業水産課） | 100% | A |
| 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定 （中央卸売市場） | 100% | A |
| 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定 （食肉地方卸売市場） | 100% | A |

主な取組(成果・課題など)

♪ 「浜松市農業振興ビジョン」に基づき、農業経営者の育成や先端技術の活用などにより、チャレンジ・工夫で「もうかる農業」を実現します。

農業振興ビジョンの基本理念である、チャレンジ・工夫で「もうかる農業」を実現するため、「担い手の確保」に向け、農業経営塾卒塾生に対する個別フォローアップやセミナーの開催を行い、農業経営者のさらなるレベルアップを図ることができました。また、「ICTを活用した農業の変革」に向け、スマート農業の普及への体制整備及び調査事業に取り組み、国のスマート農業加速化プロジェクトの採択などの成果がありました。さらに、「生産基盤の安定」に向け、農地の貸出・売却希望情報を一元管理し公開する農地銀行事業や土地所有者と耕作者の貸借契約に公的機関が入る農地中間管理事業を積極的に実施し、農地の流動化（耕作目的での農地の権利移動）を促進し、農地利用の効率化と生産性の向上を推進したほか、農商工連携・6次産業化に対する支援、フードEXPO香港への出展支援により、1次産業者と2、3次産業者が連携する新たな取組や海外販路に挑戦する事業者を創出することができました。

♪ FSC森林認証制度に基づく持続可能な森林管理と大都市・大企業などとの官民連携による天竜材・天竜材製品の流通・販路拡大に取り組み、林業成長産業化を推進します。

天竜材の需要拡大、ブランド化を進めるため、FSC認証材の更新・拡大に必要な「森林認証推進事業」を行い、森林認証面積が48,542haという実績を収め、FSC認証取得面積（市町村別）日本一を維持することができました。また、東京2020大会関連施設（有明体操競技場、選手村ビレッジプラザ等）での天竜材使用や森林資源を活用した都市間連携などに取り組みることにより、天竜材の認知度が全国で向上し、天竜材の流通、販路拡大に繋げることができました。

経営管理が行われていない森林の整備に向け、森林経営管理法の「新たな森林管理システム」に基づいた「森林経営管理推進事業」を行い、地元林業事業体と連携し、森林所有者の意向調査（面積:160ha、森林所有者:96人）を実施することで、林業経営の効率化を図りました。

♪ 舞阪漁港・村櫛漁港の整備や、水産資源の保護、育成に努め、持続可能な水産業を目指します。

水産業を支える漁港等の機能を維持するため、市営村櫛漁港臨海護岸機能保全工事や前田物揚場機能保全工事を実施するとともに、県営舞阪漁港水産流通基盤整備事業、水産物供給基盤機能保全事業等に取り組み、漁業者の利便性及び安全性の向上につなげることができました。

また、水産資源の適切な管理に向け、水産業振興助成事業費補助金の交付により漁業協同組合の取組を支援し、トラフグ稚魚放流、海苔種苗生産等の資源保護対策事業などにつなげる成果がありました。

♪ 卸売市場法改正の趣旨に則り、市場の活性化に取り組み、市民の食生活の安定を確保します。

浜松市中央卸売市場が静岡県西部地域の中核的拠点として安全で安心な生鮮食料品を圏域住民へ継続して供給する使命を果たすため、令和2年6月施行の改正卸売市場法の趣旨に則り、引き続き農林水産大臣による「中央卸売市場」としての認定に向けて中央卸売市場業務条例を改正し、市場取引規制の緩和による市場の活性化に向けた取組を進めました。

食肉地方卸売市場についても、流通拠点として圏域住民へ安全で安心な食肉を安定供給する使命を果たすため、改正卸売市場法の趣旨に則り、引き続き静岡県知事による「地方卸売市場」としての認定に向けて地方卸売市場業務条例を改正し、食肉の取引の更なる適正化を図る取組を行いました。

♪ 浜松・浜名湖地域の旬の食材を「浜松パワーフード」として売り出します。

食文化を基軸として観光等と組み合わせ発信し、地域振興や農林水産業者の所得向上につなげるため、PRイベントの開催や小学生を対象とした食育プログラムの実施（18プログラム、1,352人参加）、外国人向け体験プログラムの造成などに取り組み、浜松パワーフードプロジェクトの参加事業者は100を超えました。その他、大手食品会社や地元スーパーとの連携事業の実施、Google Art&Cultureに取り上げられるなど、認知度の向上につなげることができました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 一 | 4,900 | 一 | 5,625 |
| 特 | 1,025 | 特 | 979 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 5,925 | 計 | 6,604 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 | R1 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-------------------------------------|--|---------------|---------------|-----------|-----------------|----|
| | | (2019) 計画値 | (2019) 実績値 | | | |
| 農業参入機会の創出による担 い手の確保 (農業水産課) | 農業経営塾卒業者数 (H28～累計) (人) | 45 | 55 | 122% | 100% | A |
| もうかる農業推進事業 【17・50】 | 農業経営塾卒業者数 (H28～累計) (人) | 45 | 55 | 122% | 79% | B |
| | 売上1億円以上の経営体 数(経営体) | 64 | — | — | | |
| | ユニバーサル農業シン ポジウム参加者数(H30 ～累計) (人) | 170 | 101 | 59% | | |
| 農業参入機会の創出による担 い手の確保 (農業振興課) | 新規就農者支援件数 (件) | 61 | 46 | 75% | 74% | B |
| | 農業制度資金(利子助 成対象分)新規借入 (件) | 34 | 23 | 67% | | |
| | 営農計画書回収率 (%) | 100 | 81 | 81% | | |
| 生産・経営基盤強化事業 | 農業制度資金(利子助 成対象分)新規借入 (件) | 34 | 23 | 67% | 67% | B |
| 担い手育成支援事業【47】 | 認定農業者数(名) | 1,191 | 1,154 | 96% | 90% | B |
| | 新規就農者支援件数 (件) | 61 | 46 | 75% | | |
| | 認定農業者及び認定新 規就農者の新規認定件 数(経営体) | 86 | 96 | 111% | | |
| ICTを活用した魅力あふれる 農業への変革 (農業水産課) | スマート農業の実装に 向けた進捗率(%) | 17.5 | 17.5 | 100% | 100% | A |
| | 新清掃工場における付 加価値事業の実装に向 けた進捗率(%) | 5 | 10 | 200% | | |
| もうかる農業推進事業 | スマート農業の実装に 向けた進捗率(%) | 17.5 | 17.5 | 100% | 100% | A |
| | 新清掃工場における付 加価値事業の実装に向 けた進捗率(%) | 5 | 10 | 200% | | |
| 生産基盤の安定による農業振 興 (農業水産課) | 未来を拓く農林漁業育 成事業費補助金申請件 数(H27～累計) (件) | 100 | 96 | 96% | 93% | B |
| | フルーツパーク入園者 数(人) | 300,000 | 270,260 | 90% | | |
| もうかる農業推進事業 【46】 | 未来を拓く農林漁業育 成事業費補助金申請件 数(H27～累計) (件) | 100 | 96 | 96% | 98% | B |
| | 農林水産物の海外販路 開拓の商談会などに おける成約件数(H27～ 累計) (件) | 30 | 37 | 123% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---------------------------|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 生産基盤の安定による農業振興 (農業振興課) | 特定家畜伝染病発生件数(件) | 0 | 0 | 100% | 82% | B |
| | 1戸あたりの牛・豚平均飼養頭数(頭) | 395 | 310 | 78% | | |
| | 1戸あたりの採卵鶏・ブロイラー平均飼養羽数(千羽) | 40 | 34 | 85% | | |
| | 野生鳥獣(浜松市鳥獣被害防止計画に定める対象鳥獣)による農作物被害金額(万円) | 3,499 | 4,359 | 80% | | |
| | エコファーマー認定者目標700人に対する達成度 | 65 | 34 | 52% | | |
| | 中山間地域直接支払協定農用地面積(ha) | 1,321 | 1,321 | 100% | | |
| | 農産物生産振興事業 | 浜松市の茶PR来場者数(人) | 2,400 | 2,200 | | |
| 中山間・山間地域振興事業 | 中山間地域直接支払協定農用地面積(ha) | 1,321 | 1,321 | 100% | 100% | A |
| 生産基盤の安定による農業振興 (農地整備課) | 農地・水保全(多面的機能)管理支払交付金取組全体面積(ha) | 5,000 | 4,014 | 80% | 78% | B |
| | 農業基盤整備国庫補助事業による農道整備延長(m) | 1,180 | 750 | 63% | | |
| | 農業基盤整備国庫補助事業による用排水路整備延長(m) | 1,870 | 1,346 | 71% | | |
| | 災害復旧工事着工率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 国・県施行事業【48】 | 国・県施行各事業の毎年度達成率(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 農業水利施設の長寿命化・耐震対策実施箇所数(箇所) | 21/39 | 21/39 | 100% | | |
| 農業農村整備支援事業 | 農地・水保全管理(多面的機能)支払交付金取組全体面積(ha) | 5,000 | 4,014 | 80% | 80% | B |
| かんがい排水整備事業 | 用排水路の整備・補修(地元要望)に対する整備率(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 農道整備事業 | 農道の整備・補修(地元要望)に対する整備率(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-----------------------------|-------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 農業基盤整備国庫補助事業 | 農業基盤整備国庫補助事業を活用した農道整備延長 (m) | 1,180 | 750 | 63% | 67% | B |
| | 農業基盤整備国庫補助事業を活用した用水路整備延長 (m) | 1,870 | 1,346 | 71% | | |
| 生産基盤の安定による農業振興 (農地利用課) | 担い手への農地集積率 (%) | 38 | 32 | 84% | 66% | B |
| | 耕作放棄地対策事業による耕作放棄地の解消面積 (ha/年) | 2.5 | 1.2 | 48% | | |
| 農地の確保と有効利用事業 【49】 | 担い手への農地集積率 (%) | 38 | 32 | 84% | 76% | B |
| | 農地の貸し借り面積 (ha) | 1,550 | 1,518 | 97% | | |
| | 耕作放棄地対策事業による耕作放棄地の解消面積 (ha/年) | 2.5 | 1.2 | 48% | | |
| 産業と市民活動による担い手の確保 (農業水産課) | グリーンツーリズム交流人口 (人) | 3,030,000 | R2. 9頃確定 | — | — | — |
| もうかる農業推進事業 【39・45・109】 | グリーンツーリズム交流人口 (人) | 3,030,000 | R2. 9頃確定 | — | 97% | B |
| | 農林漁業体験プログラム数 (件) | 57 | 53 | 92% | | |
| | 浜松パワーフード宣言・応援宣言認定事業者 (事業者) | 100 | 113 | 113% | | |
| | 農水産業に係る食育体験の体験者数 (R1～累計) (人) | 250 | 1,352 | 540% | | |
| 産業と市民活動による担い手の確保 (農業振興課) | 市民ふれあい農園数 (体験農園を除く) (箇所) | 54 | 52 | 96% | 91% | B |
| | 利用率 (区画数ベース、休園・体験農園除く) (%) | 83.5 | 72.5 | 86% | | |
| 市民に親しまれる農業推進事業 | 市民ふれあい農園数 (体験農園を除く) (箇所) | 54 | 52 | 96% | 91% | B |
| | 利用率 (区画数ベース、休園・体験農園除く) (%) | 83.5 | 72.5 | 86% | | |
| 適切な伐採と流通の活性化 (林業振興課) | 年間木材生産量 (m ³) | 143,200 | 141,085 | 98% | 99% | B |
| | 森林経営計画 認定面積 (H24～累計) (ha) | 18,400 | 21,083 | 114% | | |
| | 災害復旧工事の着工率 (%) | 100 | 100 | 100% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|----------------------------|-----------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 低コスト林業推進事業 | 年間木材生産量 (m ³) | 143,200 | 141,083 | 98% | 98% | B |
| 木材需要拡大事業【51・54】 | 森林経営計画 認定面積 (H24～累計) (ha) | 18,400 | 21,083 | 114% | 89% | B |
| | 地域材利用建築件数 (棟) ※天竜材の家百年住居る助成事業助成棟数 | 250 | 146 | 58% | | |
| | 木材・木製品製造業 製造品出荷額 (億円/年) | 450 | R3. 8頃確定 | — | | |
| | FSC森林認証面積 (ha) | 45,500 | 48,542 | 106% | | |
| | FSC認証材生産量 (m ³ /年) | 103,000 | R2. 9頃確定 | — | | |
| | 天竜材の利用拡大に向けた連携数 (都市・団体) | 4 | 5 | 125% | | |
| 林業従事者助成事業 (補助金) | 森林組合作業班員数 (人) | 200 | 173 | 86% | 68% | B |
| | 新規就業者支援件数 (人) | 20 | 10 | 50% | | |
| 林業成長産業化推進事業 | 年間木材生産量 (m ³) | 143,200 | 141,085 | 98% | 98% | B |
| | FSC認証材生産量 (m ³) | 103,000 | R2. 9頃確定 | — | | |
| 森林管理を通じた環境対応社会への貢献 (林業振興課) | FSC認証林面積 (ha) | 45,500 | 48,542 | 106% | 100% | A |
| | FSC認証材生産量 (m ³ /年) | 103,000 | R2. 9頃確定 | — | | |
| 森林管理事業【52・164】 | FSC森林認証面積 (ha) | 45,500 | 48,542 | 106% | 100% | A |
| | FSC認証材生産量 (m ³ /年) | 103,000 | R2. 9頃確定 | — | | |
| | 年間間伐実施面積 (ha) | 2,000 | R2. 11頃確定 | — | | |
| | 木材・木製品製造業 製造品出荷額 (億円/年) | 450 | R3. 8頃確定 | — | | |
| 森林経営管理推進事業【53】 | FSC森林認証面積 (ha) | 45,500 | 48,542 | 106% | 100% | A |
| | 森林経営計画 認定面積 (H24～累計) (ha) | 18,400 | 21,083 | 114% | | |
| 適切な資源管理による水産業の振興 (農業水産課) | 水産業協同組合の年間取扱高 (百万円) | 8,704 | 8,712 | 100% | 100% | A |
| 水産業振興事業【56】 | 水産業協同組合の年間取扱高 (百万円) | 8,704 | 8,712 | 100% | 100% | A |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|------------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 漁港などの基盤整備による水産業の振興 (農業水産課) | 水産業協同組合の年間取扱高(百万円) | 8,704 | 8,712 | 100% | 92% | B |
| | 村櫛漁港整備進捗率(%) | 95 | 80 | 84% | | |
| 漁港管理事業【55】 | 水産業協同組合の年間取扱高(百万円) | 8,704 | 8,712 | 100% | 92% | B |
| | 村櫛漁港整備進捗率(%) | 95 | 80 | 84% | | |
| 地元水産物の消費の活性化 (農業水産課) | 水産業協同組合の年間取扱高(百万円) | 8,704 | 8,712 | 100% | 100% | A |
| 水産業振興事業【57】 | 水産業協同組合の年間取扱高(百万円) | 8,704 | 8,712 | 100% | 100% | A |
| 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定 (中央卸売市場) | 市場経営展望を経営戦略へ統合し策定する | 策定 | 内部調整 | — | 100% | A |
| | 卸売市場法改正による業務条例の改正 | 改正 | 改正 | 100% | | |
| 中央卸売市場事業 | 市場経営展望を経営戦略へ統合し策定する | 策定 | 内部調整 | — | 100% | A |
| | 卸売市場法改正による業務条例の改正 | 改正 | 改正 | 100% | | |
| 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定 (食肉地方卸売市場) | 市場取扱高(千円) | 5,000,000 | 5,173,075 | 103% | 100% | A |
| と畜場・市場事業 | 市場取扱高(千円) | 5,000,000 | 5,173,075 | 103% | 100% | A |

| | | |
|--------------|----------------|------------------------|
| 基本政策③ | — | |
| 責任者 | 農業委員会事務局長 清水 克 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 72% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|--------------------------------|-------|----------|
| 優良農地の確保と農業生産力の向上 （農業委員会事務局） | 72% | B |

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|----|--------------------------|----|
| 一 | 24 | 一 | 22 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 24 | 計 | 22 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--------------------------------|------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 優良農地の確保と農業生産力の向上 (農業委員会事務局) | 遊休農地解消率(草刈要請)(%) | 64 | 68 | 106% | 72% | B |
| | 農業者年金の新規加入者数(人) | 18 | 6 | 33% | | |
| | 担い手への農地集積率(%) | 38 | 32 | 84% | | |
| 優良農地の確保推進事業【49】 | 遊休農地解消率(草刈要請)(%) | 64 | 68 | 106% | 92% | B |
| | 担い手への農地集積率(%) | 38 | 32 | 84% | | |

子育て・教育

| | |
|------------------------|---|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。 |
| 政策の柱 (10年後) | ◆ 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 ◆ すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。 |
| 基本政策① | 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり |
| 責任者 | こども家庭部長 鈴木 知子 |
| 評価 | B 指標達成率の平均 94% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|------------------------------------|-------|----|
| 妊娠・出産を応援するための環境づくり (次世代育成課) | 90% | B |
| 妊娠・出産を応援するための環境づくり (幼児教育・保育課) | 100% | A |
| 子どもが健やかに育つ環境づくり (次世代育成課) | 100% | A |
| 子どもが健やかに育つ環境づくり (子育て支援課) | 98% | B |
| 幼児教育・保育施策の推進と施設の管理運営 (幼児教育・保育課) | 94% | B |
| 子どもとその家庭に対する相談援助 (子育て支援課) | 87% | B |
| 子どもとその家庭に対する相談援助 (児童相談所) | 96% | B |
| 若者の自立を促す環境づくりの推進 (次世代育成課) | 94% | B |

主な取組(成果・課題など)

♪ 待機児童を解消するため、認定こども園や保育所の創設、増改築を推進します。

待機児童の解消に向け、平成27年3月に策定した「子ども・若者支援プラン」に基づき、認定こども園や保育所、地域型保育事業の新設等により465人の定員増を図りました。

その結果、令和2年4月には認定こども園と保育所、地域型保育事業は175施設となり、定員も16,123人まで増え、待機児童は前年度から20人減少して11人となりました。昨今の社会情勢により保育需要が増大し、依然として待機児童の解消には至っていないため、今後も保育所等の新設、地域型保育事業の募集、既存施設の利活用により定員を拡大し、待機児童の解消に努めます。

♪ 結婚や出産を望む男女が希望をかなえられるよう結婚等の支援に取り組むことで、若い世代が結婚や妊娠に対して前向きに考えることができる気運を醸成します。

平成28年度から令和元年度に実施した「はままつ婚活アドバイザー事業」で育成したアドバイザーをシルバー人材センターに配置し、平成30年度までの婚活イベント参加者への支援等を実施しました。また、浜松市の結婚・出産の実情や妊娠に適した時期などについて知ってもらうための講座を高校生・大学生・社会人を対象に4回開催し、延べ464人が受講しました。

♪ ニーズ調査の結果をもとに、次期子ども・若者支援プランを策定します。

平成30年12月に子育て中の保護者や支援を必要とする若者等を対象に実施したニーズ調査の結果、引き続き保育施設や幼稚園の預かり保育の利用希望が見込まれ、保育需要の増加に伴い放課後児童会の利用も増加すると推察されました。また、若者支援ではメールやSNS等の新しいツールを活用した相談体制への希望が高まっていました。

これらの考察や社会情勢の変化等を踏まえ、令和2年3月末に、待機児童対策や子供の貧困対策、ニートや引きこもり等、子供や若者が直面する新たな課題への対策や支援を含めた「第2期浜松市子ども・若者支援プラン」を策定しました。

♪ 子育て家庭の経済的支援の充実を図るため、新たに高校生世代への医療費助成事業を行います。

乳幼児から中学生までを対象とした子ども医療費助成について、令和元年10月から新たに高校生世代まで対象を拡充しました。

これにより、令和元年度は、乳幼児から高校生世代まで含め、約146万件の通院・入院助成を実施し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の早期治療を促すことができました。

♪ 生活に困難を抱える家庭の児童に対し、貧困の連鎖を断ち切ることを目指し、学習や進学に対する意欲を高めるための学習支援事業を拡充します。

母子家庭等就業・自立支援センターにおいて実施した就業に関する相談、就業情報の提供、職業紹介などにより、24人が就労しました。また、就職に有利な資格を取得するための高等職業訓練給付金や自立支援給付金の活用により、6人が資格を取得し就労につながりました。また、ひとり親家庭を含む生活困窮を抱える家庭やその児童を地域で支える体制づくりの一環として、「子どもの貧困対策コーディネーター」を配置し、ひとり親家庭等の支援団体相互の連携強化と育成を行いました。また、ボランティアによる学習支援の定員枠を5会場125人増やして17会場435人に拡充し、週1回の学習指導により将来の自立に必要な学習や進学に対する意欲を高め、貧困の連鎖を防ぐための取組を実施しました。

♪ 地域子育て支援拠点事業や産後ケア事業の拡充をすることで、継続して妊娠期から子育て支援期にわたる切れ目ない支援を行い、子育て家庭に対するきめ細やかな支援を実施します。

妊婦や子育て中の親子が気軽に集い仲間作りができる場として設置した、市内25か所の子育て支援ひろばを延べ約185,000人の妊婦や親子が利用しました。子育て支援ひろばでは、子供を育てる力を高める「親育ち」の支援と子育て関係団体との連携やネットワークの強化を図るとともに、地域の実情に応じて、妊婦支援、発達支援、親支援、孫育て支援など、利用者のニーズに合ったきめ細かな支援を行いました。また、はますくヘルパー利用事業では、産前・産後の体調不良や育児の不安感により家事または育児を行うことが困難な家庭に対し、ヘルパーの訪問により家事や育児の支援を行い173人、約3,300時間の利用がありました。支援者による利用者の子育てに関する不安や悩みの相談により、利用者の子育てに関する負担や不安、孤立感を和らげ、自己肯定感をもてるよう努めました。

♪ 児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応を強化するため、児童相談所と一時保護所による総合的な支援を充実します。

全国で相次いだ重大事件を受けて、増加する児童虐待への早期発見・早期対応を強化するため、学校や警察などの関係機関との連携を図りながら、専門的な知識や技術に基づいた支援の拡充に努めました。

また、保護を必要とする児童に対しては、適切に一時保護を行い、児童の安全確保と安心な生活の場を提供するとともに、行動観察、心理診断や家族関係調整などを行い、児童虐待の再発防止に向けた支援に取り組みました。

♪ 社会的養護が必要な児童が、家庭的な養育環境のもとで育てられるよう新規里親の確保及び里親の支援を充実します。

社会的養護が必要な子供へより家庭的な養育環境が提供できるよう、里親委託を推進するため、里親制度や社会的養護に対する理解と新規里親の獲得が図れるよう、企業、大学などへの里親制度の出前講座（18回）、JR浜松駅前、ショッピングモールや協働センターで周知啓発活動（7回）を行い、市民を対象とした里親制度説明会（10回）を実施しました。

また、里親支援事業において、子供を預かっている里親を対象とした里親サロン（10回）や里親研修会（10回）を実施するとともに、里親宅への訪問（144件）や来所面接（117件）により、里親支援に取り組みました。

♪ ニートやひきこもり等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者を支援するため、これらの若者を対象とした相談体制の充実や支援機関相互の連携強化を図ります。

子ども・若者育成支援推進法に基づく若者支援地域協議会を年9回開催し、行政機関も含め市内支援機関職員同士で情報交換する等、ネットワークの構築を図りました。ここでのネットワークを生かし、若者相談支援窓口「わかば」（若者相談電話）では、309件の相談を受け付け、相談を丁寧に聴き取ることで、相談内容にふさわしい支援機関を案内しました。

また、SNSを活用した若者相談を期間限定で実施（11月）し、2週間で201件の相談を受け付けました。新たな相談ツールとしてのSNSは、若者本人からの相談が全体の9割を占め、本人自らの相談から早期支援につなげる効果が期待できることが判りました。

♪ 国制度に基づく幼児教育・保育の無償化を実施し、利用者負担の軽減を図ります。

令和元年10月1日から、国の制度に基づき、幼児教育・保育の無償化が開始され、3～5歳児及び住民税非課税世帯の0～2歳児における幼稚園、認定こども園、保育所、認可外保育施設等の利用料の無償化を実施しました。幼児教育・保育無償化事業を通じ、子育て家庭の費用負担の軽減を図ることができました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 一 | 42,309 | 一 | 41,185 |
| 特 | 206 | 特 | 173 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 42,515 | 計 | 41,358 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--------------------------------------|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 妊娠・出産を応援するための 環境づくり (次世代育成課) | こども館来館者数 (人) | 205,000 | 184,695 | 90% | 90% | B |
| 地域少子化対策強化事業 | 女性の平均初婚年齢 (歳) | 27 | R3.3頃確定 | — | — | — |
| 妊娠・出産を応援するための 環境づくり (幼児教育・保育課) | 保育施設利用定員数(4 月1日現在)(人) | 15,658 | 15,658 | 100% | 100% | A |
| 私立保育所等助成事業 【58・69】 | 保育施設利用定員数(4 月1日現在)(人) | 15,658 | 15,658 | 100% | 66% | B |
| | 保育所など利用待機児 童数(人) | 0 | 31 | 0% | | |
| | 保育施設の定員増数 (対H30比較累計) (人) | 550 | 550 | 100% | | |
| 子どもが健やかに育つ環境づ くり (次世代育成課) | 特定教育・保育施設等 への指導・監査訪問率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 子どもが健やかに育つ環境づ くり (子育て支援課) | 子育て支援ひろばの設 置数(箇所) | 25 | 25 | 100% | 98% | B |
| | 乳幼児医療費助成件数 (件) | 729,765 | 710,105 | 97% | | |
| | 小・中学生医療費助成 件数(件) | 708,020 | 698,311 | 98% | | |
| 子育て家庭支援事業【65・ 73】 | 子育て支援ひろばの設 置数(箇所) | 25 | 25 | 100% | 95% | B |
| | 地域子育て支援拠点延 べ利用者数(人/件) | 383,000 | 303,379 | 79% | | |
| | 子育て中の市民が「子 育てしやすくなっている 」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | | |
| | 多世代交流している子 育て支援ひろばの設置 割合(%) | 80 | 80 | 100% | | |
| | 産後ケア事業利用者数 (人) | 480 | 771 | 160% | | |
| 発達相談支援事業 | 発達支援広場会場数 (会場) | 10 | 10 | 100% | 99% | B |
| | 子育て中の市民が「子 育てしやすくなっている 」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | | |
| 子育てワンストップサービ ス運用事業 | 子育て中の市民が「子 育てしやすくなっている 」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | 99% | B |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 家庭福祉支援事業【95】 | 乳幼児医療費助成件数 (件) | 729,765 | 710,105 | 97% | 98% | B |
| | 小・中学生医療費助成 件数(件) | 708,020 | 698,311 | 98% | | |
| | 子育て中の市民が「子 育てしやすくなっている 」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | | |
| | 高校生世代医療費助成 の実施 | 実施 | 実施 | 100% | | |
| 交通遺児等基金積立金 | 子育て中の市民が「子 育てしやすくなっている 」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | 99% | B |
| 幼児教育・保育施策の推進と 施設の管理運営 (幼児教育・保育課) | 保育施設利用定員数(4 月1日現在)(人) | 15,658 | 15,658 | 100% | 94% | B |
| | 病児・病後児保育事業 利用定員数(4月1日現 在) | 30 | 26 | 86% | | |
| | 障がい児在籍学級キッ ズサポーター配置数 (人) | 130 | 121 | 93% | | |
| | 特色ある幼稚園活動の 実施率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 市立保育所管理運営事業 【61・93】 | 園内外職員研修の参加 延人数(人) | 3,800 | 3,843 | 101% | 100% | A |
| | 施設長寿命化工事の実 施(R1～累計)(件) | 5 | 5 | 100% | | |
| 私立保育所等助成事業 【94】 | 保育施設利用定員数(4 月1日現在)(人) | 15,658 | 15,658 | 100% | 100% | A |
| | 国制度に基づく幼児教 育・保育の無償化の実 施 | 実施 (10月 ～) | 実施 | 100% | | |
| 保育事業運営経費【60】 | 保育士等の再就職支援 研修受講者数(H27～累 計)(人) | 130 | 105 | 80% | 93% | B |
| | 就学前ワンストップ サービスの実施(保育 サービス相談員の配 置) | 継続実施 | 継続実施 | 100% | | |
| | AIを活用した保育施設 入所選考の検討 | 実証実験 | 実証実験 | 100% | | |
| 市立幼稚園教職員管理事業 【93】 | 園内外職員研修の参加 延人数(人) | 5,900 | 5,986 | 101% | 100% | A |
| 市立幼稚園教育指導支援員 配置事業【81】 | 障がい児在籍学級キッ ズサポーター配置数 (人) | 130 | 121 | 93% | 93% | B |
| 市立幼稚園施設整備事業 【61】 | 施設長寿命化工事の実 施(R1～累計)(件) | 6 | 6 | 100% | 100% | A |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|------------------------------|---------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 私立幼稚園助成事業【94】 | 補助対象団体への執行率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 国制度に基づく幼児教育・保育の無償化の実施 | 実施(10月～) | 実施 | 100% | | |
| 私立幼稚園就園奨励等助成事業【94】 | 補助対象となる幼稚園設置者への執行率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 子どもとその家庭に対する相談援助 (子育て支援課) | 要保護児童対策地域協議会の開催(回) | 112 | 104 | 92% | 87% | B |
| | 高等職業訓練促進給付金修了者の就職率(%) | 100 | 85.7 | 85% | | |
| | 母子父子寡婦福祉資金貸付件数(件) | 306 | 264 | 86% | | |
| こども保護対策事業 | 要保護児童対策地域協議会の開催(回) | 112 | 104 | 92% | 95% | B |
| | 子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | | |
| 社会的養護推進事業 | 児童虐待防止のための街頭キャンペーンの実施(箇所) | 10 | 11 | 110% | 99% | B |
| | 子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | | |
| ひとり親家庭等支援事業【72】 | 高等職業訓練促進給付金修了者の就職率(%) | 100 | 85.7 | 85% | 92% | B |
| | 子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | | |
| 女性相談保護事業 | 婦人相談員の資質向上を目的とした連絡会の開催(回) | 1 | 1 | 100% | 99% | B |
| | 子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | | |
| 子どもとその家庭に対する相談援助 (児童相談所) | 里親登録数(組) | 102 | 94 | 92% | 96% | B |
| | 研修に参加した回数(回) | 40 | 45 | 112% | | |
| 児童保護事業【62】 | 研修に参加した回数(回) | 40 | 45 | 112% | 100% | A |
| 社会的養護推進事業【63】 | 里親登録数(組) | 102 | 94 | 92% | 92% | B |
| 一時保護所運営事業 | — | — | — | — | — | — |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|----------------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 若者の自立を促す環境づくり の推進 (次世代育成課) | 子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | 94% | B |
| | 青少年の家利用人数 (人) | 50,000 | 45,141 | 90% | | |
| | 若者相談支援窓口「わかば」新規相談の内、専門機関へつなげたり、傾聴・助言等により一定の解決に至った割合(%) | 85 | 84 | 98% | | |
| 子ども・若者支援プラン推進事業 | 子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%) | 50 | 49.8 | 99% | 99% | B |
| 青少年健全育成事業 | 「ひとりひとりにいい声掛けデー」への参加者数(人) | 8,500 | 7,299 | 85% | 85% | B |
| 青少年支援体験活動事業 | 支援体験活動相談件数(件) | 20 | 34 | 170% | 100% | A |
| 子ども・若者サポート事業【64】 | 若者相談支援窓口「わかば」新規相談の内、専門機関へつなげたり、傾聴・助言等により一定の解決に至った割合(%) | 85 | 84 | 98% | 98% | B |

| | | |
|--------------|--------------------|------------------------|
| 基本政策② | 市民協働による未来創造へのひとづくり | |
| 責任者 | 学校教育部長 伊熊 規行 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 97% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|-------------------------------------|-------|----|
| 夢と希望を持ち続ける子どもの育成 （教育総務課） | 100% | A |
| 夢と希望を持ち続ける子どもの育成 （指導課） | 100% | A |
| これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 （教育施設課） | 100% | A |
| これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 （指導課） | 100% | A |
| これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 （健康安全課） | 99% | B |
| 自分らしさを大切にする子どもの育成 （市立高等学校） | 100% | A |
| 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実 践（教職員課） | 100% | A |
| 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実 践（指導課） | 85% | B |
| 園・学校や教師の力の向上 （指導課） | 100% | A |
| 園・学校や教師の力の向上 （教育センター） | 100% | A |
| 家庭や地域の力を活かした取り組みの推進 （教育総務課） | 96% | B |
| 家庭や地域の力を活かした取り組みの推進 （指導課） | 100% | A |
| 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり （教育総務課） | 100% | A |
| 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり （教育施設課） | 99% | B |
| 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり （教職員課） | 95% | B |
| 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり （指導課） | 78% | B |

主な取組(成果・課題など)

♪ 第3次浜松市教育総合計画「はままつ人づくり未来プラン」に基づき、キャリア教育に重点を置いた教育活動を推進するとともに、取組成果や課題を評価し、後期計画を策定します。

キャリア教育の推進を図るため、子供や学校の実態、地域の特色を生かしたキャリア教育を実践している小中学校10校を「実践モデル校」として選定し、訪問指導や実践事例の情報発信などにより、教員のキャリア教育に対する意識醸成を図りました。その結果、キャリア教育を意識して指導している教員の割合は、小中学校ともに95%という調査結果が得られました。

また、学習指導要領の改訂をはじめとする国の「第3次教育振興基本計画」などの教育を取り巻く社会情勢の変化や今後の教育に対する市民・保護者の意見等を踏まえ、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする「第3次浜松市教育総合計画 後期計画」を策定しました。

♪ 子どもたちの情報活用能力を育成するため、学校におけるICT環境の整備を進めます。

「第3次浜松市教育総合計画～教育の情報化編～」での整備計画に基づき、指導者用タブレットPCや実物投影機など、学校教育に必要な情報機器の整備を行いました。

また、国が示す「GIGAスクール構想」に基づいた児童生徒1人1台タブレットPCや超高速インターネット環境整備等について、令和2年度以降の整備計画を作成しました。

♪ 学校・家庭・地域が連携・協働して学校運営を進める「コミュニティ・スクール」の本格導入に向けて、推進モデル校を24校に増やし、試行・検証を進めるとともに、制度の周知啓発を図ります。

推進モデル校24校を選定し、各校において、学校運営の基本方針等について協議する「運営協議会」を開催しました。

令和2年度からのコミュニティ・スクールの本格導入に向けて、学識経験者や校長等で構成する「コミュニティ・スクール推進協議会」を開催し、推進モデル校における取組を検証するとともに、本格導入時の制度内容について協議しました。

また、令和元年8月に制定した「浜松市学校運営協議会規則」をはじめとした制度内容の周知、導入に向けた機運の醸成を図るため、リーフレットや教職員向けの手引きの作成、研修会やフォーラムの開催を行いました。

♪ 教職員の多忙化解消に向けて、学校事務センター業務のさらなる運用改善を図るとともに、校務アシスタントの全校配置や学校管理運営システムを活用した出退勤管理など、学校における働き方改革に取り組みます。

定期的に学校事務運用改善検討会を開催し、事務処理の見直しや移管業務の洗い出し等を行い、効果検証を重ねました。あわせて、学校事務センター設置校連絡協議会を開催し、事務処理業務の高度化・適正化を図ることで、学校事務センター業務や学校事務の運用改善を図りました。

また、教職員の多忙化解消を図るため、校務アシスタントを小学校97校、中学校49校に計146人、部活動指導員を中学校25校に37人を配置しました。さらに、令和元年12月から学校管理運営システム「ミライム」による出退勤管理を開始し、教職員がタブレット等で出退勤時間を打刻することで、勤務時間管理の意識改革を図りました。

♪ 令和2年度からの新学習指導要領全面実施をふまえ、小学校における外国語科・外国語活動の円滑な授業実施に向けて、ALT(外国語指導助手)の増員配置を進めます。

令和2年度からの新学習指導要領全面実施に向け、小学校5、6年の外国語科、小学校3、4年の外国語活動に対応するため、外国語指導助手を10人増員し、英語を通じた児童生徒の言語能力の向上や外国文化への理解を深めるとともに、英語によるコミュニケーション能力の育成を図りました。

♪ 心身に障がいがあるなど支援が必要な児童生徒が在籍する小中学校に指導員等を増員配置し、発達支援教育の充実を図ります。

発達支援教育の充実のため、発達支援教室を新たに6校（船越小、内野小、井伊谷小、天竜中、湖東中、可美中）設置し、支援が必要な児童生徒を対象に、発達支援教室での指導を行うことにより、個人の実態に合った支援を行いました。

また、支援の必要性の高い児童生徒を支援し、安心して学校生活を過ごすことができるようにするため、スクールヘルパーを126人配置しました。

♪ 不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、校内・校外適応指導教室を拡充するとともに、従来の適応指導教室では受け入れることが困難であった発達障がいのある児童生徒に対応する個別支援型適応指導教室を併設します。

いじめ、不登校、家庭環境や発達などの問題を抱える児童生徒や保護者を適正かつ迅速に支援するため、教育総合支援センターにおいて対応しました。

また、学校に登校できない子供に対応する校外適応指導教室（市内8か所）や、学校には登校できるが教室に入ることができない子供に対応する校内適応指導教室（市内15か所）において、不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を支援しました。

新たに、従来の適応指導教室では受け入れることが困難で、個別対応が必要な児童生徒を受け入れるため、個別対応専任指導員を校外適応指導教室1か所に配置しました。

♪ 外国人児童生徒への日本語基礎指導や学習支援の充実を図るとともに、小学校入学予定児童とその保護者に対し、初期適応指導のためのプレスクールを開催します。

外国人児童生徒の学習や成長を支援するため、外国人児童生徒就学サポーターや相談員、協力員、教科指導員を配置しました。

また、初期適応のための母国語支援やステップアップクラスでの学習等の外国人児童生徒の日本語及び学習の支援を行うとともに、日本語が理解できない、または日本の就学前教育を受けていない小学校入学予定の幼児と保護者に対する初期適応指導講座（プレスクール）を開催しました。全8回を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、5回目以降をすべて中止としました。

♪ 小中学校における起業家教育や郷土愛を醸成する活動を支援し、子どもたちが「浜松の良さ」「浜松の強み」を学ぶ機会を増やし、本市を支え、活躍する人材を育てます。

市民協働による学校教育の充実発展を図るとともに、将来、自分らしさを発揮しながら本市を支え、活躍する人材を育成するため、地域や子供たちの実態に応じた特色ある活動として、実体験により地域の良さを知り、郷土愛を醸成する活動や、起業家教育を通して、やらまいか精神を醸成する活動を実践しました。

♪ 放課後児童会の待機児童を解消するため、実施箇所の拡大により定員の増を図るとともに、運営方式の統一に向けて、補助方式の4児童会をモデル的に委託方式に変更し、効果や課題を検証します。

放課後等に子供たちが安全・安心な居場所で過ごすことができるよう、平成27年3月に策定した「子ども・若者支援プラン」の事業計画に基づき、放課後児童会の定員拡大に向けた取組を行いました。学校の余裕教室や近隣施設の活用等により、定員を約30人拡大しました。

また、サービス内容の均一化や支援員等の処遇の統一を図るため、全ての放課後児童会の運営を委託方式に統一することを目指し、4か所の放課後児童会を委託方式に変更するモデル事業を実施し、委託化による効果や課題について検証しました。

♪ 良好な教育環境を確保するため、小中学校の普通教室へエアコンを整備します。

夏季の異常な気温上昇による熱中症等の健康被害を防止し、適切な教育環境を確保するため、市立小中学校45校、704教室にエアコンを設置しました。

また、PFI方式を活用し、80校、1,294教室へのエアコン設置を進めています。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。(予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額)

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|--------|--------------------------|--------|
| 一 | 16,212 | 一 | 10,456 |
| 特 | 80 | 特 | 77 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 16,292 | 計 | 10,533 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|------------------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 夢と希望を持ち続ける子どもの育成 (教育総務課) | はままつ人づくり未来プラン推進委員会の実施率(第3次浜松市教育総合計画の進行管理)(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 教育総合計画推進事業【88】 | キャリア教育の実践に係る情報収集と周知 | 実施 | 実施 | 100% | 100% | A |
| | 学校の情報化推進計画の策定 | 継続運用・改訂 | 継続運用・改訂 | 100% | | |
| | 学校における働き方改革のための業務改善方針の策定 | 運用・改訂 | 運用・改訂 | 100% | | |
| 夢と希望を持ち続ける子どもの育成 (指導課) | 「夢をはぐくむ学校づくり推進協議会」の設置率(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 学校特色化推進事業 | 取り組みの様子や成果の情報公開率(%) | 100 | 100 | 100% | 95% | B |
| | 自分のふるさとが好きだと答える子どもの割合(%) | 100 | 91.5 | 91% | | |
| これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 (教育施設課) | ICT支援員活用校率(%) | 13 | 14 | 107% | 100% | A |
| | 整備基準に基づく機器導入と学校で必要とする物品の購入(年間達成率)(%) | 90 | 小93 中92 | 102% | | |
| 学校情報技術環境整備事業【78】 | ICT支援員活用校率(%) | 13 | 14 | 107% | 100% | A |
| これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 (指導課) | 児童生徒1人当たりのALTの活用時間(時間) | 小23 中32 | 小23 中35 | 105% | 100% | A |
| | 理科支援員の活用率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | はままつマナーの活用率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 生きた英語力育成事業【80】 | 児童1人あたりのALT活用時間数(高学年)(時間) | 23 | 23 | 100% | 100% | A |
| | 生徒1人あたりのALT活用時間数(時間) | 32 | 35 | 109% | | |
| | 英語指導力向上研修を受講した教員が在籍する学校の割合(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | ALTの人数(人)年度 | 60 | 60 | 100% | | |
| 理科支援員配置事業【89】 | 理科支援員の活用率(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 部活動等推進事業【88】 | 小・中体連及び小・中 文連の対象事業参加率 (%) | 100 | 100 | 100% | 96% | B |
| | 部活動指導員の配置人 数(人) | 40 | 37 | 92% | | |
| やらまいか教育推進事業 【75】 | やらまいか教育推進事 業実施を実施する学校 数(H29～累計)(校) | 50 | 55 | 110% | 100% | A |
| これからの社会を生き抜くた めの資質や能力の育成 (健康安全課) | 肥満傾向・栄養不良率 (%) | 小3.3 中3.1 | 小2.6 中2.98 | 113% | 99% | B |
| | 給食満足度率(自校方 式、小学校)(%) | 93 | 93.4 | 100% | | |
| | 給食満足度率(自校方 式、中学校)(%) | 90 | 92.3 | 102% | | |
| | 給食満足度率(セン ター方式)(%) | 89 | 88.5 | 99% | | |
| | 防災ノート活用率 (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 教職員の普通救命講習 修了証の取得率(%) | 85 | 88 | 103% | | |
| | 給食満足度率(総括) (%) | 89 | 92 | 103% | | |
| | 浜松市学童等災害共済 加入率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 小学校給食事業、中学校給 食事業 | 給食満足度率(自校方 式、小学校)(%) | 93 | 93.4 | 100% | 100% | A |
| | 給食満足度率(自校方 式、中学校)(%) | 90 | 92.3 | 102% | | |
| 学校安全事業【86・160】 | 防災ノート活用率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 教職員の普通救命講習 修了証の取得率(%) | 85 | 88 | 103% | | |
| | 見守りボランティアへ の登録者数(人) | 350 | 483 | 138% | | |
| 健康安全運営経費【90】 | 給食満足度率(総括) (%) | 89 | 92 | 103% | 100% | A |
| | 公会計化導入に向けた 進捗状況 | 課題整理・ 制度設計 | 課題整理・ 制度設計 | 100% | | |
| 自分らしさを大切にする子ど もの育成 (市立高等学校) | 国公立大学合格者数 (人) | 150 | 181 | 120% | 100% | A |
| | 全国大会出場部活動数 (部) | 10 | 13 | 130% | | |
| 市立高校教育事業 | 国公立大学合格者数 (人) | 150 | 181 | 120% | 100% | A |
| | 全国大会出場部活動数 (部) | 10 | 13 | 130% | | |
| 市立高校管理運営経費 | (指標設定なし) | — | — | — | — | — |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-------------------------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 学校施設整備事業 | (指標設定なし) | — | — | — | — | — |
| 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践 (教職員課) | 小学校発達支援教室数 (教室) | 61 | 61 | 100% | 100% | A |
| | 小学校発達支援教育指導員の配置数(人) | 61 | 61 | 100% | | |
| | スクールヘルパーの配置数(人) | 小94 中32 | 小94 中32 | 100% | | |
| | 中学校発達支援教室数 (教室) | 31 | 31 | 100% | | |
| | 中学校発達支援教育指導員の配置数(人) | 31 | 31 | 100% | | |
| 発達支援教育指導員等配置事業(小学校費・中学校費)【81】 | 小学校発達支援教室数 (教室) | 61 | 61 | 100% | 100% | A |
| | 小学校発達支援教育指導員の配置数(人) | 61 | 61 | 100% | | |
| | スクールヘルパーの配置数(人) | 小94 中32 | 小94 中32 | 100% | | |
| | 中学校発達支援教室数 (教室) | 31 | 31 | 100% | | |
| | 中学校発達支援教育指導員の配置数(人) | 31 | 31 | 100% | | |
| 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践 (指導課) | 教育総合支援センター及び各区における相談件数(件) | 1,400 | 1,308 | 93% | 85% | B |
| | 市内小中学校の不登校児童生徒数(人) | 930 | 1,456 | 63% | | |
| | 日本語を必要とする児童生徒への支援達成率(%) | 100 | 99 | 99% | | |
| 発達支援教育推進事業【81】 | 就学支援委員会判定数(件) | 1,200 | 1,525 | 127% | 96% | B |
| | 幼児ことばの教室設置校数(校) | 11 | 10 | 90% | | |
| | 発達支援学級数(教室) | 321 | 322 | 100% | | |
| 生徒指導推進事業【67・68】 | 市内小中学校における問題行動の発生件数(件) | 390 | 204 | 191% | 99% | B |
| | スクールソーシャルワーカーの配置数(人工) | 12 | 12 | 100% | | |
| | 自分にはよいところがあると思う子どもの割合(%) | 82 | 81.9 | 99% | | |
| 外国人子ども教育支援推進事業【83】 | 日本語指導を必要とする児童生徒への支援達成率(%) | 100 | 99 | 99% | 99% | B |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|----------------------------|--------------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 不登校児支援推進事業【82】 | 市内小中学校の不登校児童生徒数(人) | 930 | 1,456 | 63% | 80% | B |
| | 校内適応指導教室における児童生徒改善率(%) | 66 | 65 | 98% | | |
| 教育相談推進事業【66・68】 | 教育総合支援センター及び各区における相談件数(件) | 1,400 | 1,308 | 93% | 96% | B |
| | スクールカウンセラーの配置数(人工) | 66 | 66 | 100% | | |
| 園・学校や教師の力の向上(指導課) | 研究指定校の数(校) | 7 | 7 | 100% | 100% | A |
| 教育研究・指導事業【77】 | 研究指定校の数(校) | 7 | 7 | 100% | 99% | B |
| | 指定校の成果発表に参加した小・中学校の数(校) | 146 | 144 | 98% | | |
| | 全校への計画訪問による指導実施率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 園・学校や教師の力の向上(教育センター) | 研修参加者の満足度(%) | 85 | 85 | 100% | 100% | A |
| 教職員研修事業【91】 | 研修参加者の満足度(%) | 85 | 85 | 100% | 100% | A |
| 家庭や地域の力を活かした取り組みの推進(教育総務課) | 家庭教育講座実施校数(校) | 45 | 42 | 93% | 96% | B |
| | 放課後児童会の定員(人) | 6,700 | 6,527 | 97% | | |
| | コミュニティ・スクール実施校数(校) | 24 | 24 | 100% | | |
| コミュニティ・スクール推進事業【74】 | コミュニティ・スクールの導入校数(校) | 24 | 24 | 100% | 100% | A |
| はままつ人づくりネットワーク推進事業 | はままつ人づくりネットワークセンターの構築 | 継続運用 | 継続運用 | 100% | 100% | A |
| | 保護者や地域の人がボランティアや外部講師として支援する授業の実施率(%) | 80 | 86 | 107% | | |
| 放課後児童会健全育成事業【59・70】 | 放課後児童会の定員増数(対H30比較累計)(人) | 300人増 | 228人増 | 76% | 49% | C |
| | 入会対象の拡大 | 6年生まで(継続実施) | 継続実施 | 100% | | |
| | 放課後児童会の開所時間 | 18:30以降(継続実施) | 一部実施(142児童会中31) | 22% | | |
| | 待機児童数(人) | 0 | 471 | 0% | | |
| 家庭や地域の力を活かした取り組みの推進(指導課) | PTA関係研修会対象者参加率(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-------------------------------------|--|----------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| PTA指導者等研修事業 | PTA関係研修会対象者参加率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 子どもの生活や学びを支える 教育環境づくり (教育総務課) | 規模適正化対象校での 意見交換会実施率 (%) | 70 | 100 | 142% | 100% | A |
| | 教育委員の活動回数 (回) | 60 | 62 | 103% | | |
| | 要支援者に対する支給 率 (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 学校規模適正化推進事業 | 規模適正化対象校での 意見交換会実施率 (%) | 70 | 100 | 142% | 100% | A |
| 通園・通学バス運行事業 | 対象地域での運行実施 率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 就学援助事業 (小学校費・ 中学校費) | 要支援者に対する支給 率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 子どもの生活や学びを支える 教育環境づくり (教育施設課) | 財産を有効利用するた めの教職員住宅への入 居率 (入居者数/部屋 数) (%) | 60 | 58 | 96% | 99% | B |
| | 教育水準の向上を維持 するための教職員住宅 への入居率 (入居者数 /入居希望者数) (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 小学校運営用経費の確 保 (達成率) (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 小学校施設の保守点検 及び維持管理 (年間実 施率) (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 事業計画に沿った改修 及び改築 (進捗率) (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 中学校運営用経費の確 保 (達成率) (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 中学校施設の保守点検 及び維持管理 (年間実 施率) (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 事業計画に沿った改修 及び改築 (進捗率) (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 災害復旧工事の毎年度 復旧 (完了率) (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 小学校建設事業【84】 | 増改築・大規模改造工 事 (校数) | 1 | 1 | | |
| 中学校建設事業【84】 | 改築・大規模改造工事 (校数) | 1 | 1 | 100% | 100% | A |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|------------------------------|-------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 学校施設整備事業【85】 | 学校からの修繕要望に対する対応（達成率）（％） | 52 | 66 | 126% | 100% | A |
| | 小学校普通教室へのエアコン設置完了校（率） | 44 | 44 | 100% | | |
| | 中学校普通教室へのエアコン設置完了校（率） | 42 | 42 | 100% | | |
| 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり（教職員課） | 教員採用選考試験志願者数（人） | 600 | 520 | 86% | 95% | B |
| | 学校用務員業務新規委託校数（校） | 小3 中3 | 小3 中3 | 100% | | |
| | 健康診断受診率（％） | 100 | 100 | 100% | | |
| 教職員管理事業（小学校費・中学校費）【88・92】 | 健康診断受診率（％） | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 学校用務員業務新規委託校数（校） | 小3 中3 | 小3 中3 | 100% | | |
| | 校務アシスタント配置数（人） | 小97 中49 | 小97 中49 | 100% | | |
| | はままつ式少人数学級対応講師の必要な小学校への配置率（％） | 100 | 100 | 100% | | |
| 学校教育指導支援員配置事業（小学校費・中学校費）【89】 | 小学校への支援員、補助員の配置数（人） | 192 | 191 | 99% | 97% | B |
| | 中学校への支援員、補助員の配置数（人） | 65 | 63 | 96% | | |
| 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり（指導課） | 施設利用者数（人） | 45,000 | 35,204 | 78% | 78% | B |
| かなわ野外活動センター管理運営事業 | 施設利用者数（人） | 45,000 | 35,204 | 78% | 78% | B |

安全・安心・快適

| | |
|------------------------|--|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。 |
| 政策の柱 (10年後) | ◆ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。 |
| 基本政策① | みんなの力で自然災害から生き残る |
| 責任者 | 危機管理監 小松 靖弘 |
| 評価 | <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">A</div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> 指標達成率の平均 100% </div> |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|-----------------------------|-------|----|
| みんなの力で自然災害から生き残る (危機管理課) | 100% | A |

主な取組(成果・課題など)

♪ 県と連携して防潮堤整備を進めるとともに、避難施設や避難方法を住民と一緒に考え、民間企業や関連機関と連携した防災訓練を行うことにより、地域コミュニティの共助による防災・減災力の強化に取り組むなど、津波防災地域づくり推進計画を推進します。

浜松市沿岸域防潮堤の整備に必要な土砂の搬出に努め、令和元年度末に整備延長約17.5kmの防潮堤本体工事が完了しました。これにより、レベル2津波による宅地の浸水域を80%、宅地浸水深2m以上の範囲を98%低減する効果が見込まれています。

また、地域コミュニティの共助による防災力の強化として、地域住民、民間企業や民間施設などの協力により津波避難訓練を実施したほか、令和元年度は新たに11自治会で地区津波避難計画を作成しました。

♪ 地域の特性や災害事象などを考慮し、市民一人ひとりが、確実に防災情報を入手することができる多様な手段の確保について取り組みます。

災害時の避難情報等を迅速かつ確実に市民へ伝達し、被害を最小限に抑えるため、デジタル同報無線の基地局1基、中継局5基、屋外スピーカー101基などの設置を行いました。

また、携帯電話網を活用した情報伝達として、新たな防災アプリの開発に着手しました。

これらのシステムは令和3年4月からの運用開始を予定しており、既設システムの撤去工事を含め令和4年度までの計画で実施しています。

♪ 大規模災害発生時に避難者の生活拠点となる避難所のトイレ環境改善のため、マンホールトイレの整備を進めます。

「下水道総合地震対策計画(第Ⅱ期) H30～H34」に基づき、令和元年度から令和4年度までの4か年で、地域防災計画に位置づけられた防災拠点施設のうち、公共下水道に接続済みで応急救護所を併設する避難所のうち優先順位の高い避難所20か所(合計100基)において、マンホールトイレの整備を始めました。

令和元年度においては、マンホールトイレを5か所の避難所に5基ずつ、合計25基、計画通りに整備しました。

♪ 防災学習センターを活用し、家具の固定や飲料水や食料の備蓄など、市民への防災意識の啓発を行います。

平成30年12月に開館した浜松市防災学習センターでは、小中学生を中心とした防災学習環境の充実を目的とした防災学習講座を開催しており、令和元年度の来館者数は目標値12,000人に対し、実績値13,927人でした。

市民アンケートにおける自分の命と財産は自分で守らなくてはならないといけないと思う人の割合は目標80%に対し実績値78.3%でした。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。(予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額)

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 一 | 3,218 | 一 | 2,857 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 3,218 | 計 | 2,857 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-----------------------------|-----------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| みんなの力で自然災害から生き残る (危機管理課) | 防潮堤整備 (17.5km)の進捗率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 同報無線を含めた災害伝達手段の整備 | 通信システム工事 | 通信システム工事 | 100% | | |
| 防災計画等整備事業【158】 | 防潮堤整備 (17.5km)の進捗率 (%) | 100 | 100 | 100% | 98% | B |
| | 自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合 (%) | 80.0 | 78.3 | 97% | | |
| 市民防災意識啓発事業 | 地域防災リーダーの養成率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 防災施設・資機材管理事業【159・172】 | 同報無線を含めた災害情報伝達手段の整備 | 通信システム工事 | 通信システム工事 | 100% | 99% | B |
| | 自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合 (%) | 80.0 | 78.3 | 97% | | |
| | マンホールトイレ整備箇所数 (箇所) | 5 | 5 | 100% | | |
| 防災学習施設管理運営事業【160】 | 自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合 (%) | 80.0 | 78.3 | 97% | 98% | B |
| | 年間の来館者数 (人) | 12,000 | 13,927 | 116% | | |

| | | |
|--------------|-------------------------|------------------------|
| 基本政策② | 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり | |
| 責任者 | 市民部長 奥家 章夫 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 89% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|----------------------------------|-------|----|
| 地域防犯の向上（市民生活課） | 83% | B |
| 市民安全の確保（市民生活課） | 68% | B |
| 安全・安心な消費生活の推進、消費者教育の推進（市民生活課） | 100% | A |
| 戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等窓口事務の適切な執行（市民生活課） | 97% | B |
| 斎場・墓園・墓地の整備推進（市民生活課） | 100% | A |

主な取組(成果・課題など)

| | |
|---|---|
| ♪ | <p>空家等対策計画に基づき、管理不適切な空家に対し、厳正な改善指導等を行うとともに、啓発活動などを通じて、空家の発生の予防を図ります。</p> <p>空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき啓発及び指導を実施しました。特に周辺環境に影響を与えるおそれがある特定空家等は、令和元年度は10件を新たに認定し、修繕や解体により3件（うち1件は略式の行政代執行）が改善されました。また、空き家ワンストップ相談会の開催（2回13組）や、包括連携協定を締結している浜松いわた信用金庫と協働で啓発を行い、空き家等の発生の予防及び活用の促進を図りました。</p> |
| ♪ | <p>将来の火葬体数の増加に対応するため、浜松市斎場再編・整備方針に基づき、斎場施設の整備を進めます。</p> <p>火葬需要の増加に対応し、安定した斎場運営を実現するため、浜北斎場では既存建物内に火葬炉を1炉増設し供用開始するとともに、施設の拡張に向けて斎場敷地の造成工事を進めました。また、浜松及び雄踏斎場では、整備に必要な調査を実施しました。</p> |
| ♪ | <p>通行の支障となる客引き行為等に対応するため、禁止区域の指定や罰則等を規定した条例の制定を進めます。</p> <p>「浜松市客引き行為等の禁止等に関する条例」が令和元年9月議会で議決され、11月1日に一部施行しました。また、客引き行為等禁止区域を指定するとともに、ポスターの掲出・チラシの配布・有楽街での放送等を通じて、条例に関する周知を図りました。</p> |

♪ 浜松市消費者教育推進計画に基づき、学校・地域・職域等において消費者教育を推進するとともに、相談窓口機能の充実や消費に関する出前講座等の開催、フェアトレードを含むエシカル消費の啓発に持続的に取り組みます。

小学校向けのエシカル教材を作成し、市内全小学校に配布したほか、エシカル消費を学ぶ出前講座を実施し、啓発に努めました。

また、エシカル消費のひとつでもあるフェアトレードの普及・促進を図るため、マップやリーフレットを作成、配付するとともに、親子夏休み消費者教室、くらしのセミナーなどの講座を行いました。

大学と連携し、令和元年11月30日「フェアトレード全国フォーラム in Hamamatsu」を開催し、全国各地から幅広い年齢層の方が集まり、フェアトレードに関する取組や課題などを共有することができました。

消費生活相談に関する窓口機能充実のため、研修によるスキルアップを図り、3,325件の相談に適切に対応することができました。

♪ 市民生活に不可欠な戸籍、住民基本台帳、印鑑登録などの各種届出受付及び証明書発行や旅券交付などの正確かつ迅速な処理のため、窓口体制の整備・充実を進め、市民サービスの向上を図ります。

お客様をお待たせしない、歩かせないワンストップサービス体制で、他課業務も含め年間約34万件の届出受付と約102万件の証明書交付を円滑に行い、市民サービスの向上につなげることができました。

また、マイナンバーカードを活用し、全国のコンビニエンスストア等で住民票等の証明書を交付する証明書コンビニ交付運用事業について、23,683件を交付し、市民の利便性向上を図ることができました。

♪ 犯罪のない安全で安心なまちづくりを進めるため、基本計画を見直します。

「浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」について、令和元年度計画期間満了に伴い、直近の犯罪動向を踏まえ、新たに令和2年度から令和6年度までの5年間の計画を策定しました。

浜松市が将来にわたって安全で安心して暮らすことのできるまちであり続けるためには、市民の生命、身体及び財産が平穏に保たれることが市民生活の基本であるとの認識に立ち、市、市民、事業者などが協力、連携して、防犯意識を高める啓発活動等の取組を進めることとしました。

♪ 地域における自主的防犯活動団体である「地区安全会議」の設立を進めるとともに、有楽街に開設した“まちなか防犯センター”の運営を支援します。

「地区安全会議」については、地区安全会議連絡会を開催し活動事例の紹介等を行ったほか、啓発物品を貸与することにより活動を支援し、広く防犯意識の向上を推進しました。

有楽街に開設した“まちなか防犯センター”については、防犯センターの賃借料等の維持管理費を市が負担するとともに、令和元年11月から令和2年1月末までの期間、夜間の見守り活動に対して補助金を交付することにより、中心市街地の防犯活動を支援しました。

♪ 墓園・墓地の植栽等の美観維持に努め、快く墓参できる環境を提供します。

墓園・墓地については、指定管理者により適正に維持管理運営を行うとともに、樹木の伐採や墓参道、トイレの修繕を行いました。

また、中沢墓園では、敷地の外縁を取り巻く擁壁の点検を行うとともに、修繕が必要な箇所については、補修工事を実施し、快適に墓参できる環境整備を行いました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。(予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額)

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 一 | 1,838 | 一 | 1,671 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 1,838 | 計 | 1,671 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 地域防犯の向上 (市民生活課) | 市民参加による「地区安全会議」の設立数 (団体) | 66 | 55 | 83% | 83% | B |
| 安全で安心なまちづくり支援事業 | 市民参加による「地区安全会議」の設立数 (団体) | 66 | 55 | 83% | 83% | B |
| 中心市街地防犯センター支援事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 防犯協会運営事業(負担金) | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 市民安全の確保 (市民生活課) | 浜松市暴力追放と交通事故・薬物乱用防止市民大会の参加人数 (人) | 2,300 | 1,570 | 68% | 68% | B |
| 市民安全対策事業 (客引き行為等対策事業【32】) | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 空家対策事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 市民相談、弁護士法律相談事業 | 申し込みに対して市民相談を受けることができた割合(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 基地周辺整備事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 市民生活運営経費 | 浜松市暴力追放と交通事故・薬物乱用防止市民大会の参加人数 (人) | 2,300 | 1,570 | 68% | 68% | B |
| 安全・安心な消費生活の推進、消費者教育の推進 (市民生活課) | 講座等受講者数(人) | 1,900 | 3,300 | 173% | 100% | A |
| 消費生活推進事業 (フェアトレード・エシカル推進事業【137】) | 講座等受講者数(人) | 1,900 | 3,300 | 173% | 89% | B |
| | フェアトレードに関する認知度(%) | 50.0 | 39.3 | 78% | | |
| 戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等窓口事務の適切な執行 (市民生活課) | 市民SC等における各種届出及び各種証明書交付申請の利用率(%) | 34.0 | 36.8 | 108% | 97% | B |
| | 旅券申請受付・交付等件数(件) | 50,000 | 47,845 | 95% | | |
| | 戸籍・住民異動、印鑑登録等届出、証明書交付等件数(件) | 900,000 | 861,522 | 95% | | |
| | マイナンバーカード普及率(%) | 12.0 | 12.1 | 100% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--|-------------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 戸籍・住民基本台帳・印鑑 登録等事業 (マイナンバーカードの普 及促進【215】) | 戸籍・住民異動、印鑑 登録等届出、証明書交 付等件数(件) | 900,000 | 861,522 | 95% | 97% | B |
| | マイナンバーカード普 及率(%) | 12.0 | 12.1 | 100% | | |
| 斎場・墓園・墓地の整備推進 (市民生活課) | 天竜区船明地区墓地の 整備済墓所区画数(区 画) | 2,628 | 2,628 | 100% | 100% | A |
| 斎場再編・整備事業 | 浜松斎場再整 | 調査等 | 調査等 | — | — | — |
| | 浜北斎場拡張整備 | 設計・ 建設工事 等 | 建設工事 | — | | |
| | 雄踏斎場再整備 | 調査等 | 調査等 | — | | |

| | | |
|--------------|--------------------------------------|------------------------|
| 基本政策③ | 市民が集う活力ある都市づくり | |
| 責任者 | 都市整備部長 大村 兼資 都市整備部 花みどり担当部長 奥井 智之 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 90% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|--|-------|----|
| 集約都市づくりの推進 （都市計画課、北部都市整備事務所） | 100% | A |
| 開発と保全が調和する土地利用の推進 （土地政策課、北部都市整備事務所） | 66% | B |
| はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して （交通政策課、北部都市整備事務所） | — | — |
| 安全・安心な市街地の形成 （市街地整備課、北部都市整備事務所） | 100% | A |
| 都心の都市機能の強化 （市街地整備課） | 98% | B |
| 安全・安心な居住環境への誘導 （建築行政課、北部都市整備事務所） | 98% | B |
| 市営住宅の既存ストックの活用（住宅課） | 99% | B |
| 緑化推進・緑地保全（緑政課） | 75% | B |
| 都市公園・緑地の整備（公園課） | 85% | B |
| 都市公園・緑地の整備（公園管理事務所） | 93% | B |
| 動物園の再生（動物園） | 93% | B |

主な取組(成果・課題など)

♪ 拠点ネットワーク型都市構造の実現に向けて、社会経済情勢の変化による都市課題に対応した、新たな都市計画マスタープランの策定を進めます。

令和2年度に予定している新・都市計画マスタープランの策定に向け、地域別構想や計画推進についての検討を行い、計画素案を作成しました。

♪ 交通結節機能の強化により都市内交通の利便性を向上させるとともに、公共交通ネットワークの維持改善を図ります。

交通事業者より退出の申し出のあった「北遠本線」「阿多古線」について、公共交通ネットワークの維持のため、浜松市自主運行バスとして運行委託することで、地域住民の生活交通を確保しました。

♪ 都心の定住・交流人口の増加に向けて、市街地再開発事業を促進します。

土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図り、都心居住者の増加や交流人口の拡大に資するため、JR浜松駅北口の旭・板屋A地区において、旭・板屋A-1地区第一種市街地再開発事業及び旭・板屋A-2地区第一種市街地再開発事業の施設建築物の建設工事に必要な補助を行うことで施設建築物が完成しました。また、常盤町西街区における優良建築物等整備事業に必要な補助を行い、建築物が完成しました。

これらの事業により、住宅が418戸とホテルが252室増加し都心の定住・交流人口の増加を図ることができました。

♪ 建物のリノベーションや低・未利用地を活用することで、新たな産業の起業・集積を促進し、都心部での雇用を創出するとともに、文化創造の拠点を形成します。

都心の空き床等の遊休不動産利活用促進を目的にリノベーションシンポジウムを開催し、ビルオーナー等の不動産所有者の意識啓発を図るとともに、家守育成トレーニングを実施し、まちづくりの担い手となる事業者の育成に取り組みました。また、リノベーションスクールでは、これまでの個人事業者を対象とした取組と併行し、新たに民間企業の事業参画を促す「リノベーションスクール（企業版）」を追加することで、コワーキングスペースやオフィスの設置、マルシェの開催など、11件が事業化し空き床等の利活用が進みました。

♪ 開園50周年に向けて、「花の聖地」としてトップブランドを目指すことで、フラワーパークの魅力を高め、入園者数を増加させます。

フラワーパークは、開園50周年に向け「UDに配慮した改善」や「施設・整備等の老朽化の解消」に取り組んでいます。令和元年度はUD昇降機の整備を行い、来園者が安全で快適に園内を楽しめるようになりました。また、噴水設備改修及び池防水塗装工事、花ショウブ園の八つ橋改築、保水性舗装を使用した園路の改修、中型モザイカルチャー制作など、施設の安全性、快適性、魅力度の向上に取り組みました。本年度は、約46万人のお客様を迎えることができました。指定管理者制度導入（平成25年度）後は、安定的に40万人の入園者を確保しています。

♪ 浜松城公園は、歴史ゾーンにおいて歴史的な価値の向上に向けて取り組むと共に、鹿谷地区の拡充等を進め、公園の魅力アップを図ります。

歴史ゾーンにおける景観整備に向け、公園内外から天守閣等への視認を阻害している樹木や、市史跡である石垣の保全に支障となる樹木の伐採、剪定を実施しました。また、鹿谷地区の拡充整備に向け、0.34haの用地取得をしました。

♪ 遠州灘海浜公園への県立野球場の実現に向けて、静岡県と継続して協議を進めます。

静岡県は、「遠州灘海浜公園（篠原地区）公園基本計画」策定に向け、県民やスポーツ関係者への意見聴取を実施し、これに基づき、令和2年3月に野球場の規模を含めた公園の配置計画に関する比較検討プラン＜原案＞を発表しました。

この間、県と協力して意見聴取を実施するなど、事業推進にあたり必要な連携を図りました。

♪ ビーチスポーツの拠点として、遠州灘海浜公園江之島地区にビーチスポーツコートの整備を進めます。

遠州灘海浜公園江之島地区に、ビーチバレーボール2面（ビーチサッカーでは1面）のビーチコートの整備を行い、指定管理者管理により、各種大会に利活用されるようになりました。また、メインコート設置のため、予定個所にある既存50mプールの解体実施設計を行い、準備を進めました。

♪ 動物たちのいのちのすばらしさ、大切さを楽しく学べる、市内唯一の教育施設として、動物園再生基本計画に基づきいのちのふれあいゾーンの整備を進め、いのちの教育事業の充実を図ります。

令和元年度は、園内施設の再整備として、いのちのふれあいゾーンの整備工事に着手し、浜松市動物園再生基本計画の推進を図りました。入園者数は、工事の影響もあり、322,855人（前年比88.8%、前々年比86.6%）と前年度より減少となりました。いのちの教育事業の教育プログラムについては、107団体4,755人の参加となりました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 一 | 9,071 | 一 | 8,664 |
| 特 | 667 | 特 | 655 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 9,738 | 計 | 9,319 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 | R1 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--|---|---------------|---------------|-----------|-----------------|----|
| | | (2019) 計画値 | (2019) 実績値 | | | |
| 集約都市づくりの推進 (都市計画課、北部都市整備 事務所) | 新・都市計画マスター プランの策定(%) | 90 | 90 | 100% | 100% | A |
| 都市計画調整事業 | 浜松市ホームページ掲 載の都市計画GISへのア クセス件数(件) | 102,500 | 77,338 | 75% | 75% | B |
| 都市計画策定事業【149】 | 都市計画マスタープラ ンの拠点に住む人口 (人) | 52,534 | 52,692 | 100% | 100% | A |
| | 居住関連施設の立地誘 導を図る用途地域の変 更(H27～累計)(ha) | 22 | 22 | 100% | | |
| | 新・都市計画マスター プランの策定(%) | 90 | 90 | 100% | | |
| 開発と保全が調和する土地利 用の推進 (土地政策課、北部都市整備 事務所) | 土地利用協議会の活動 支援数(支援地区数) (地区) | 1 | 0 | 0% | 66% | B |
| | 景観計画区域内の行為 の届出件数(件) | 100 | 198 | 198% | | |
| | 屋外広告物新規許可件 数(件) | 300 | 386 | 128% | | |
| 土地利用適正化事業 【144】 | 国土利用計画浜松市計 画に基づく届出事業指 導(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 浜松版スマートタウン 誘導件数(件) | 3 | 3 | 100% | | |
| まちづくり推進事業 | 土地利用協議会の活動 支援数(支援地区数) | 1 | 0 | 0% | 0% | C |
| 景観形成・保全事業 | 景観計画区域内の行為 の届出件数(件) | 100 | 198 | 198% | 100% | A |
| | 屋外広告物新規許可件 数(件) | 300 | 386 | 128% | | |
| はままつ流の多様な暮らしに 対応した「安全・安心・快適」 な交通を目指して (交通政策課、北部都市整備 事務所) | 公共交通機関利用者数 (万人) | 5,802 | R3.4頃確定 | — | — | — |
| | 主要な駅、バス停の利 用者(千人) | 約27,200 | R3.4頃確定 | — | | |
| 交通計画推進事業【153】 | 公共交通機関利用者数 (万人) | 5,802 | R3.4頃確定 | — | 100% | A |
| | 主要な駅、バス停の利 用者(千人) | 約27,200 | R3.4頃確定 | — | | |
| | IT等を活用とした地域 バスの実証運行(地域) | 1 | 1 | 100% | | |
| 公共交通推進事業【152・ 195】 | 主要な駅、バス停の利 用者(千人) | 約27,200 | R3.4頃確定 | — | 20% | C |
| | JR弁天島駅のバリアフ リー化(%) | 10 | 4 | 40% | | |
| | 遠鉄八幡駅のバリアフ リー化(%) | 10 | 0 | 0% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-------------------------------------|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 安全・安心な市街地の形成 (市街地整備課、北部都市整備事務所) | 施行中の土地区画整理事業進捗率 (%) | 99 | 99 | 100% | 100% | A |
| 上島駅周辺公共団地区画整理事業 | 事業進捗率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 主要な駅、バス停の利用者 (千人) | 約27,200 | R3. 4項確定 | — | | |
| 高竜地区公共団地区画整理事業 | 事業進捗率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 居住関連施設の立地誘導を図る用途地域の変更 (H27～累計) (ha) | 22 | 22 | 100% | | |
| 高塚駅北公共団地区画整理事業 | 事業進捗率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 居住関連施設の立地誘導を図る用途地域の変更 (H27～累計) (ha) | 22 | 22 | 100% | | |
| 組合等区画整理支援事業 | 施行中の組合土地区画整理事業進捗率 (%) | 97 | 97 | 100% | 100% | A |
| 都心の都市機能の強化 (市街地整備課) | 旭・板屋A地区の進捗率 (%) | 100 | 97 | 97% | 98% | B |
| | リノベーションスクールの検討戸数 (戸) | 19 | 22 | 115% | | |
| 市街地再開発組合支援事業【29】 | 旭・板屋A地区の進捗率 (%) | 100 | 97 | 97% | 96% | B |
| | 歩行者通行量 (休日・主要8地点) (人) | 109,300 | 130,416 | 119% | | |
| | 都心の居住人口 (人) | 13,100 | 11,974 | 91% | | |
| 都市機能更新促進事業【30・32】 | リノベーションスクールの検討戸数 (戸) | 19 | 22 | 115% | 100% | A |
| 安全・安心な居住環境への誘導 (建築行政課、北部都市整備事務所) | 特殊建築物等への査察件数 (件/年) | 20 | 27 | 135% | 98% | B |
| | 狭い道路拡幅整備総延長 (km) | 57.5 | 56 | 97% | | |
| | 住宅の耐震化率 (%) | 91 | R2. 8項確定 | — | | |
| 良質な建築物建設促進事業 | 特殊建築物等への査察件数(件) | 20 | 27 | 135% | 100% | A |
| | 長期優良住宅建築等計画認定率 ((認定件数/新築専用住宅数)×100) (%) | 38 | 43 | 113% | | |
| 狭い道路拡幅整備事業 | 拡幅整備延長 (km/年) | 2.5 | 2.4 | 96% | 96% | B |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 地震対策推進事業【166】 | 住宅の耐震化率(%) | 91 | R2. 8項確定 | — | — | — |
| | 特定建築物の耐震化率(%) | 94 | R2. 8項確定 | — | | |
| 市営住宅の既存ストックの活用 (住宅課) | 市営住宅管理戸数 (戸) | 5,893 | 5,919 | 99% | 99% | B |
| 市営住宅管理事業 | 住宅使用料の収納率の 向上(現年度収納率) | 98.20 | 99.37 | 101% | 100% | A |
| 市営住宅ストック総合改善 事業 | 既存ストックを効率的・ 効果的に活用し、 安全性が確保された住 宅(外壁改修工事・ 棟) | 9 | 10 | 111% | 100% | A |
| 市営住宅建設事業 | 集約化検討対象住宅の 選定(戸)(総数) | 867 | 802 | 92% | 92% | B |
| 住まいづくり推進事業 | 子どもを生き育てやす い環境に対する満足度 (%) | 32.3 | 21.5 | 66% | 81% | B |
| | 住んでいる地域の住み やすさに対する満足度 (%) | 60.9 | 58.7 | 96% | | |
| 高齢者向け優良賃貸住宅助 成事業(補助金) | 家賃減額補助を行う高 齢者向け優良賃貸住宅 (管理戸数) | 123 | 104 | 84% | 84% | B |
| 災害対策事業 | 応急建設住宅(建設候 補地)の台帳整備 (戸)※駐車場あり | 19,896 | 15,071 | 75% | 75% | B |
| 緑化推進・緑地保全 (緑政課) | フラワーパーク入園者 数(人) | 490,000 | 460,286 | 93% | 75% | B |
| | 花づくりに関連するボ ランティア参加者数 (人) | 13,000 | 11,003 | 84% | | |
| | 保全が担保される緑地 の面積(ha) | 165 | 84 | 50% | | |
| 舘山寺総合公園運営事業 【167】 | フラワーパーク入園者 数(人) | 490,000 | 460,286 | 93% | 93% | B |
| | 観光交流客数(千人/ 年) | 23,700 | R2. 10項確定 | — | | |
| 浜松城公園長期整備構想推 進事業【169】 | 浜松城跡(元城小跡 地)の発掘調査の進捗 率(%) | 25 | 25 | 100% | 100% | A |
| 都市公園・緑地の整備 (公園課) | 市民一人当たりの公園 敷地面積(m ²) | 8.67 | 8.25 | 95% | 85% | B |
| | 南エントランスゾーン と天守曲輪南側土堀延 長の整備率(%) | 100 | 75 | 75% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-------------------------|----------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 公園整備事業【143・169・196・202】 | 市民一人当たりの公園敷地面積 (㎡) | 8.67 | 8.25 | 95% | 91% | B |
| | 南エントランスゾーンと天守曲輪南側土塀延長整備率 (%) | 100 | 75 | 75% | | |
| | 公園整備における照明のLED化率 (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 浜松城公園歴史ゾーン整備の進捗状況 (樹木伐採・遺構解説サイン) | 樹木伐採 | 樹木伐採 | 100% | | |
| | 鹿谷地区の整備率 (%) | 25 | 18 | 72% | | |
| | ビーチスポーツ施設整備の進捗業況 | サブコート完成 | サブコート完成 | 100% | | |
| | 新野球場を含めた遠州灘海浜公園の施設整備等に向けた進捗状況 | 県協議 (基本計画) | 県協議 (基本計画) | 100% | | |
| 都市公園・緑地の維持管理 (公園管理事務所) | 愛護会数 (公園) | 410 | 382 | 93% | 93% | B |
| 公園施設改良事業【143】 | 指定管理14公園の照明灯LED化率 (%) | 35 | 37 | 105% | 100% | A |
| ビーチスポーツ施設整備事業【196】 | ビーチスポーツ施設整備の進捗業況 | サブコート完成 | サブコート完成 | — | — | — |
| 動物園の再生 (動物園) | 入園者数 (人) | 375,000 | 322,855 | 86% | 93% | B |
| | イベント参加率 (%) | 30 | 33.2 | 110% | | |
| 動物園施設維持管理事業 | 入園者数 (人) | 375,000 | 322,855 | 86% | 86% | B |
| 動物愛護教育センター事業 | 犬の返還譲渡率 (%) | 97 | 98.9 | 101% | 93% | B |
| | 猫の生存率 (%) | 60 | 61.5 | 102% | | |
| | 教育活動実施回数 (回/人) | 140/6000 | 106/5040 | 79% | | |
| 施設整備事業【168】 | 整備件数 (件) | 1 | 1 | 100% | 100% | A |
| | いのちのふれあいゾーンの整備 | 実施設計・整備工事 | 実施設計・整備工事 | 100% | | |

| | | |
|--------------|------------|------------------------|
| 基本政策④ | 安全な生活基盤づくり | |
| 責任者 | 土木部長 高須 博幸 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 92% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|--------------------|-------|----------|
| 効率的な道路・河川管理（道路保全課） | 96% | B |
| 効率的な道路・河川管理（河川課） | 100% | A |
| 快適な道路・川づくり（道路企画課） | 100% | A |
| 快適な道路・川づくり（河川課） | 100% | A |
| 交通安全対策（道路企画課） | 60% | B |
| 防災体制の強化（河川課） | 99% | B |

主な取組(成果・課題など)

三遠南信自動車道やスマートインターチェンジの整備推進により、新たな広域交通の拠点を形成するとともに、高速道路と一般道路及び各拠点間のネットワークを強化することで、利便性の向上、産業の生産性向上、観光交流の促進を目指します。

広域道路ネットワークの構築に向け、三遠南信自動車道の水窪から佐久間までの区間において、新規に事業着手しました。三遠南信道路の中で唯一の未事業化区間であった当区間の事業着手により、全線開通の目途が立ちました。

高速道路と一般道路及び各拠点間のネットワークの構築に資する道路を強化するため、国道362号宮口バイパス、主要地方道浜松環状線、市道沢上灰ノ木原線、市道有玉南初生線バイパス等の整備を進めました。引き続き、対象路線の整備率の上昇を目指し、早期供用を目指した取り組みを推進します。

♪ 道路・河川等社会インフラの計画的維持修繕及び防災強化を図るため、長寿命化計画の推進及び耐震化を進めます。

橋梁、トンネル、舗装等の計画的維持修繕を進め、老朽化の進行する市道若林101号線伊場跨線橋など55橋の橋梁修繕、国道152号西川隧道など6トンネルの修繕、交通量が多く損傷が著しい主要地方道浜松環状線などの舗装修繕を実施するとともに、各道路施設の定期点検を実施しました。また、治水上重要な施設である西部排水機場の設備更新第3期工事を完了しました。

橋梁の耐震化については、緊急時の避難路、運搬路の確保のため、緊急輸送路や跨線橋等104橋の耐震補強対策を最優先で実施しており、令和元年度末までに98橋が完了しました。

♪ 第10次浜松市交通安全計画(平成28～令和2年度)に掲げる交通事故削減目標を達成するため、市民一人一人の交通安全意識の高揚を図るとともに、道路交通環境の改善を推進します。

第10次浜松市交通安全計画(平成28～令和2年度)の目標である「令和2年末までに年間的人身交通事故件数を6,000件以下」を達成するため、道路交通環境の整備、交通安全思想の普及の徹底など、市域における交通安全施策を推進しています。令和元年の人身交通事故件数は、昨年からの減少傾向を維持し、前年から988件削減し、政令指定都市移行後最も少ない6,582件となりました。

人身交通事故の削減に向け、ビッグデータから得られる速度超過区間や急減速が多発する危険箇所における事故類型の分析により、効果的な交通事故削減対策を推進しています。

市内20か所の事故多発交差点において、路面標示や注意喚起看板の設置など、事故を未然に防ぐ即効性の高い対策を実施しました。

また、道路照明灯LED化更新事業については、老朽化等により劣化が進んだ支柱の交換と併せて実施しました。

♪ 国道473号原田橋について、令和元年度末の供用開始に向けて整備を推進します。

平成27年度から実施してきた原田橋事業ですが、令和元年度は、橋梁上部工架設が完了し、安全施設及び橋梁舗装を実施し、令和2年3月24日に全面開通となりました。

今後は、左岸道路の改良、交差点改良を令和3年度完成目標として整備していきます。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。(予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額)

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|--------|--------------------------|--------|
| 一 | 29,846 | 一 | 26,149 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 29,846 | 計 | 26,149 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 効率的な道路・河川管理 (道路保全課) | 緊急輸送路上の橋長15m以上の橋梁の耐震化率(%) | 100 | 94 | 94% | 96% | B |
| | 道路区域線図整備延長(km) | 7,090 | 6,995 | 98% | | |
| | 道路里親実施延長(m) | 93,000 | 91,002 | 97% | | |
| 道路管理事業 | 道路里親実施延長(m) | 93,000 | 91,002 | 97% | 97% | B |
| | 道路区域線図整備延長(km) | 7,090 | 6,995 | 98% | | |
| 道路維持修繕事業【148、155】 | 小規模事業要望の実施率(%) | 100 | 90 | 90% | 96% | B |
| | 中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体) | 335 | 328 | 102% | | |
| | 法定点検(H26~H30)の結果、判定区分Ⅲ以上の道路施設(橋梁等)の修繕率(%) | 70 | 72 | 102% | | |
| 道路防災事業【148、162】 | 道路防災対策工事箇所数(事前通行規制解除予定区内) | 10 | 10 | 100% | 100% | A |
| | 中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体) | 335 | 328 | 102% | | |
| | 無電柱化推進率(%)※整備延長 L=4.93km | 9 | 9 | 100% | | |
| 橋りょう耐震補強事業【161】 | 緊急輸送路上の橋長15m以上の橋梁の耐震化率(%) | 100 | 94 | 94% | 97% | B |
| | 緊急輸送路等の重要道路上の橋梁の耐震化率(%)※重要道路橋梁数：387橋 | 31 | 31 | 100% | | |
| 自転車等対策事業 | 駐輪場の収容台数(台) | 3,200 | 3,200 | 100% | 100% | A |
| | 自転車等盗難件数(台) | 90 | R2. 8項確定 | — | | |
| 地籍調査事業 | 換算面積指数(ha)市地籍調査事業計画より(H27~36で186ha) | 140 | 139 | 99% | 99% | B |
| 河川管理事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 効率的な道路・河川管理 (河川課) | 河川管理延長に対する 河川点検巡視の実施延 長割合 (%) | 41 | 41 | 100% | 100% | A |
| | ポンプ場長寿命化 (対象1箇所) | 工事継続 | 完了 | 100% | | |
| | 主要河川の維持管理 | 準用河川 計画検討 | 計画検討 | 100% | | |
| 河川管理対策事業【156】 | 河川管理延長に対する 河川点検巡視の実施延 長割合 (%) | 41 | 41 | 100% | 100% | A |
| | ポンプ場長寿命化 (対象1箇所) | 工事継続 | 完了 | 100% | | |
| 河川維持修繕事業【148】 | 主要河川の維持管理 | 準用河川 計画検討 | 計画検討 | 100% | 100% | A |
| | 中規模要望（高判定） の残件数（件）※平成 30年度末時点における 累積未実施分（土木部 全体） | 335 | 328 | 102% | | |
| 快適な道路・川づくり (道路企画課) | 現道改良の整備率 (%) | 62.2 | 62.2 | 100% | 100% | A |
| | 都市計画道路の整備率 (%) | 67.7 | 67.7 | 100% | | |
| 道路関係調査事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 市道整備事業【148、150、 151】 | 道路改良率 (%) | 60.3 | 60.3 | 100% | 100% | A |
| | 市街地と高速道路を結 ぶ道路ネットワーク機 能の充実 対象路線整 備率 (%) | 55 | 55 | 100% | | |
| | 拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 対象 路線整備率 (%) | 0 | 0 | — | | |
| | 中規模要望（高判定） の残件数（件）※平成 30年度末時点における 累積未実施分（土木部 全体） | 335 | 328 | 102% | | |
| 国県道整備事業【148、 150、151】 | 道路改良率 (%) | 77.4 | 77.3 | 99% | 99% | B |
| | 市街地と高速道路を結 ぶ道路ネットワーク機 能の充実 対象路線整 備率 (%) | 55 | 55 | 100% | | |
| | 拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 対象 路線整備率 (%) | 0 | 0 | — | | |
| | 中規模要望（高判定） の残件数（件）※平成 30年度末時点における 累積未実施分（土木部 全体） | 335 | 328 | 102% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-----------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|-----|
| 主要事業 | | | | | | |
| スマートインターチェンジ 関連整備事業【150】 | 事業費ベースによる進捗率(%) | 90 | 79 | 87% | 93% | B |
| | 市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%) | 55 | 55 | 100% | | |
| | 三遠南信自動車道関連整備事業【147】 | 現道改良区間整備率(%) | 18 | 14 | 77% | 77% |
| 国直轄道路事業(負担金) | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 都市計画道路整備事業【150】 | 整備率(%) | 67.7 | 67.7 | 100% | 96% | B |
| | 市街地における交通の円滑化(平均旅行速度の向上)(km/h) | 30 | 27 | 90% | | |
| | 市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%) | 55 | 55 | 100% | | |
| 天竜川駅周辺整備事業 | 事業費ベースによる進捗率(%) | 81 | 79 | 97% | 97% | B |
| | 主要な駅、バス停の利用者(千人) | 約27,200 | R3.4頃確定 | — | | |
| 快適な道路・川づくり (河川課) | 高塚川流域浸水対策アクションプランに基づく床上浸水戸数の解消割合(%) | — | — | — | 100% | A |
| | ≪河川法≫河川の整備済み延長(km) | 86.5 | 86.5 | 100% | | |
| 河川改進黨業【148・163】 | 中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体) | 335 | 328 | 102% | 100% | A |
| | 高塚川流域浸水対策アクションプランに基づく床上浸水戸数の解消割合(%) | — | — | — | | |
| | ≪河川法≫河川の整備済み延長(km) | 86.5 | 86.5 | 100% | | |
| 浸水対策支援事業 | 浸水対策助成制度(土のうステーション) | 運用 | ¹ 基追加、運用 | 100% | 98% | B |
| | 自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%) | 80 | 78.3 | 97% | | |
| 港湾整備事業 | 港湾施設(導流堤)の改良率(%) | 48 | 42 | 87% | 87% | B |
| 都市下水路整備事業 | 都市下水路の整備率 | — | — | — | — | — |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-----------------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 交通安全対策 (道路企画課) | 事故危険箇所対策等事 故削減対策(51箇所) 整備率(%) | 70 | 50 | 71% | 60% | B |
| | 道路照明灯LED化更新率 (%) | 80 | 40 | 50% | | |
| 交通安全施設等整備・修繕 事業【35・87・148・195】 | 国道257号連尺交差点外 1箇所平面横断化整備率 (%) | 65 | 50 | 76% | 88% | B |
| | 事故危険箇所対策等事 故削減対策(51箇所) 整備率(%) | 70 | 50 | 71% | | |
| | 自転車走行空間等整備 率(%) | 70 | 60 | 85% | | |
| | JR弁天島駅(国道301 号)UD化整備率(%) | 5 | 5 | 100% | | |
| | 通学路整備要望対応率 (%) | 60 | 60 | 100% | | |
| | 中規模要望(高判定) の残件数(件)※平成 30年度末時点における 累積未実施分(土木部 全体) | 335 | 328 | 102% | | |
| 道路照明灯LED化更新事業 【143】 | 道路照明LED化更新率 (%) | 80 | 40 | 50% | 50% | C |
| 交通安全推進事業【157】 | 人身交通事故発生件数 (件) | 6,000 | 6,582 | 91% | 91% | B |
| 防災体制の強化 (河川課) | 急傾斜地崩壊危険区域 内の災害発生件数 (件) | 0 | 0 | 100% | 99% | B |
| | 水防演習 水防団員参 加率(%) | 80 | 77 | 96% | | |
| | 水防団員の充足率 (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 異常気象により被災し た箇所に対する年度復 旧着手率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 急傾斜対策事業 | 急傾斜地崩壊危険区域 内の災害発生件数 (件) | 0 | 0 | — | 97% | B |
| | 自分の生命と財産は自 分で守らなくてはなら ないと思う人の割合 (%) | 80 | 78.3 | 97% | | |
| 水防活動事業 | 水防演習 水防団員参 加率(%) | 80 | 77 | 96% | 98% | B |
| | 水防団員の充足率 (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 土木施設災害復旧事業 | 異常気象により被災し た箇所に対する年度復 旧着手率(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |

| | | |
|--------------|-------------------------------|------------------------|
| 基本政策⑤ | いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり | |
| 責任者 | 消防長 鵜飼 孝 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 90% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|---|-------|----|
| 消防施設の最適化、人材育成の充実（消防総務課） | 96% | B |
| 消防団の防災体制の充実（消防総務課） | 75% | B |
| 火災予防体制の充実、火災による被害の軽減（予防課） | 92% | B |
| 通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化（警防課） | 88% | B |
| 通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化（情報指令課） | 100% | A |

主な取組(成果・課題など)

- ♪ ユニットハウス型移動式訓練施設を整備し、職員の災害対応能力の向上を図ります。

浜松市消防職員人材育成基本方針に定める階級ごとに求められる役割を的確に遂行するため、令和元年11月に北消防署曳馬野出張所にユニットハウス型移動式訓練施設を設置しました。設置後、人命救助及び延焼阻止を主眼とした実災害を想定することができる実践的な訓練を延べ46回実施し、災害対応能力の維持向上を図りました。
- ♪ 西消防署庄内出張所の整備に着手し、防災拠点としての機能の強化を図ります。

火災、救急、救助等の様々な災害に対応するため、また、防災拠点として即応体制を維持するため、西消防署庄内出張所及び浜松第9分団庁舎の地質調査及び実施設計を行いました。
- ♪ 消防団活動の安定的な運営を図るため、消防団員の準中型自動車運転免許の取得に対する支援制度を創設し、機関員を担う消防団員の確保に努めます。

支援制度として、浜松市消防団員準中型自動車免許取得報奨金交付要綱を平成31年4月に制定・施行しました。安定的な機関員の確保を図るため、10人の団員に対して免許取得の支援を実施しました。
- ♪ 火災による被害の軽減を図るため、違反対象物の早期是正及び積極的な火災予防広報活動に取り組みます。

法令違反の早期是正に向け、特に不特定多数の者が出入りする事業所に対し積極的に是正指導を行い、重大な法令違反の是正及び事業所における法令遵守の意識の高揚につなげることができました。

また、火災予防について理解し実践してもらうために、イベント等を通じて積極的な火災予防広報活動を行い、市民の防火・防災意識の高揚に努めました。

♪ ドローンの運用等による災害時の情報収集能力向上を図ります。

総務省から貸与されたドローン（無人航空機）の正式運用に向け、操縦員の養成を行い9人の操縦員を確保しました。また、ドローンの飛行に必要な「許可・承認申請」を行い、飛行訓練を実施しました。

令和2年1月1日に「浜松市消防局活動用無人偵察システム運用要領」を制定するとともに、ドローンの運用を開始し、緊急消防援助隊等広域応援の派遣時や浜松市内で発生する災害に対して、ドローンを活用した効果的な情報収集能力の向上が図れました。

♪ 市内全域の災害に迅速対応するため、消防ヘリコプター「はまかぜ」の操縦士の確保、養成及び安全かつ効果的な活用に努めます。

浜松市消防航空隊の事業用操縦士2人について、消防ヘリコプター「はまかぜ」の操縦に必要な資格（型式限定資格）を取得しました。

また、国の基準で定める運航安全管理者の配置及び2人操縦体制を確保するため、令和2年4月1日までに操縦士4人の確保に向けた準備を行いました。

♪ 消防救急体制の充実を図るため、消防・救急自動車の更新及び救急救命士等の資格者の育成を行います。

高規格救急自動車4台、水槽付消防ポンプ自動車1台、救助工作車1台を更新し、消防救急体制の充実を図りました。

また、救急救命士4人と救急資格者17人の養成や、医師の指示により実施する救急救命処置を適切に行うため、救急救命士の再教育に取り組み、救急体制の充実を図りました。

♪ 救命効果を高めるため、市民に対し応急手当の普及に努めます。

救命効果の向上のため、短時間で応急手当の知識と技術を習得できる「救命入門コース」やインターネットを活用した「Web講習」を推進し、市民への救命講習等応急手当普及啓発活動に取り組みました。救命リレーの第1走者となる市民への救命講習等を33,489人に対して実施し、応急手当の普及に努めました。

♪ 災害通報の受付から無線通信まで、消防指令センターの適正な機能維持と効率的な運用を図るとともに、高所監視施設の更新・設置による機能強化を行います。

災害通報の受付から出動部隊への支援情報の送信を迅速、確実に行うため消防指令センター員への教育、研修等を行うことで効率的な運用に努めるとともに、指令管制システム、消防救急デジタル無線の保守点検等を行い、適正な機能の維持を図りました。

また、アクトタワーに設置されている高所監視施設の更新及び新たに浜北区太平洋富士見平に高所監視施設を設置し、情報収集体制の機能強化を図りました。

事業費

★ ー＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| ー | 2,113 | ー | 2,056 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 2,113 | 計 | 2,056 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-----------------------------------|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 消防施設の最適化、人材育成 の充実 (消防総務課) | 研修効果の業務活用率 (%) | 98 | 91 | 92% | 96% | B |
| | 大規模災害時に防災拠点 として活用可能な施設割合 (%) | 92.3 | 92.3 | 100% | | |
| 消防総務管理事業 | 研修効果の業務活用率 (%) | 98 | 91 | 92% | 96% | B |
| | 「消防隊員用個人防火 装備に係るガイドライン」に 準拠した個人装備の充足に 伴う更なる安全性の向上 (%) | 25 | 25 | 100% | | |
| 消防庁舎運営事業 | 大規模災害時に防災拠点 として活用可能な施設割合 (%) | 92.3 | 92.3 | 100% | 100% | A |
| | 西消防署庄内出張所建設 事業 (%) | 33 | 33 | 100% | | |
| 消防団の防災体制の充実 (消防総務課) | 公務災害発生件数の改善 率(過去5年の最多発生 件数9件からの改善率) (%) | 100 | 55.6 | 55% | 75% | B |
| | 消防団員の充足率 (%) | 100 | 96.7 | 96% | | |
| 消防団活動事業 | 公務災害発生件数の改善 率 (%) | 100 | 55.6 | 55% | 75% | B |
| | 消防団員の充足率 (%) | 100 | 96.7 | 96% | | |
| 消防団施設運営事業 | 女性消防団員の活動に 配慮した消防団施設の 数(施設) | 18 | 18 | 100% | 99% | B |
| | 耐震ランクⅢ相当の施設 の解消率 (%) | 95 | 94.2 | 99% | | |
| 火災予防体制の充実、火災に よる被害の軽減 (予防課) | 特定防火対象物における 自動火災報知設備の 設置率 (%) | 98.9 | 99.9 | 101% | 92% | B |
| | 市民の普及啓発参加 人数(万人) | 6.3 | 5.4 | 85% | | |
| 火災予防指導事業 | 特定防火対象物における 自動火災報知設備の 設置率 (%) | 98.9 | 99.9 | 101% | 100% | A |
| 火災予防啓発事業 | 市民の普及啓発参加 人数(万人) | 6.3 | 5.4 | 85% | 85% | B |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---|---|---|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 通信・指令体制、救急体制、 航空消防体制、消火・救助体 制の充実強化 (警防課) | 訓練計画に対する実施 回数(単年:回) | 8,000 | 7,952 | 99% | 88% | B |
| | 整備計画に対する地震 対策消防水利設置基数 (H27～累計)(基) | 50 | 50 | 100% | | |
| | 消防車両更新台数(H27 ～累計)(台) | 25 | 26 | 104% | | |
| | 早期に治療が必要な重 症以上の傷病者を病院 に収容するまでの平均 所要時間(分) | 30 | 34 | 113% | | |
| | 応急手当講習受講者の うち修了証等を発行す る講習の受講者数 (人) | 9,000 | 6,395 | 71% | | |
| | 救急車に乗務する救急 救命士の数(人) | 120 | 118 | 98% | | |
| | 訓練実施回数(単年) | 130 | 53 | 40% | | |
| | 安全運航体制の強化 【操縦士計器飛行証明 取得】(人数) | 0 | 0 | — | | |
| | 消防団車両更新台数 (H27～累計)(台) | 18 | 21 | 116% | | |
| | 消防防災施設等維持管理事 業 | 活動に影響を及ぼす状 態となっている消防車 両の故障の修繕率 (%) | 100 | 99 | | |
| 活動に影響を及ぼす状 態となっている消防水 利の修繕率(%) | | 100 | 75 | 75% | | |
| 消防用資機材の修繕率 (%) | | 100 | 90 | 90% | | |
| 消防防災施設等整備事業 | 消防車両更新台数(H27 ～累計)(台) | 25 | 26 | 104% | 100% | A |
| | 消防用資機材整備率 (単年:%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 救急体制整備事業 | 早期に治療が必要な重 症以上の傷病者を病院 に収容するまでの平均 所要時間(分) | 30 | 34 | 88% | 89% | B |
| | 応急手当講習受講者の うち修了証等を発行す る講習の受講者数 (人) | 9,000 | 6,395 | 71% | | |
| | 救急車に乗務する救急 救命士の数(人) | 120 | 118 | 98% | | |
| | 救急車に乗務する救急 隊員の数(人) | 220 | 227 | 103% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 消防航空隊運営事業 【170】 | 年間飛行時間（H27～累 計）（時間） | 1,500 | 1,127 | 75% | 57% | C |
| | 訓練実施回数（単年： 回） | 130 | 53 | 40% | | |
| | 安全運航体制の強化 【操縦士計器飛行証明 取得】（人数） | 0 | 0 | — | | |
| 通信・指令体制、救急体制、 航空消防体制、消火・救助体 制の充実強化 (情報指令課) | 災害通報受付から出動 指令までに要した時間 (分) | 2.0 | 1.1 | 181% | 100% | A |
| | 消防団無線の24時間365 日正常稼働（%） | 100 | 100 | 100% | | |
| 消防情報通信ネットワー ク事業【171】 | 消防情報システム並び に消防・救急デジタル 無線システムの24時間 365日の正常稼働達成率 (%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 119番通報の総受信件数 に占める、緊急を要し ない通報件数割合 (%) | 14 | 14 | 100% | | |
| | 情報収集体制強化率 (%) | 100 | 100 | 100% | | |

| | | |
|--------------|-----------------------------|------------------------|
| 基本政策⑥ | 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道 | |
| 責任者 | 水道事業及び下水道事業管理者 寺田 賢次 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 97% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|---|-------|----|
| 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道 （上下水道総務課、お客さまサービス課、水道工事課、浄水課、北部上下水道課、天竜上下水道課） | 96% | B |
| 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道 （上下水道総務課、お客さまサービス課、下水道工事課、下水道施設課、北部上下水道課、天竜上下水道課） | 99% | B |

主な取組(成果・課題など)

『健全な水道経営の持続』に向け、強固な経営基盤を確立するため、アセットマネジメントの導入による水道施設の更新費用の抑制と平準化や、配水区域再編計画の策定、料金制度適正化の検討、職員の技術力の維持向上などの取り組みを進めます。

『浜松市水道事業ビジョン』（平成28年3月公表）を着実に実行するために作成した『浜松市水道事業経営プラン』（2015-2019）に基づき、アセットマネジメントの導入による水道施設の更新費用抑制及び平準化等、各取組を実行し、経営基盤の強化に努めました。

また、令和元年度が当該プランの最終年度であったことから、新たに令和2年度から令和6年度を対象期間とした『浜松市水道事業経営プラン2020-2024』を作成しました。

『安定したサービスと安全な水道水の提供』に向けて、平成29年4月に水道事業に経営統合した旧簡易水道について遠方監視システムの集約化等による運営の効率化を引き続き進めるほか、中山間地域に適した水道サービスのあり方について検討を行います。

水道事業に経営統合した旧簡易水道施設の維持管理向上のため、遠方監視システム整備計画に基づき国庫補助事業を活用し、佐久間町の5施設の整備を実施しました。

また、飲料水供給施設については、著しい人口減少と高齢化による維持管理体制の弱体化に対応するため、支援制度のあり方や小規模水道の施設整備方針の検討を行い、令和2年度から新たに維持管理相談支援業務を実施することにしました。

『強靱で安心できる水道システムの構築』に向けて、アセットマネジメント計画に基づき上下水道の基幹管路及び水道施設の耐震化を重点的に進め、被災後の断水リスクの軽減に努めます。

『浜松市水道事業ビジョン』（平成28年3月公表）の基本目標の1つである「強靱で安心できる水道システムの構築」の実現に向け、基幹管路の耐震化により平成30年度末の水道の基幹管路耐震適合率を70.1%（前年度末66.4%）に向上したほか、老朽化した水源施設の設備更新等と併せて概ね計画どおりに進めることができました。

『良好な環境の創造』に向けて、下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽を効果的に整備する総合的な汚水処理(10年プラン)の推進や、下水道未接続世帯への接続勧奨の強化による下水道接続率の向上を図ります。

『浜松市下水道ビジョン』（平成28年3月公表）の基本方針の1つである「良好な環境の創造」の実現に向け、下水道整備と合併処理浄化槽普及促進により汚水衛生処理率（公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽等の汚水処理施設を利用している人口の割合）は87.1%（前年度末86.5%）に向上し、目標値をやや下回るものの概ね計画どおり進めることができました。

下水道未接続世帯への接続勧奨については、職員による戸別訪問（1,024戸）及び下水道への切り替え依頼に関する書類の郵送（1,045戸）の取り組みにより、下水道水冲洗化率（接続率）は96.2%（前年度末96.0%）に向上し、目標を達成しました。また、下水道未接続世帯へ接続勧奨を行い、成果のあった指定事業者に対し報奨金を交付しました。

『安全で強靱な下水道機能の確保』に向けて、基幹管路の耐震化などの地震対策を行うほか、浸水被害が予想される地域を対象とする内水ハザードマップの作成など関連部署と連携した総合的な浸水対策を進めます。

基幹管路の耐震化（管更生）等に取り組むことにより、計画よりも地震対策を進めることができました。また、浸水対策として関連部署と連携した浸水対策事業を進め、このうち安間川左岸整備事業及び高塚川調整池が完了するなどの成果により、都市雨水対策達成率は62.1%（前年度末61.8%）に向上し、計画よりも進めることができました。また、高塚川流域の内水ハザードマップ（令和2年6月公表）の作成を進めました。

『持続可能な下水道経営の推進』に向けて、効率的な建設事業の推進などによる企業債残高の削減を図るほか、平成30年4月から開始した下水道西遠処理区の運営委託方式による事業を適切に監視(モニタリング)します。

『浜松市下水道ビジョン』（平成28年3月公表）を着実に実行するために作成した『浜松市下水道事業経営プラン』（2015-2019）に基づき、企業債残高の削減等、各取組を実行し、経営基盤の強化に努めました。

下水道西遠処理区の運営委託方式による事業については、適切にモニタリングを行い、実施契約に定められた業務を運営権者が安定的かつ確実に遂行していることを確認しました。

また、令和元年度が当該プランの最終年度となることから、新たに令和2年度から令和6年度を対象期間とした『浜松市下水道事業経営プラン2020-2024』を作成しました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 一 | 7,145 | 一 | 7,132 |
| 特 | 206 | 特 | 204 |
| 企 | 56,082 | 企 | 53,012 |
| 計 | 63,433 | 計 | 60,348 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---|-------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 安全な水を確実に届け続ける 浜松の水道 (上下水道総務課、お客さま サービス課、水道工事課、浄 水課、北部上下水道課、天竜 上下水道課) | 企業債残高(億円) | 249 | 246 | 98% | 96% | B |
| | 共同住宅における小規模貯水槽の設置残件数(件) | 1,540 | 1,680 | 91% | | |
| | 検針業務等の包括委託 | 継続運用 | 継続運用 | 100% | | |
| | 水道の基幹管路耐震適合率(%) | 73.0 | 73.3 | 100% | | |
| | 水安全計画の策定(%) | 70 | 70 | 100% | | |
| | 水源上流域の調査・危害対応策作成(%) | 70 | 70 | 100% | | |
| | 飲料水供給施設の水質検査受検率(%) | 95 | 91 | 95% | | |
| | 飲料水供給施設の水質適合率(%) | 95 | 81 | 85% | | |
| 浜松市水道事業(水道事業 費用) | 水道事業の企業債残高(億円) | 249 | 246 | 98% | 80% | B |
| | 職員定数(人) | 152 | 151 | 100% | | |
| | 他の自治体等との合同防災訓練の実施回数(回) | 4 | 3 | 75% | | |
| | 啓発事業の開催回数(回) | 1 | 4 | 400% | | |
| | 指定工事業者の違反行為(件) | 0 | 1 | 0% | | |
| | 検針業務等の包括委託 | 継続運用 | 継続運用 | 100% | | |
| | 漏水率(%) | 4.0 | 7.3 | 54% | | |
| | 水安全計画の策定(%) | 70 | 70 | 100% | | |
| 浜松市水道事業(資本的支出)【172】 | 水道事業の企業債残高(億円) | 249 | 246 | 101% | 100% | A |
| | 水道の基幹管路耐震適合率(%) | 73.0 | 73.3 | 100% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道 (上下水道総務課、お客さまサービス課、下水道工事課、下水道施設課、北部上下水道課、天竜上下水道課) | 下水道事業の企業債残高(億円) | 1,561 | 1,510 | 103% | 99% | B |
| | 汚水衛生処理率(%) | 90.5 | 87.1 | 103% | | |
| | 下水道の基幹管路耐震適合率(%) | 88.7 | 98.9 | 111% | | |
| | 下水道人口普及率(%) | 81.2 | 81.1 | 99% | | |
| | 中部・館山浄化センターのエネルギー使用量(電力)削減率(対H25年度比:%) | 12.0 | 12.3 | 102% | | |
| | 下水処理場への流入水質異常件数(件) | 0 | 0 | 100% | | |
| | 下水汚泥の100%再生利用(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 下水道水洗化(接続)率(%) | 96.2 | 96.2 | 100% | | |
| | 農業集落排水地区数(地区) | 4 | 4 | 100% | | |
| | 浜松市下水道事業(下水道事業費用) | 下水道事業の企業債残高(億円) | 1,561 | 1,510 | | |
| 職員定数(人) | | 103 | 101 | 101% | | |
| 防災訓練(研修)の実施回数(回) | | 1 | 1 | 100% | | |
| 西遠コンセッション事業の導入 | | コンセッ ション 実施 | コンセッ ション 実施 | 100% | | |
| 下水道水洗化(接続)率(%) | | 96.2 | 96.2 | 100% | | |
| 中部・館山浄化センターのエネルギー使用量(電力)削減率(対H25年度比:%) | | 12.0 | 12.3 | 102% | | |
| 下水処理場への流入水質異常件数(件) | | 0 | 0 | 100% | | |
| 下水汚泥の100%再生利用(%) | | 100 | 100 | 100% | | |
| 浜松市下水道事業(資本的支出)【172・173】 | 下水道事業の企業債残高(億円) | 1,561 | 1,510 | 103% | 99% | B |
| | 下水道の基幹管路耐震適合率(%) | 88.7 | 98.9 | 111% | | |
| | 下水道人口普及率(%) | 81.2 | 81.1 | 99% | | |
| | 都市部における雨水調整池や排水ポンプ等整備率(%) (安間川・高塚川流域) | 85 | 86 | 101% | | |
| 浄化槽助成事業 | 合併処理浄化槽設置基数(基) | 26,300 | 24,163 | 91% | 91% | B |

環境・エネルギー

| | |
|------------------------|--|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。 |
| 政策の柱 (10年後) | ◆ ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆ 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。 |
| 基本政策① | 環境と共生した持続可能な社会の実現 |
| 責任者 | 環境部長 影山 伸枝 |
| 評価 | B 指標達成率の平均 95% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|-----------------------------------|-------|----|
| 環境に配慮した暮らしの定着と自然と共生するまちづくり（環境政策課） | 90% | B |
| 豊かで安全・健康で快適な環境づくり（環境保全課） | 99% | B |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築（ごみ減量推進課） | 87% | B |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築（南清掃事業所） | 99% | B |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築（平和清掃事業所） | 100% | A |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築（浜北環境事業所） | 89% | B |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築（天竜環境事業所） | 98% | B |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理（ごみ減量推進課） | — | — |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理（廃棄物処理課） | 99% | B |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理（南清掃事業所） | 99% | B |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理（平和清掃事業所） | 100% | A |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理（浜北環境事業所） | 98% | B |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理（天竜環境事業所） | 100% | A |
| 不法投棄対策の推進（産業廃棄物対策課） | 78% | B |

主な取組(成果・課題など)

♪ 地球温暖化対策を推進するため、国民運動COOL CHOICEの普及啓発や公共交通機関の利用促進により、温室効果ガス排出量の削減を図ります。

COOL CHOICEの普及・啓発を行うため、地域公共交通事業者と連携して、クイズラリーやトレインフェスタを利用した啓発活動を行いました。遠鉄電車（28車両）と天竜浜名湖鉄道（13車両）の車内や駅（19駅）へのポスター掲出のほか、遠鉄バス側面（8車両）を利用したラッピングによる広報を行いました。

また、協働センターまつり等のイベントを利用し、温暖化による未来のまちの姿等を映したVR（バーチャル・リアリティ）動画を用いた啓発を12回行いました。これらにより、COOL CHOICEへの賛同を2,167人・22団体から得ることができました。

♪ 市有施設の省エネルギーを推進するため、浜松市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の改定や、点灯時間の長い旧型蛍光灯について、令和元年度から7か年ですべてLED化するなど、エネルギー使用量の低減を図ります。

令和2年度に計画期間が終了する浜松市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を改定するため、市有施設の省エネ対策等、次期計画に向けた検討を行いました。

また、協働センター等21施設の旧型照明のLED化（1,718台）やあらたまの湯、春野協働センター2施設でBEMS(ビル・エネルギー・マネジメント・システム)の導入やポンプのインバーター化等の省エネ改修工事を行い、エネルギー使用量の低減を図りました。

♪ 特定外来生物クリハラリスによる生態系、農林業、市民生活への被害を未然に防ぐため、効果的な捕獲プランを策定し、市民・事業者・専門家と一体となって、防除対策を推進します。

防除対策を計画的・効果的に推進するため、「クリハラリス捕獲プラン」を策定するとともに、新たに行政・関係団体・専門家等で構成する「浜松市クリハラリス対策協議会」を設置しました。協議会では、プランの確認や今後の方針、捕獲スケジュール等を協議し、事業実施に向けた体制を整備しました。

また、市民を対象とした捕獲講習会を2回開催し、令和元年度末までに市民ボランティア計99人が捕獲従事者として登録していただきました。令和元年度には、調査捕獲（158頭）を含め市民ボランティア等の捕獲従事者により843頭を捕獲しました。

♪ 佐鳴湖の水環境の向上を図るため、佐鳴湖地域協議会が計画する取り組みを、市民との協働により推進します。

佐鳴湖の水環境の向上を図るため、佐鳴湖上流域の市民との協働により、雨水浸透ます（83基）を設置しました。また、佐鳴湖の水質浄化等の調査研究を行う市民団体等に助成金を交付し、環境保全活動等への支援を行いました。

また、新指標水質調査（年4回）やヨシ刈り、未来へつなぐネット、佐鳴湖交流会等の啓発事業を開催し、参加者（延べ295人）の佐鳴湖に対する知識と関心を深めることができました。

♪ 一人1日当たり家庭系ごみの排出量が最も少ない政令指定都市を目指す「ごみ減量天下取り大作戦」を展開し、市民と協働して、生ごみの水切り徹底、雑がみの資源化に取り組みます。

ごみ減量3R説明会（114回、3,943名）や協働センターまつり等でのイベント（12イベント、2,103名）を実施するとともに、「生ごみの水切りグッズ」（12,926個）や「雑がみの分別袋」（46,000袋）の配付により、ごみの減量と資源化の啓発を行いました。併せて、宣言ごみ袋（2,654セット）と生ごみ堆肥化容器（1,002個）の配付、生ごみ処理機の購入補助（120世帯分）を通じて、ごみ減量の実践を促した結果、一人1日当たりの家庭系ごみ排出量は、495gとなり、前年度より3g削減できました。

♪ 家庭や飲食店等からの食品ロス削減を図るため、小学生ごみ減量チャレンジの実施やエコレシピコンテストの開催、「食品ロス削減協力店」と連携したPRに取り組みます。

食品ロス削減のため、こどもモットイナイ大作戦（17,739名）やエコレシピコンテスト（応募数58作品）を実施しました。また、市内食料品提供事業者に対し食品ロス削減協力店への登録を呼びかけ、223の事業者の登録がありました。店舗内でミニのぼり旗やステッカーを掲出するなど、食品ロス削減に関する普及啓発に協力いただきました。

♪ 効率的なごみ処理体制を構築するため、新清掃工場及び新破碎処理センターの造成工事及びアプローチ道路工事の実施など、令和6年度の稼働に向けて円滑な整備を進めます。

老朽化したごみ処理施設の代替となる新清掃工場及び新破碎処理センターを整備するため、造成工事として盛土工、調整池堰堤築造工、アプローチ道路工事として橋梁下部工を実施しました。

また、県道熊小松天竜川停車場線、市道天竜紙板南線の道路改良工事を実施し、周辺道路の拡幅整備を進めました。

♪ PCB含有電気機器等を適正に処理するため、関係機関と連携し効率的な指導を行い、法定期限内での処理を確実なものとしします。

環境省及び近隣自治体と安定器調査に関する知見や情報を共有し、PCB含有安定器判別の迅速化に努めるとともに、一部調査を委託により実施することで作業の効率化を図った結果、対象事業者の93%余りまで調査が進捗しました。

PCB含有安定器の保有が判明した事業者に対しては、処理委託契約締結までの工程を説明する等、法定期限内である令和3年3月末までには確実に処理を行うよう指導しました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|--------|--------------------------|--------|
| 一 | 14,395 | 一 | 14,194 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 14,395 | 計 | 14,194 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 環境に配慮した暮らしの定着 と自然と共生するまちづくり (環境政策課) | 市有施設の電気使用量 (MWh) | 124,743 | R2. 8項確定 | — | 90% | B |
| | 「Eスイッチプログラム」 受講者数(人) | 10,000 | 9,013 | 90% | | |
| 地球環境保全貢献事業 【138・139・143】 | 市域からの温室効果ガス 排出量(Kt) | 5,351 | R4. 4項確定 | — | 100% | A |
| | 市有施設の電気使用量 (MWh) | 124,743 | R2. 8項確定 | — | | |
| | 国民運動クールチョイス への個人賛同数(H28 ～累計)(人)、浜松 市収集分 | 9,500 | 9,521 | 100% | | |
| | 気候変動に対応した適 応策の認知度(%) | 28.4 | 30.5 | 107% | | |
| | 市有施設のLED化率 (%) | 4.3 | 4.6 | 106% | | |
| 環境教育推進事業 | 環境学習指導者養成講 座による人材育成人数 (H26～累計)(人) | 60 | 69 | 115% | 96% | B |
| | 「Eスイッチプログラム」 受講者数(人) | 10,000 | 9,013 | 90% | | |
| | ESDモデルプログラム実 施箇所数(箇所) | 3 | 4 | 133% | | |
| 生物多様性保全事業 【134・135】 | 「生物多様性はままつ 戦略」「生物多様性」 の理解度(%) | 36 | 14.1 | 39% | 78% | B |
| | ヤリタナゴ生息数 (匹) | 64 | 61 | 95% | | |
| | クリハラリス生息数 (頭) | 18,000 | 18,000 | 100% | | |
| 豊かで安全・健康で快適な環 境づくり (環境保全課) | 大気環境基準4項目 (SO ₂ 、NO ₂ 、CO、SPM) の環境基準値達成割合 (%) | 100 | 100 | 100% | 99% | B |
| | 自動車騒音の要請限度 内達成割合(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 公共用水域の環境基準 達成率(%) | 95 | 94.5 | 99% | | |
| 水質保全事業【136】 | 公共用水域の環境基準 達成率(%) | 95 | 94.5 | 99% | 99% | B |
| | 塩水化していない井戸 の本数(母数は56本) (本) | 47 | 47 | 100% | | |
| | 佐鳴湖地域協議会での 行動計画の策定及び業 務実施 | 次期計画 策定 | 次期計画 策定 | 100% | | |
| 環境に配慮した資源循環型社 会の構築 (ごみ減量推進課) | 一人1日あたりのごみ排 出量(g) | 863 | 864 | 99% | 87% | B |
| | リサイクル率(%) | 24.6 | 18.7 | 76% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|----------------------------------|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| ごみ減量・リサイクル推進 事業【129・130・131】 | ごみの総排出量 (t) | 248,724 | 253,821 | 97% | 87% | B |
| | 一人1日あたりのごみ排出量 (g) | 863 | 864 | 99% | | |
| | リサイクル率 (%) | 24.6 | 18.7 | 76% | | |
| | 一人1日あたりの家庭ごみ排出量 (g) | 420 | 495 | 84% | | |
| | 学校連携事業 参加児童数 (人) | 22,000 | 17,739 | 80% | | |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築 (南清掃事業所) | 不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール実施率 (%) | 100 | 100 | 100% | 99% | B |
| | みどりのリサイクル受入件数 (件) | 8,000 | 7,941 | 99% | | |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築 (平和清掃事業所) | 不法投棄、不当排出廃棄物パトロール実施率 (%) | 95 | 96 | 101% | 100% | A |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築 (浜北環境事業所) | 浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの区民一人1日あたりの排出量 (g) | 420 | 488 | 86% | 89% | B |
| | みどりのリサイクル受入件数 (件) | 5,500 | 5,113 | 92% | | |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築 (天竜環境事業所) | 天竜区内の家庭系可燃一般廃棄物の区民一人1日あたりの排出量 (g) | 444 | 450 | 98% | 98% | B |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理 (ごみ減量推進課) | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理 (廃棄物処理課) | 新清掃工場建設の進捗率 (%) | 14 | 14 | 100% | 99% | B |
| | し尿処理施設の長寿命化の進捗率 (%) | 71.7 | 70.4 | 98% | | |
| | 不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールの実施率 (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 新清掃工場整備事業 【132】 | 新清掃工場建設の進捗率 (%) | 14 | 14 | 100% | 100% | A |
| | PFI事業 (設計・建設)の進捗率 (%) | 11 | 11 | 100% | | |
| | 施設整備に係る環境影響評価事後調査の進捗率 (%) | 26 | 26 | 100% | | |
| | 施設整備に係るモニタリング業務の進捗率 (%) | 30 | 30 | 100% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--------------------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 西部清掃工場運営事業 【133】 | 可燃ごみの適正処理量 (H27～累計) (t) | 605,000 | 577,145 | 104% | 100% | A |
| | ごみ発電出力 (H27～累 計) (MWh) | 180 | 238 | 132% | | |
| | 西部清掃工場の更新事 業計画策定の進捗率 (%) | 5 | 5 | 100% | | |
| 安全・安心で安定したごみ・ し尿等の処理 (南清掃事業所) | 焼却場の安定稼働日数 (日) | 364 | 363 | 99% | 99% | B |
| 安全・安心で安定したごみ・ し尿等の処理 (平和清掃事業所) | 不燃ごみ等破碎処理後 における再資源化率 (%) | 15以上 | 19 | 127% | 100% | A |
| | 平和最終処分場第2期埋 立進捗率 (%) | 49 | 47 | 104% | | |
| 安全・安心で安定したごみ・ し尿等の処理 (浜北環境事業所) | 累積埋立量 (H27～) (m ³) | 800 | 813 | 98% | 98% | B |
| 安全・安心で安定したごみ・ し尿等の処理 (天竜環境事業所) | ごみ処理施設の解体整 地 (%) | 50 | 50 | 100% | 100% | A |
| 不法投棄対策の推進 (産業廃棄物対策課) | 生活環境に影響を及ぼ すおそれのある産業廃 棄物の不法投棄件数 (件) | 0 | 0 | 100% | 78% | B |
| | 産業廃棄物に係る苦情 処理件数 (件) | 5 | 9 | 56% | | |
| 産業廃棄物適正処理推進事 業 | 生活環境に影響を及ぼ すおそれのある産業廃 棄物の不法投棄件数 (件) | 0 | 0% | — | 100% | A |
| | 産業廃棄物処理業者へ の立入検査時における 行政指導率 (%) | 15 | 19 | 125% | | |
| | 不法投棄対策資材設置 地点における再発防止 率 (%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 監視カメラ設置総数 (台) | 60 | 60 | 100% | | |

| | | |
|--------------|---------------------------------------|-------------------------|
| 基本政策② | 再生可能エネルギー等の導入と省エネルギーの推進によるエネルギー自給率の向上 | |
| 責任者 | 産業部長 宮城 和敬 | |
| 評価 | A | 指標達成率の平均 100% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|------------------------------|-------|----|
| 再生可能エネルギー等の導入 （エネルギー政策課） | 100% | A |
| 省エネルギーの推進 （エネルギー政策課） | 100% | A |
| エネルギー関連ビジネスの創出 （エネルギー政策課） | 100% | A |

主な取組(成果・課題など)

♪ 浜松版スマートシティ(＝エネルギーに対する不安がない強靱で低炭素な社会)の実現に向け、浜松市スマートシティ推進協議会を中心に、エネルギーの最適利用やスマートコミュニティの構築など、官民連携によるスマートシティプロジェクトを推進します。

「浜松市スマートシティ推進協議会」（会員：164団体 ※令和2年3月末現在）を中心に、地域内外の有識者や、経済界、金融機関、行政が一体となって「浜松版スマートシティ」の実現を目指し、民間活力を最大限活かして、再生可能エネルギー等の導入や、スマートコミュニティ構築などスマートシティ実現に資するプロジェクトの創出などの調査、検討を進めました。

♪ 太陽光やバイオマス、風力、小水力など地域特有の再生可能エネルギーやガスコージェネレーション等の地域分散型エネルギーの適正な導入を推進します。

国内有数の日照時間に恵まれた地域特性を活かし、太陽光発電の導入を積極的に推進し、太陽光発電の導入量は497,904kWと、引き続き全国1,741市区町村の中でトップの座を維持しています（経済産業省発表令和元年12月現在）。また、既存の太陽光発電施設を適正に管理するため、平成30年度に実施した実態調査に基づき発電事業者への啓発を推進するとともに、再生可能エネルギーの拡大と地域との共生の両立を目指すため、20kW以上の太陽光発電設備、100kW以上の風力発電設備を対象とした適正な設置やのための条例を制定し、併せて、太陽光発電施設及び風力発電施設設置に関するガイドラインを見直しました。

♪ 多様な市域のフィールドを活用して、成長産業として期待される環境・エネルギー分野における新ビジネスの創出を促進します。

今後成長が期待される水素社会の実現やスマートシティ関連技術によるビジネス創造を目的に、経済産業省、県と連携し水素セミナーを開催しました。また、浜松市スマートシティ推進協議会等の官民連携によるスマートプロジェクトを推進し、エネルギーマネジメントシステム（EMS）や省エネ、再生可能エネルギーの導入など参画企業による新たなエネルギービジネスの検討や研究を進めました。

♪ 自家消費型住宅の普及拡大を促進するとともに、マンションなどの省エネ化やエネルギーマネジメントシステムの導入を進めます。

(株)浜松新電力と連携し、省エネ診断の実施など中小企業への省エネサポート事業を実施しました。また、一般家庭やマンションにおける、発電と蓄電が一体となったスマートハウス化を推進するため、スマートハウス補助金を交付し、ゼロエネルギー住宅などへの動きを促進しました。

さらに、公共施設の省エネ化、エネルギーの効率的利用を推進するため、隣接する公共施設を一つの電力需要場所とするスマートグリッドを8箇所設置し、各グリッド内に太陽光や蓄電池、EMSによる最適なエネルギー利用を可能とし、それらグリッド間でエネルギー融通を行う「浜松市マイクログリッド事業」の運用を開始しました。

♪ 株式会社浜松新電力の運営に参画し、再生可能エネルギーの地産地消を推進します。

太陽光発電やバイオマス発電など地域で創られる再生可能エネルギーの地産地消を推進する(株)浜松新電力の運営に民間事業者8社とともに参画し、浜松市内の太陽光発電やバイオマス発電（ごみ発電）等の再生可能エネルギー電源の調達により、公共施設や企業へクリーンで安価な電力を約17,000kW供給しています。令和元年度からは、一般家庭向けの電力供給を開始しました。

また、FIT法改正により太陽光発電のメンテナンス義務付けがされたことから、太陽光発電の長期安定的な維持管理を促進するため、本市と(株)浜松新電力により、メンテナンス事業者向けセミナーを実施するなど、太陽光発電メンテナンスサポート事業を推進しました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|----|--------------------------|----|
| 一 | 22 | 一 | 16 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 22 | 計 | 16 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|----------------------------------|------------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 再生可能エネルギー等の導入 (エネルギー政策課) | エネルギー（電力）自給率（%） | 15.4 | 16.0 | 103% | 100% | A |
| スマートシティ推進事業 【140・141・165】 | 太陽光発電量（MWh） | 547,000 | 627,396 | 114% | 90% | B |
| | 太陽光発電導入件数 （事業用）の全国順位 | 1 | 1 | 100% | | |
| | バイオマス発電所設置 計画策定に向けた進捗 状況 | 計画調整 | 計画検討 | — | | |
| | 火力発電所設置計画策 定に向けた進捗状況 | 計画検討 | 計画検討 | 100% | | |
| | ガスコージェネレー ション発電量（MWh） | 126,000 | 46,555 | 36% | | |
| | 再エネによる電力自給 率（%） | 14.5 | 15.1 | 104% | | |
| | 再エネ導入容量（MWh） | 725,000 | 753,930 | 103% | | |
| エネルギー（電力）自 給率（%） | 15.4 | 16.0 | 103% | | | |
| 省エネルギーの推進 (エネルギー政策課) | エネルギー（電力）自給率（%） | 15.4 | 16.0 | 103% | 100% | A |
| スマートシティ推進事業 【145・146・165】 | 浜松市スマートシティ 協議会参画企業数 （社） | 150 | 161 | 107% | 96% | B |
| | エネルギー（電力）自 給率（%） | 15.4 | 16.0 | 103% | | |
| | スマートプロジェクト の創出件数（H28～累 計）（件） | 10 | 8 | 80% | | |
| | 再エネ・省エネ事業者 認定制度認定事業所数 | 28 | 34 | 121% | | |
| | スマートプロジェクト の実装件数（H28～累 計）（件） | 1 | 1 | 100% | | |
| | 浜松市マイクログリッド 事業の進捗状況 | 実証 | 実証→実装 | 100% | | |
| エネルギー関連ビジネスの創 出 (エネルギー政策課) | 新電力会社における契 約電力量（KW） | 12,000 | 16,974 | 141% | 100% | A |
| スマートシティ推進事業 【142】 | エネルギー（電力）自 給率（%） | 15.4 | 16.0 | 103% | 94% | B |
| | 新電力会社における契 約電力量（KW） | 18,000 | 16,974 | 94% | | |
| | 新電力会社の設立 | 継続運営 | 継続運営 | 100% | | |
| | スマートプロジェクト の創出件数（H28～累 計）（件） | 10 | 8 | 80% | | |
| | 総合エネルギー事業の 構築 | 一般家庭へ 電力供給 | 一般家庭へ 電力供給 | 100% | | |

健康・福祉

| | |
|------------------------|---|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。 |
| 政策の柱 (10年後) | ◆ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。 ◆ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。 |
| 基本政策① | 人と人とのつながりをつくる社会の実現 |
| 責任者 | 健康福祉部長 山下 昭一 |
| 評価 | B 指標達成率の平均 96% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|---|-------|----|
| 超高齢社会への対応 （高齢者福祉課） | — | — |
| すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる 地域福祉の推進（福祉総務課） | 89% | B |
| すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる 地域福祉の推進（高齢者福祉課） | — | — |
| 適正な生活保護扶助費の給付 （福祉総務課） | 100% | A |
| 超高齢社会における介護保険事業の健全で安定した運営 （介護保険課） | 98% | B |
| 国民健康保険事業の健全で安定した運営 （国保年金課） | 99% | B |
| 障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進 （障害保健福祉課） | 94% | B |
| 障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進 （障害者更生相談所） | 98% | B |

主な取組(成果・課題など)

- ♪ 浜松市社会福祉協議会が実施するコミュニティソーシャルワーカー配置及び活動を支援し、地区社会福祉協議会をはじめとする住民主体の地域福祉活動を推進します。

浜松市社会福祉協議会が配置したコミュニティソーシャルワーカー（CSW）12名による個別相談業務や地区社会福祉協議会の活動支援などについて、負担金を支出しました。

コミュニティソーシャルワーカーは、675件の新規個別相談を受けたほか、地区社会福祉協議会3地区において「地域診断」を行い、地域の社会資源や文化、福祉意識、地域の課題などを住民自らが検討し、課題解決に取り組むことができるよう支援するなど、住民主体の地域福祉活動の推進に取り組みました。

- ♪ 生活支援体制づくり協議体において、生活支援・介護予防サービスの提供を推進するため、担い手の掘り起しなどの地域課題について話し合いを行うとともに、地域では対応が難しい複雑な課題を解決するために、多機関の協働による包括的な相談支援体制の構築を図ります。

生活支援体制づくり協議体では、市域レベルで2回、22協議体ある地域包括支援センター圏域レベルで76回の話し合いを持ち、地域ニーズとサービス提供の検討を行いました。また、平成30年度に「地区社会福祉協議会への活動支援」、「コミュニティソーシャルワーカーの配置支援」、「多機関の協働による包括的な相談支援体制の構築」の3施策をリーディングプロジェクトとして位置づけた「第4次浜松市地域福祉計画」を策定し、包括的な支援体制づくりを進める中で、地域福祉活動の進展を図りました。

- ♪ 高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、地域ケア会議を効果的に実施し、高齢者への適切な支援に繋がるよう取り組みます。

支援困難なケースや自立支援・重度化防止に向けての検討が必要なケースを、医療、介護、福祉等多職種が協働して解決に向けた検討を行うため、地域包括支援センターが中心となり、地域ケア会議を市全体で189回実施いたしました。

- ♪ 介護職の魅力の向上、介護職員のキャリアアップ支援、多様な人材の確保・育成など介護人材の確保に向けた取り組みを推進します。

介護保険サービス事業所における従事者数の増加と定着を図るため、市内事業所への一定期間以上の勤務を条件として、キャリアアップとなる研修を受講した介護職員等142人に費用の一部を助成しました。

また、経済連携協定による外国人介護福祉士候補者の受入れを行った2つの社会福祉法人に、受入れに係る初期費用や2年目にかかる日本語研修等費用の一部を助成したほか、浜松市福祉人材バンクの協力により、市内10の高等学校に介護の就活冊子を配架するなど、介護職の魅力向上や人材の確保・育成に努めました。

- ♪ 市民へ認知症の正しい知識の普及啓発を図るため認知症サポーター養成講座を開催するほか、認知症本人や家族の視点に立ったオレンジカフェ(認知症カフェ)の運営支援や、認知症の早期発見・早期対応をするため認知症初期集中支援チーム事業を推進するなど認知症施策を総合的に取り組みます。

認知症に対する正しい知識の普及のため、認知症サポーター養成講座を111回開催し、3,565人が受講しました。

また、認知症の人やその家族を支援するため、認知症カフェの認証や設置運営の補助事業を実施し、市内17か所に認証・運営支援を行うとともに、専門職による認知症初期集中支援チームの活動を推進し、18事例に取り組みました。

徘徊高齢者早期発見事業については、登録番号付き反射シール（オレンジシール）の登録者が前年度比80人増の723人、行方不明情報のメール配信を行うオレンジメールの協力者が前年度比263人増の1,934人であり、メールによる30件の搜索協力を行いました。

♪ 「70歳現役都市・浜松」の柱である「社会参加支援」と「健康増進」を推進するため、ロコモーショントレーニングや、栄養・口腔機能に関する知識の普及啓発、ささえあいポイント事業によるボランティア活動を推進し、健康寿命の延伸に取り組みます。

ロコモーショントレーニングについて、地域の高齢者サロンやデイサービス事業所等で15,151の方が取り組み、目標としていた15,000人を上回りました。また、地域のサロン等へ専門職（歯科衛生士、栄養士）を派遣し、口腔ケアや口腔機能の向上、栄養改善に向けた指導を1,011人に対し実施しました。

ささえあいポイント事業では、施設ボランティア・地域ボランティアによる「ボランティアポイント」及びロコトレポイント・健診ポイントによる「介護予防ポイント」を奨励金や寄附に交換できる施策を展開しました。その結果、令和元年度末のボランティア登録者数は前年度比337人増の4,186人、受入施設数は前年度比10施設増の663施設となりました。

♪ 地域における障がい者への相談支援体制を強化するため、相談支援事業所の人員体制の見直しなど準備を進めます。

地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、平成30年4月に障がい者基幹相談支援センターを開設し、令和元年度においては地域の障害者支援相談事業所などへの困難事例に対する助言を延べ223件、地域の相談支援事業者の人材育成支援に関する研修を開催し1,067人が参加され、地域の相談支援体制の強化を図ることができました。

さらに、障害者支援相談事業所を再編し、相談員を集約した障がい者相談支援センターを令和2年4月に開設することで、様々なニーズに対応可能な相談支援体制の整備に取り組みました。

この他、障がいのある方の地域生活への移行の推進に向け、グループホームを計画的に整備するとともに、地域での自立した生活に対する支援を充実させるため、障害者施設に通所する障がいのある方に対して、通所に係る交通費の一部を助成する事業を実施しました。

♪ 人生の最終段階において、本人、家族等の意向を尊重した医療・ケアを決定するためのプロセスである「アドバンス・ケア・プランニング」の普及啓発に取り組みます。

アドバンス・ケア・プランニングの普及啓発のため、市民向けの啓発冊子「人生会議手帳」を令和元年12月に作成し、区長寿保険課や地域包括支援センター等で配布を開始しました。

また、医師会の協力により、市民や医療・介護に関わる専門職を対象に、人生の最終段階における医療・ケアに関する意思決定支援をテーマに研修会を実施し、普及啓発に努めました。

事業費

★ ー＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| ー | 55,747 | ー | 53,857 |
| 特 | 153,517 | 特 | 151,496 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 209,264 | 計 | 205,353 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 | R1 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---|--|------------------|---------------|-----------|-----------------|----|
| | | (2019) 計画値 | (2019) 実績値 | | | |
| 超高齢社会への対応 (高齢者福祉課) | 健康寿命の延伸 (歳) | 男73.48 女76.44 | (公表時期 未定) | — | — | — |
| 介護保険事業 (口コモーショントレー ニング事業)【22・124】 (ささえあいポイント事 業)【23・125】 (地域包括支援センター運 営事業)【97】 (在宅医療・介護連携推進 事業)【98・101】 | 口コモーショントレー ニング実参加者数 (人) | 15,000 | 15,151 | 101% | 91% | B |
| | ささえあいポイント事 業登録者数 (人) | 4,400 | 4,186 | 95% | | |
| | 地域包括支援センター 総合相談件数 (件) | 45,750 | 49,384 | 107% | | |
| | 在宅医療・介護連携相 談センター相談件数 (件) | 960 | 1,285 | 133% | | |
| | 市民・専門職に対する 人生の最終段階におけ る医療・ケアについて の講演会・研修会の実 施回数 (R1～累計) (回) | 10 | 6 | 60% | | |
| 認知症施策推進事業【99】 | 認知症サポーター養成 人数・単年度 (人) | 4,600 | 3,565 | 77% | 73% | B |
| | 認知症サポート医養成 人数 (H17～累計) (人) | 58 | 73 | 125% | | |
| | 認知症チェックリスト の配布数・単年度 (人) | 5,000 | 2,100 | 42% | | |
| シニアクラブ支援事業 【24・126】 | シニアクラブ加入者率 (%) | 10 | 8.3 | 83% | 75% | B |
| | シルバーサポーター派 遣回数 (回) | 170 | 114 | 67% | | |
| 高齢者施設運営事業 【120】 | 老人福祉センター利用 者数 (人) | 505,000 | 400,039 | 79% | 89% | B |
| | ふれあい交流センター へ転換 | 事業者選定 | 選定済み | 100% | | |
| 老人福祉施設整備費助成事 業(補助金) | 特別養護老人ホームの 定員 (人) | 5,000 | 4,924 | 98% | 49% | C |
| | 入所待機者のうち在宅 重度者 (人) ※各年8月1日現在 | 0 | 242 | 0% | | |
| すべての人が安心していき いきと暮らすことのできる 地域福祉の推進 (福祉総務課) | 地区社会福祉協議会の 設置数 (団体) | 58 | 55 | 94% | 89% | B |
| | コミュニティソーシャル ワーカーの配置人数 (人) | 14 | 12 | 85% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---|---------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 地域福祉推進事業【26・106・107・128】 | 地区社会福祉協議会の設置数(団体) | 58 | 55 | 94% | 90% | B |
| | コミュニティソーシャルワーカーの配置人数(人) | 14 | 12 | 85% | | |
| | 地域ボランティアコーナー開設数(か所) | 58 | 47 | 81% | | |
| | 相談窓口における高齢者の「いきがい相談」に関する相談件数(件) | 50 | 560 | 1120% | | |
| すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進(高齢者福祉課) | 健康寿命の延伸(歳) | 男73.48 女76.44 | (公表時期未定) | — | — | — |
| 地域高齢者見守り・支援事業 | ひとり暮らし高齢者等情報把握者数(人) | 125,000 | 128,650 | 102% | 100% | A |
| | 平常時の見守りが災害時の支援に結びつく体制の構築 | 対象者の整合 | 対象者の整合 | 100% | | |
| シルバー人材センター支援事業【20・122】 | シルバー人材センター会員数(人) | 4,500 | 4,575 | 101% | 99% | B |
| | 会員の就業率(%) | 80 | 77.8 | 97% | | |
| | 契約金額(百万円) | 1,736 | 1,805 | 103% | | |
| 適正な生活保護扶助費の給付(福祉総務課) | 生活保護世帯における後発医薬品使用率(%) | 83 | 89 | 107% | 100% | A |
| 生活保護扶助事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 超高齢社会における介護保険事業の健全で安定した運営(介護保険課) | 認知症対応型共同生活介護施設の定員(人) | 1,257 | 1,251 | 99% | 98% | B |
| | 介護サービス事業者への実地指導数(件) | 400 | 458 | 114% | | |
| | 中山間地域を対象にサービスを提供する事業所数(箇所) | 50 | 49 | 98% | | |
| | 要介護認定出現率(各年10月1日現在)(%) | 16.95 | 17.15 | 98% | | |
| 介護サービス提供基盤整備費助成事業(補助金)【100】 | 認知症対応型共同生活介護施設の定員(人) | 1,257 | 1,251 | 99% | 99% | B |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 国民健康保険事業の健全で安定した運営 (国保年金課) | (国民健康保険事業) 保険料現年分収納率 (%) | 92.40 | 92.22 | 99% | 99% | B |
| | 特定健診受診率 (%) | 36.00 | R2.11頃確定 | — | | |
| | (後期高齢者医療事業) 保険料現年分収納率 (%) | 99.41 | 99.50 | 100% | | |
| 国民年金受託事務事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 国民健康保険事業 | 保険料現年分収納率 (%) | 92.40 | 92.22 | 99% | 99% | B |
| | 特定健診受診率 (%) | 36.00 | R2.11頃確定 | — | | |
| 後期高齢者医療事業 | 保険料現年分収納率 (%) | 99.41 | 99.50 | 100% | 100% | A |
| 障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進 (障害保健福祉課) | グループホームの定員 (人) | 450 | 493 | 109% | 94% | B |
| | 障害者就労施設から一般就労への移行者数 (人) | 159 | 140 | 88% | | |
| | 児童発達支援事業利用者数 (人) | 1,160 | 1,099 | 94% | | |
| 障害者地域生活支援事業【111・112】 | 日常生活用具助成件数 (件) | 15,683 | 15,036 | 95% | 98% | B |
| | 委託相談支援事業所の再編 (%) | 50 | 50 | 100% | | |
| | 手話奉仕員養成講座受講者等 (H30～累計) (人) | 150 | 174 | 116% | | |
| こころの健康づくり推進事業【113】 | 訪問相談支援(年間延べ件数) | 1,180 | 897 | 76% | 72% | B |
| | 措置入院を経て地域に退院した人のうち、計画に基づく支援を実施した人の割合 (%) | 25.0 | 17.0 | 68% | | |
| 障害者就労支援事業【114】 | 障害者就労施設から一般就労への移行者数 (人) | 159 | 140 | 88% | 93% | B |
| | 障害者優先調達契約金額 (千円) | 57,000 | 56,590 | 99% | | |
| 障害者施設整備費助成事業(補助金)【115】 | グループホームの定員 (人) | 450 | 493 | 109% | 100% | A |
| 障害者(児)自立支援給付事業 | 共同生活援助(グループホーム)利用者増(H27～累計) (人) | 113 | 123 | 108% | 97% | B |
| | 児童発達支援事業利用者数 (人) | 1,160 | 1,099 | 94% | | |
| 障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進 (障害者更生相談所) | 相談会、研修会の満足度(「大変満足」+「満足」) (%) | 87.4 | 86.2 | 98% | 98% | B |
| 地域リハビリテーション推進事業 | 相談会、研修会の満足度 (%) | 87.4 | 86.2 | 98% | 98% | B |

| | | |
|--------------|--|------------------------|
| 基本政策② | 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実 | |
| 責任者 | 健康福祉部 医療担当部長 鈴木 達夫 健康福祉部 保健所長 西原 信彦 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 98% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|------------------------------------|-------|----------|
| 生涯にわたる健康づくり （健康増進課） | 95% | B |
| 安全・安心な医療の提供 （病院管理課） | 100% | A |
| 安全・安心な医療の提供 （保健総務課、保健所浜北支所） | 97% | B |
| 地域医療・地域包括ケアの推進 （健康医療課） | 100% | A |
| 地域医療・地域包括ケアの推進 （佐久間病院） | 98% | B |
| こころの健康づくりの推進 （精神保健福祉センター） | 100% | A |
| 地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成 （看護専門学校） | 97% | B |
| 保健予防と食の安全対策の推進 （保健環境研究所） | 100% | A |
| 保健予防と食の安全対策の推進 （生活衛生課、保健所浜北支所） | 99% | B |

主な取組(成果・課題など)

「70歳現役都市・浜松」の柱である「健康増進」を推進するため、ノルディック・ウォークの普及啓発や、市民の健康増進の担い手となる市民いきいきトレーナーの活用を推進し、健康寿命の更なる延伸に取り組めます。

全身の運動効果の高いノルディック・ウォークの普及を図るため、平成30年度に養成したリーダーが地域で普及するための活動支援や、イベントや協働センター等において普及啓発を行い、ノルディック・ウォークを通じた運動習慣の普及につなげました。

また、運動機能の維持向上を目的とした「浜松いきいき体操」の普及を図るため、浜松市リハビリテーション病院で養成された市民いきいきトレーナーが、市民の健康増進の担い手として活動できるよう、新たに市に登録した149人のトレーナーと体操を希望する団体とのマッチングを行い、46団体の高齢者等への体操指導につなげることができました。

♪ 妊娠・出産・子育て等の相談に加え、不妊に悩む方に対する相談体制の強化を図り、子育て世代が子どもを安心して生み育てられるよう、切れ目のない支援を実施します。

全ての妊産婦や保護者等が妊娠や出産、子育てに向けて、自身や乳幼児等にとって必要とする母子保健や子育て支援サービスを適切に選択して利用できるよう、利用計画（セルフプラン）となる「はますくプラン」を作成し、母子健康手帳交付時に妊婦に配付、周知することで、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の強化を図ることができました。

また、不妊等に関する専門的な相談に対応する不妊専門相談センター機能を整備し、不妊に悩む夫婦等に対して医師による個別相談や、「はままつ女性の健康相談」においても相談を受ける等、支援体制を強化しました。

♪ 新たに浜松市AEDガイドラインの周知啓発及びはままつAEDステーションの登録事業を実施するなど、救急医療体制の充実を図ります。

日本救急医療財団の全国AEDマップに登録されているAED設置施設に対して、「はままつAEDステーション登録制度のご案内」を配布し、AEDガイドラインの周知及び登録事業を開始しました。

登録事業者については、AEDステッカー及びAEDガイドライン冊子を配布するとともに、事業者名等を市ホームページに公開しました。

♪ 改正食品衛生法に準拠し、すべての食品等事業者に対して、計画的にHACCPに沿った衛生管理の導入を進め、食の安全性の向上を図ります。

食品衛生協会と協力しながら、約7,000軒の営業者に対し、講習会の開催やパンフレットの配布などを実施しました。衛生管理計画の作成、実施状況の記録及び保存など、厚生労働省確認済みの手引書に従った助言指導を行うなど、HACCPに沿った衛生管理の導入を図りました。

また、HACCPの規定が、全国平準化の観点から、「食品衛生法施行規則」に定められたため、「浜松市食品衛生法の施行に関する条例」からHACCPを規定している管理運営基準を削除し、必要な整備を行いました。

♪ 国内外で発生する感染症について、市民に適切な情報提供を行うとともに医療機関と密に連携を取ることで感染症のまん延防止を図ります。

主に季節性インフルエンザ対策を中心とした定例的な感染症関連情報の発信（広報はままつ及び市ホームページへの掲載並びに保育園を中心とした関連施設へのポスター配布）に加えて、市内で感染症患者が発生した場合には、必要に応じて報道関係に情報提供するなどの啓発を継続実施しました。

また、「令和元年度新型インフルエンザ等対策訓練（内閣官房新型インフルエンザ等対策室が政府対策本部として実施する県下一斉の伝達訓練）」において「浜松市災害医療ネットワーク（LINE WORKS）の感染対策グループ」を活用した訓練を実施しました。

さらに、新型コロナウイルス感染症に対応するため、24時間体制の相談センターを立ち上げました。

♪ 浜松医療センターでは、地域がん診療連携拠点病院など地域の中核病院としての機能拡充に向けて手術支援ロボットを導入するとともに、新病院整備に向けた実施設計及び関連工事に取り組みます。

浜松医療センターでは、地域がん診療連携拠点病院としての機能拡充を図るため、患者の負担が少ない低侵襲の手術を可能とする手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、市民への高度医療の提供体制の整備に努めました。

また、令和5年度の新病院の開院に向け、新病院整備の実施設計業務及び関連工事として整備予定地に敷設されている都市下水路の移設工事に取り組みました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。(予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額)

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 一 | 10,910 | 一 | 10,271 |
| 特 | 8 | 特 | 5 |
| 企 | 9,418 | 企 | 9,125 |
| 計 | 20,336 | 計 | 19,401 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|------------------------|------------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 生涯にわたる健康づくり (健康増進課) | 3歳児健診受診率 (%) | 95 | 98.2 | 103% | 95% | B |
| | 生後4か月児全戸訪問実施率 (%) | 100 | 99.3 | 99% | | |
| | 予防接種の接種率 (MR2期) (%) | 95 | 96.2 | 101% | | |
| | 健康寿命の延伸 (歳) | 男73.48 女76.44 | (公表時期未定) | — | | |
| | 健康はままつ21推進協力団体数 (団体) | 187 | 206 | 110% | | |
| | 定期的に歯科検診を受ける人の割合 (%) | 48 | 45.8 | 95% | | |
| | 介護予防事業 実施人数 (人) | 15,600 | 12,689 | 81% | | |
| 妊産婦乳幼児健康診査事業 | 妊婦健康診査受診率 (%) | 100 | 99.1 | 99% | 99% | B |
| | 3歳児健診受診率 (%) | 95 | 98.2 | 103% | | |
| | 妊娠・出産の支援に満足している人の割合 (%) | 90.0%以上 | 92.2 | 102% | | |
| 母子衛生教育事業 | 思春期教室アンケートより、講話等の内容が理解できた生徒の割合 (%) | 85 | 86.3 | 101% | 94% | B |
| | 全妊婦の内、20歳から34歳に妊娠した人の割合 (%) | 80.0%以上 | 71.2 | 89% | | |
| 母子相談事業 | 母子相談件数 (親子すこやか相談・妊産婦個人指導) | 26,930 | 23,601 | 87% | 93% | B |
| | 妊娠・出産の支援に満足している人の割合 (%) | 90.0%以上 | 92.2 | 102% | | |
| 母子訪問指導事業 | 生後4か月児全戸訪問実施率 (%) | 100 | 99.3 | 99% | 99% | B |
| | 妊娠・出産の支援に満足している人の割合 (%) | 90.0%以上 | 92.2 | 102% | | |
| 母子予防接種事業 | 予防接種の接種率 (MR2期) (%) | 95 | 96.2 | 101% | 100% | A |
| 母子医療費等支援事業 | 小児慢性特定疾病医療費助成事業の給付件数 (件) | 10,700 | 11,813 | 110% | 99% | B |
| | 特定不妊治療 (初回) 治療開始時平均年齢 (歳) | 35未満 | 35.0 | 99% | | |
| 難病患者等支援事業 | 来所による難病相談件数 (件) | 1,720 | 2,051 | 119% | 100% | A |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--------------------------------|--------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| がん検診等事業 | 結核・肺がん検診受診率 (%) | 34 | 30.9 | 90% | 90% | B |
| 健康づくり推進事業【21・103・104・105・123】 | イベント等での健康はままつ21周知啓発人数(人) | 9,300 | 12,405 | 133% | 96% | B |
| | 健康はままつ21推進協力団体数(団体) | 187 | 206 | 110% | | |
| | 市民いきいきトレーナー登録数(人) | 130 | 149 | 114% | | |
| | 健康づくり情報更新数(件) | 150 | 124 | 82% | | |
| | はままつ健康増進団体認証数(団体) | 75 | 80 | 106% | | |
| 健康支援事業【102】 | 健康教育事業 参加者数(人) | 17,300 | 17,571 | 101% | 92% | B |
| | 健康相談事業 参加者数(人) | 3,500 | 5,712 | 163% | | |
| | 訪問指導数(人) | 1,550 | 999 | 64% | | |
| | はままつ食de元気応援店での普及啓発者数(人) | 10,000 | 10,816 | 108% | | |
| | はままつ食de元気応援店登録店舗数(店舗) | 258 | 260 | 100% | | |
| 歯科保健事業【108】 | 定期的に歯科検診を受ける人の割合(%) | 48 | 45.8 | 95% | 90% | B |
| | 歯科保健事業受診者数(人) | 36,000 | 31,053 | 86% | | |
| 安全・安心な医療の提供 (病院管理課) | 新病院整備における都市下水路移設工事進捗率(%) | 60.95 | 67 | 109% | 100% | A |
| | 浜松医療センターの経常収支比率(%) | 100 | 119.4 | 119% | | |
| | 浜松市リハビリテーション病院の経常収支比率(%) | 99.6 | 100.5 | 100% | | |
| 浜松市病院事業(医療センター事業費用・資本的支出)【110】 | 浜松医療センターの経常収支比率(%) | 100 | 119.4 | 119% | 100% | A |
| | 新病院整備率(%) | 2.5 | 2.5 | 100% | | |
| 浜松市病院事業(リハビリ病院事業費用・資本的支出) | 経常収支比率(%) | 99.6 | 100.5 | 100% | 100% | A |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
|--------------------------------|--------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|-----|---|
| | | 主要事業 | | | | | |
| 安全・安心な医療の提供 (保健総務課、保健所浜北支所) | 立入検査時に指摘事項のない医療機関の割合(%) | 75 | 73 | 97% | 97% | B | |
| | 医療体制充実事業 | 75 | 73 | 97% | | | |
| | 医療相談納得度(%) | 95 | 94 | 98% | | | |
| 地域医療・地域包括ケアの推進 (健康医療課) | 24時間365日休むことなく実施する救急医療体制の構築(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A | |
| | 応急救護所の屋内設置数(箇所) | 73 | 73 | 100% | | | |
| | 救急医療事業 | 46 | 37 | 80% | 80% | B | |
| | 災害時医療救護対策推進事業 | 医療救護計画の改訂(回) | 1 | 1 | 100% | 96% | B |
| | | 医療救護訓練への参加人数(人) | 400 | 369 | 92% | | |
| | 健康医療推進事業 | 保健医療審議会の開催数(回) | 3 | 1 | 33% | 33% | C |
| 地域医療・地域包括ケアの推進 (佐久間病院) | 経常収支比率100%以上を維持(%) | 100 | 96 | 96% | 98% | B | |
| | 医療機器の整備(台) | 3 | 3 | 100% | | | |
| | 看護師修学資金新規貸与者(人) | 2 | 3 | 150% | | | |
| 佐久間病院事業費用・資本的支出(病院事業) | 経常収支比率100%以上を維持(%) | 100 | 96 | 96% | 98% | B | |
| | 医療機器の整備(台) | 3 | 3 | 100% | | | |
| | 看護師修学資金新規貸与者(人) | 2 | 3 | 150% | | | |
| こころの健康づくりの推進 (精神保健福祉センター) | 特定相談(面談相談)件数(件) | 2,000 | 2,785 | 139% | 100% | A | |
| 精神保健福祉推進事業 | 電話相談・面談相談数(件) | 4,500 | 7,007 | 155% | 95% | B | |
| | 事例検討会の回数(回) | 80 | 72 | 90% | | | |
| 自殺対策推進事業 | ゲートキーパー研修受講者数(人) | 800 | 343 | 42% | 71% | B | |
| | 児童・生徒に対する授業受講者数(人) | 4,000 | 4,163 | 104% | | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--------------------------------|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| ひきこもり対策推進事業 | ひきこもり面談相談件数(一次相談)(件) | 1,000 | 1,776 | 177% | 100% | A |
| | ひきこもりサポートセンターこだま(交流スペース利用者)(人) | 2,000 | 2,247 | 112% | | |
| 地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成(看護専門学校) | 看護師の養成(入学生の確保)(人) | 70 | 64 | 91% | 97% | B |
| | 看護師国家試験の合格率(卒業生)(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 相談、支援の件数(件) | 30 | 78 | 260% | | |
| 学校管理運営事業 | 看護師の養成(入学生の確保)(人) | 70 | 64 | 91% | 95% | B |
| | 看護師国家試験の合格率(卒業生)(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 看護師就業促進事業 | 相談、支援の件数(件) | 30 | 78 | 260% | 100% | A |
| 看護専門学校移転事業 | 旧校舎解体工事 | 完成 | 完了 | 100% | 100% | A |
| 保健予防と食の安全対策の推進(保健環境研究所) | 本事業における年間計画検体数に対する実施検体数の割合(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 食中毒・感染症に関わる微生物の調査研究件数(件) | 2 | 3 | 150% | | |
| | 食品残留農薬等検査に関する調査研究の件数(件) | 2 | 2 | 100% | | |
| | と畜場施設及び食鳥処理場施設において、衛生監視を行う。(回) | 24 | 24 | 100% | | |
| | 食鳥処理場において、高病原性鳥インフルエンザ・スクリーニング検査を行う(検体) | 70 | 92 | 131% | | |
| | と畜場施設及び枝肉について微生物検査を行い、科学的根拠に基づいた監視指導を行う。(回) | 12 | 12 | 100% | | |
| | 大気汚染、悪臭等の依頼検査実施率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 河川、工場等の水質依頼検査実施率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 食中毒、感染症検査事業 | 本事業における年間計画検体数に対する実施検体数の割合(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 食中毒・感染症に関わる微生物の調査研究件数(件) | 2 | 3 | 150% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-----------------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 食品残留農薬等検査事業 | 本事業における年間計画検体数に対する実施検体数の割合(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 食品残留農薬等検査に関する調査研究の件数(件) | 2 | 2 | 100% | | |
| 食肉安全対策推進事業 | 衛生管理達成率(食肉の生産を検査等衛生指標から総合的に評価)(%) | 96 | 97 | 101% | 100% | A |
| 大気汚染、悪臭等測定事業 | 大気汚染、悪臭等の依頼検査実施率(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 大気汚染、悪臭等の調査研究件数(件) | 1 | 2 | 200% | | |
| 河川、工場排水等水質測定事業 | 公共用水域等の水質汚濁物質の依頼検査実施率(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | 水質汚濁事故時・緊急時(計画外)の依頼検査実施率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| | 河川、工場排水等に係る調査研究件数(件) | 2 | 2 | 100% | | |
| 保健予防と食の安全対策の推進 (生活衛生課、保健所浜北支所) | 飲料水並びに衛生関係営業施設における健康被害の発生件数(件) | 0 | 0 | — | 99% | B |
| | 結核対策・予防事業 結核罹患率(人口10万人当たり) | 11 | 10.9 | 99% | | |
| | 飲食に起因する大規模食中毒の発生件数(件) | 0 | 0 | — | | |
| | 対象施設利用者のうち、「肥満」と「やせ」が20%以下の施設の割合(%) | 80 | 85.1 | 106% | | |
| | 滝沢町、鷲沢町に上水道を整備した際の借入金 の当該年の償還実施率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 生活衛生対策推進事業 | 専用水道水水質検査実施適合割合(%) | 100 | 99 | 99% | 99% | B |
| | 衛生検査において違反が判明した施設の改善率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 感染症対策事業 | 麻しん病原体検査実施率(行政検査件数/発生届出件数) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| 食の安全対策推進事業 | HACCP型管理運営基準導入施設数(件) | 10 | 25 | 250% | 100% | A |
| | 違反が判明した施設の改善率(%) | 100 | 100 | 100% | | |
| 栄養指導事業 | 対象施設のBMI等把握施設の割合(%) | 70 | 78.1 | 111% | 100% | A |

文化・生涯学習

| | |
|------------------------|--|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。 |
| 政策の柱 (10年後) | ◆ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。 |
| 基本政策① | 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造 |
| 責任者 | 市民部 文化振興担当部長 中村 公彦 |
| 評価 | 指標達成率の平均 B 93% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|---------------------------------|-------|----|
| 生涯スポーツを楽しむ機会の拡大 （スポーツ振興課） | 88% | B |
| 生涯学習を享受できる機会の充実 （創造都市・文化振興課） | 81% | B |
| 地域の文化遺産の継承 （文化財課） | 88% | B |
| 地域の文化遺産の保全・活用 （文化財課） | 92% | B |
| 芸術・文化の拠点の創造と発信 （創造都市・文化振興課） | 100% | A |
| 創造都市の推進 （創造都市・文化振興課） | 100% | A |
| 美術館の魅力の創出 （美術館） | 100% | A |
| 知の拠点としての図書館機能の拡大 （中央図書館） | 100% | A |

主な取組(成果・課題など)

♪ 市民が主体となった創造的活動の活性化を図るため、浜松アーツ&クリエイションによる伴走支援を含む新たな助成制度を開始するとともに、2020文化プログラム推進事業のプレイベントとなる「(仮称)サウンドデザインファクトリーin浜松」を開催します。

市民が主体となった創造的活動の活性化を図るため、浜松アーツ&クリエイションによる伴走支援、浜松市創造都市推進事業補助金制度を開始し、市民活動団体等へのヒアリング、セミナーの開催、補助金採択事業17件への伴走支援を行い、持続可能な創造的活動へ向けた取組を推進しました。

また、音の多様性、創造性を体感し、創造性への気づきを得るため、2020文化プログラム推進事業のプレイベントとなる「サウンドデザインファクトリーin浜松」を開催し、1,209人が来場し、地域のクリエイターの発掘・育成、多様な分野で創造性を発揮するクリエイター、職人、アーティスト等の交流につなげました。

♪ 世界的なピアニストを育成するとともに、浜松市民がピアノの可能性を、楽しみ、感じ、学ぶ機会を提供するため、「新たなピアノアカデミー事業」を実施し、「浜松国際ピアノコンクール」とあわせて「音楽の都・浜松」を発信します。

世界の優秀な若いピアニストの発掘、育成をするとともに、市民への質の高い音楽を提供しながら「音楽の都・浜松」を発信するため、「浜松国際ピアノコンクール事業」を実施しました。コンクール本番翌年の令和元年度は、第10回コンクール優勝者ツアーを国内外で20公演以上実施し、「音楽の都・浜松」を発信することができました。なお、「浜松国際ピアノアカデミー2020」については、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止となりました。令和2年度は、令和元年度に予定していた事業内容をもとに実施できるよう調整を図ります。

♪ 次代の音楽文化を担う人材育成や市民の音楽活動の場を提供するため、(仮称)市民音楽ホールの令和2年度中の供用開始に向けた整備を進めます。

次代の音楽文化を担う人材育成や市民の音楽活動の場を提供するため、浜松市市民音楽ホールの令和3年6月開館、同年7月供用開始に向けた整備を進めました。

♪ 浜松科学館を令和元年7月にリニューアルオープンし、科学教育の拠点として、事業を展開していきます。

浜松科学館は、「浜松・サイエンス・ベースキャンプ～自ら考え、対話し、行動する。【科学×挑戦】の活動基地」をコンセプトに、世界に羽ばたく未来の人財のための科学教育の拠点として、リニューアルオープンしました。

科学に親しみ、楽しく学べるだけでなく、科学への探求心を深める体験型の展示にするとともに、双方向のコミュニケーションを重視したサイエンスショーを新たな館内プログラムとして導入しました。子供から大人まで、いつでも気軽に最新の科学の知見や成果に触れる中で、科学の進歩と素晴らしさを、より身近に感じていただくことができました。

♪ 遠州灘海浜公園への県立野球場の実現に向けて、静岡県と継続して協議を進めます。

静岡県と連携して市内商業施設等におけるパネル展示を行うとともに、市民やスポーツ関係者の皆様から意見聴取(まちかどトーク)を実施しました。

これを受け、静岡県では、野球場の規模や施設配置に関する比較検討プランを発表しました。

♪ 四ツ池公園運動施設の基本構想策定に向けた取組を進めます。

陸上競技場と野球場の利用状況や大会開催状況を整理するとともに、他都市のスポーツ施設の事例を調査し、将来の方向性について検討しました。

♪ ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る事前キャンプ等、受け入れ環境の整備を行います。

ラグビー日本代表とスコットランド代表の公認チームキャンプ地として事前合宿受け入れに向け、練習会場の環境を整備し、特に練習会場の警備体制については、競技団体から練習に集中することができたなど、高い評価を得ました。

柔道や車いすマラソンのブラジル代表選手団の強化合宿の受け入れや事前キャンプ地におけるブラジルオリンピック委員会・パラリンピック委員会との協定書締結など、ブラジルホストタウンとして交流の推進に努めました。

♪ ビーチ・マリンスポーツの聖地を目指した環境整備や大会誘致活動等に取り組みます。

「ビーチ・マリンスポーツ事業化計画」に定めた大会誘致ゾーン「江之島地区」においてビーチコートを整備するとともに、国際大会や全国大会レベルの大型スポーツイベントが開催可能な環境整備に向けて調査設計を進めました。

♪ 二俣城跡・鳥羽山城跡保存活用計画、浜松城跡の発掘調査などを通じ、浜松市の特色ある歴史文化資産を広く公開し、市民とともに保護活用を図っていきます。

国史跡となった二俣城跡及び鳥羽山城跡については、天竜二俣地域を代表する文化資産としての保存活用のあり方を示すため保存活用計画を策定し、国（文化庁）に認定されました。今後も具体的な整備を進めていく中で、引き続き公開活用を図ります。

また、浜松城跡では、旧元城小学校跡地（二の丸跡ほか）での発掘調査を開始し、浜松城に係る遺構の残存状況を確認しました。調査成果についても強い関心が寄せられていることから、適時を捉えて広く周知していきます。

♪ これまでに認定した浜松地域遺産を広く紹介するとともに、市民協働で更なる地域遺産の掘起しを続け、文化財を地域の新たな創造活動につなげていきます。

「浜松地域遺産認定制度」に基づき多くの推薦が寄せられ、令和元年度は66件を認定しました。平成28年度の制度開始以降、認定数の累計は308件を数えることとなり、認定文化財を対象としたフォトコンテストが開催される等、地域の創造活動につながりました。今後も郷土の宝として地域に親しまれ、活用促進が図られるよう、さらなる周知を進めていきます。

♪ 電子図書による多言語資料や日本語学習資料の充実を図り、多文化共生社会を推進する環境づくりを進めます。

平成30年2月から令和元年12月までの試行を経て、令和2年1月6日から「はままつ電子図書」の本運用を開始しました。試行期間中には3,421人に利用いただき、アンケート調査などから図書館による電子図書の提供が外国人市民に大変好意的に受け止められていることが分かりました。本運用開始後は、多文化共生に関する資料を中心として、日本語を含む8言語、856点のコンテンツを提供し、年度末までの約3か月間で707回の貸出し、3,601回の閲覧がありました。

♪ 美術館では、写実表現で世界的に活躍する斎藤雅緒氏や石黒賢一郎氏のほか、秋野不矩氏など、郷土ゆかりの作家を核とした調査・研究に取り組み、その魅力を発信します。

美術館では、地元浜松市ゆかりの斎藤雅緒氏と石黒賢一郎氏による「スーパーリアルワールド展」を開催しました。エアブラシ等を用いた詳細な表現作品で産業界を支える斎藤氏の作品や、徹底した細密表現を追求し国内外から高い評価を得ている石黒氏の作品を紹介し、全国から2万人弱の来館者がありました。

また、秋野不矩美術館では大正・昭和期の画壇を牽引した日本画家、堂本印象の特別展「堂本印象展」を開催しました。本展では、秋野不矩氏同様20世紀の日本画壇を常にリードし続けた画家・堂本印象の芸術の歩みを紹介できました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。(予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額)

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|-------|--------------------------|-------|
| 一 | 8,667 | 一 | 8,423 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 8,667 | 計 | 8,423 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 生涯スポーツを楽しむ機会の 拡大 (スポーツ振興課) | 「するスポーツ」推進 のためのスポーツ施設 利用者数(生涯スポーツ 施設の利用者数)(千人) | 5,600 | 5,417 | 96% | 88% | B |
| | 「みるスポーツ」推進 のためのスポーツイベ ント誘致数(件) | 10 | 20 | 200% | | |
| | 「ささえるスポーツ」 推進のためのスポーツ ボランティアバンク登 録者数(人) | 300 | 209 | 69% | | |
| スポーツ普及・活性化事業 【117・118・119】 | スポーツボランティア バンク登録者数(人) | 300 | 209 | 69% | 88% | B |
| | 地域スポーツ指導者登 録者数(人) | 355 | 294 | 82% | | |
| | 生涯スポーツ施設の利 用者数(千人) | 5,600 | 5,417 | 96% | | |
| | 高校生以下の全国大会 出場者数(人) | 870 | 812 | 93% | | |
| | パラスポーツ体験会等 の実施日(日) | 3 | 4 | 133% | | |
| | eスポーツの普及 | 情報収集 | 情報収集 | 100% | | |
| ブラジルホストタウン交流 事業【201】 | ブラジル選手団との交 流人数(人) | 1,700 | 1,664 | 97% | 97% | B |
| 大型スポーツイベント等誘 致事業【41・197・199・ 200】 | 事前合宿、スポーツイ ベント等誘致数(件) | 10 | 20 | 200% | 100% | A |
| | 欧米豪からの外国人宿 泊客数(千人) | 36 | R2. 10頃確定 | — | | |
| | ビーチ・マリンスポー ツの東海大会以上の大 会開催数(件) | 7 | 18 | 257% | | |
| ビーチ・マリンスポーツ推 進事業【196】 | ビーチバレー、ビーチ テニス、ビーチサッ カー、ビーチラグビー 等のビーチスポーツ コートの整備 | サブ コート 完成 | サブ コート 完成 | 100% | 100% | A |
| スポーツ発信交流事業 | 事前合宿、スポーツイ ベント等誘致数(件) | 10 | 20 | 200% | 100% | A |
| スポーツ施設運営事業 【116・202・203】 | 生涯スポーツ施設の利 用者数(千人) | 5,600 | 5,417 | 96% | 98% | B |
| | 新野球場を含めた遠州 灘海浜公園の施設整備 等に向けた進捗状況 | 県協議 (基本計 画) | 県協議 (基本計 画) | 100% | | |
| | 四ツ池公園スポーツ施 設再整備の検討 | 委員会協議 | 委員会協議 | 100% | | |
| 生涯学習を享受できる機会の 充実 (創造都市・文化振興課) | 学習成果活用事業にお ける講座数(講座) | 100 | 81 | 81% | 81% | B |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|------------------------------|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 生涯学習施設運営事業 【183】 | 既存展示物の更新数 (件) | 80 | 107 | 133% | 100% | A |
| | 浜松科学館の来館者数 (人) | 187,500 | 248,155 | 132% | | |
| | 生涯学習施設や図書館 などにより、知的好奇心が 満たされていると思う人の 割合(%) | 33 | 33.1 | 100% | | |
| 生涯学習機会提供事業 【25・76・79・127】 | 学習成果活用事業にお ける講座数(講座) | 100 | 81 | 81% | 92% | B |
| | ITキッズプロジェクトの 対象拡充(対象) | 小3～中3 | 小3～中3 | 100% | | |
| | 全国レベルのコンテスト 入賞者数(H24～累計) | 15 | 15 | 100% | | |
| | アクティブ・シニア講 座受講者数(人) | 12,000 | 10,584 | 88% | | |
| 地域の文化遺産の継承 (文化財課) | 年間所管文化財施設の 全入館者数(人) | 19,000 | 16,680 | 87% | 88% | B |
| | 文化財ボランティア登録 者数(H23～累計)(人) | 130 | 117 | 90% | | |
| 文化財調査顕彰事業 | 浜松地域遺産推薦受理件 数(H28～累計)(件) | 260 | 310 | 119% | 100% | A |
| 文化財保護継承事業 【189】 | 浜松地域遺産推薦受理件 数(H28～累計)(件) | 260 | 310 | 119% | 100% | A |
| 文化財施設公開事業 | 所管文化財施設的全入 館者数(人/年) | 19,000 | 16,680 | 87% | 87% | B |
| 文化財活用地域連携事業 【188・190】 | 文化財ボランティア登録 者数(H23～累計)(人) | 130 | 117 | 90% | 98% | B |
| | 「全国地芝居公演会」 開催に向けた工程 | 計画策定 | 開催調整 | 100% | | |
| | 無形民俗文化財保護団 体連絡会が芸能、祭礼 等を伝承する次世代の 延べ人数(人) | 50 | 90 | 180% | | |
| | 国史跡指定に向けた作業 | 計画策定 | 策定 | 100% | | |
| | 各区協議会、まちづく り協議会等地域団体と の延べ会合数(件) | 5 | 6 | 120% | | |
| 埋蔵文化財調査事業 【169】 | 埋蔵文化財照会件数 (件/年) | 5,500 | 6,084 | 110% | 100% | A |
| | 地域遺産センター入館者 数(H28～累計)(人) | 115,000 | 119,029 | 103% | | |
| | 浜松城跡(元城小跡 地)の発掘調査の進捗 率(%) | 25 | 25 | 100% | | |
| 地域の文化遺産の保全・活用 (文化財課) | 博物館の年間観覧者数 (人) | 71,000 | 59,788 | 84% | 92% | B |
| | 分館における展覧会開 催数(回) | 12 | 14 | 116% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--------------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 博物館運営事業 | 施設管理状態に対する満足度 (%) | 90 | 90 | 100% | 100% | A |
| 遺跡公園運営事業 | 公園整備件数 (件) | 6 | 6 | 100% | 100% | A |
| 博物館展示会開催事業 | 特別展及びテーマ展における来館者数 (人) | 43,000 | 32,540 | 75% | 91% | B |
| | 特別展及びテーマ展の平均満足度 (%) | 90 | 90.4 | 100% | | |
| | 市民協働産学連携による展示会の開催 (件) | 3 | 4 | 133% | | |
| 学習会開催等連携事業 | 新たな体験メニューの開発 (件) | 3 | 3 | 100% | 78% | B |
| | 博物館ボランティアの年間参加者数 (人) | 1,000 | 633 | 63% | | |
| | 学校への教材利用件数 (点) | 1,600 | 1,155 | 72% | | |
| 芸術・文化の拠点の創造と発信 (創造都市・文化振興課) | 音楽を始めとする市の文化事業に対する満足度 | 38 | 41.5 | 109% | 100% | A |
| 音楽文化発信・交流事業 【178】 | 音楽を始めとする市の文化事業に対する満足度 (%) | 38 | 41.5 | 109% | 95% | B |
| | 芸術文化情報ポータルサイト「文化振興財団」ページビュー数 | 500,300 | 504,783 | 100% | | |
| | 国際的音楽イベント等の開催日数 (日) | 71 | 88 | 123% | | |
| | 音楽イベントに参加する団体等の数 (団体) | 1,510 | 1,260 | 83% | | |
| 芸術文化人材育成事業 【178】 | こども音楽鑑賞教室一般入場者数 (人) | 720 | 679 | 94% | 92% | B |
| | 国際的音楽イベント等の開催日数 (日) | 71 | 88 | 123% | | |
| | 音楽イベントに参加する団体等の数 (団体) | 1,510 | 1,260 | 83% | | |
| 市民音楽文化振興事業 【178】 | 音楽を始めとする市の文化事業に対する満足度 (%) | 38 | 41.5 | 109% | 94% | B |
| | 国際的音楽イベント等の開催日数 (日) | 71 | 88 | 123% | | |
| | 音楽イベントに参加する団体等の数 (団体) | 1,510 | 1,260 | 83% | | |
| 文化施設管理事業【174・177】 | アクトシティ浜松施設稼働率 (%) | 78 | 67.8 | 86% | 96% | B |
| | 楽器博物館施設入館者数(人) | 85,600 | 82,617 | 96% | | |
| | 鴨江アートセンター利用者数 (人) | 23,100 | 29,302 | 126% | | |
| | アクトシティ浜松改修計画策定及び改修整備 (仮称) 市民音楽ホールの整備 整備率 (%) | 計画策定 | 計画策定 | 100% | | |
| | | 5 | 5 | 100% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-----------------------------|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 文化推進運営経費【179】 | 新たな文化振興ビジョンの策定 | ビジョン策定 | ビジョン策定 | 100% | 100% | A |
| 創造都市の推進 (創造都市・文化振興課) | 音楽を始めとする市の文化事業に対する満足度(%) | 38 | 41.5 | 109% | 100% | A |
| 創造都市推進事業【27・40・175・176】 | 市民文化創造拠点施設整備 調査検討 | 発掘調査 | 発掘調査 | 100% | 80% | B |
| | 音楽を始めとする市の文化事業に対する満足度(%) | 38 | 41.5 | 109% | | |
| | 2020文化プログラムイベント参加者数(人) | 5,000 | 2,265 | 45% | | |
| | 浜松版アーツカウンシルの推進と新たな伴走型助成件数(件) | 22 | 17 | 77% | | |
| 美術館の魅力の創出 (美術館) | 展覧会入場者の満足度(来場者アンケート) | 70 | 95 | 135% | 100% | A |
| | 施設の満足度(来場者アンケート) | 50 | 83 | 166% | | |
| 美術館運営事業 | 空調設備整備工事の実施 | 温湿度管理 | 達成 | 100% | 100% | A |
| 美術館展覧会開催事業【184】 | 展覧会観覧者数(人) | 83,000 | 174,622 | 210% | 85% | B |
| | 市展応募作品数(点) | 350 | 273 | 78% | | |
| | 収蔵品展観覧者数(人) | 2,000 | 1,590 | 79% | | |
| 秋野不矩美術館運営事業 | 市民ギャラリー利用日数 | 30 | 43 | 143% | 100% | A |
| 秋野不矩美術館展覧会開催事業【184】 | 収蔵品展観覧者数(人) | 7,000 | 6,886 | 98% | 93% | B |
| | 特別展観覧者数(人) | 6,000 | 5,358 | 89% | | |
| 知の拠点としての図書館機能の拡大 (中央図書館) | 貸出冊数(万冊) | 420 | 424 | 100% | 100% | A |
| | 貸出利用者数(万人) | 116 | 116 | 100% | | |
| 図書館運営事業 | 貸出冊数(万冊) | 420 | 424 | 100% | 100% | A |
| | 貸出利用者数(万人) | 116 | 116 | 100% | | |
| | 生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合(%) | 33 | 33.1 | 100% | | |

地方自治・都市経営

| | |
|------------------------|--|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。 |
| 政策の柱 (10年後) | ◆ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 ◆ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。 |
| 基本政策① | 市民と共に未来をつかむ都市経営 |
| 責任者 | 企画調整部長 内藤 伸二郎 |
| 評価 | 指標達成率の平均 B 87% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|---|-------|----|
| 「浜松市未来ビジョン」の実現に向けた総合計画の推進（企画課） | 91% | B |
| 基礎自治体としての自立（企画課） | 91% | B |
| 戦略拠点の連携強化（東京事務所） | 97% | B |
| 市民主体のまちづくりを支える広聴広報の好循環（広聴広報課） | 83% | B |
| 世界とのつながりと多様性を活かした都市の活性化（国際課） | 61% | B |
| 行政サービスがだれでもどこでもいつでも受けられる電子自治体の推進（情報政策課） | 100% | A |

主な取組(成果・課題など)

♪ 戦略計画2019を核としたPDCAサイクルにより、浜松市総合計画及び浜松市“やらまいか”総合戦略を推進します。

浜松市総合計画に掲げる都市の将来像及び1ダースの未来(理想の姿)の実現に向け、具体的な事業を示す実施計画である戦略計画を核とし、PDCAサイクルにより、浜松市総合計画を推進しました。

令和元年度では、5月に「浜松市戦略計画2019」及び「政策・事業シート2019」を策定し、「浜松市戦略計画2018評価レポート」等での前年度評価の実施、新たな政策・施策・事業などの方向性を議論するサマーレビュー、副市長レビューを経て、令和2年度の重点的な取組を示す「浜松市戦略計画2020の基本方針」をまとめました。

また、総合戦略に関して、「浜松市“やらまいか”総合戦略推進会議」（有識者会議）及び「浜松市地方創生推進本部会議」（庁内会議）により、第1期総合戦略の進捗管理、検証を行うとともに、国の基本方針を踏まえ、令和2年度から6年度までを計画期間とする第2期総合戦略を策定しました。

♪ 行政区の再編について、住民投票の結果を踏まえ、市議会との協議を進めます。

平成31年4月7日に実施した区の再編に関する住民投票の結果「令和3年1月1日までに3区案で再編を行うことについては、反対が多数」、「令和3年1月1日までに再編を行うことへの賛否は拮抗」との認識を市議会と共有しました。

この結果を踏まえ、行政区再編の議論を進めるため、現在の区の合区にこだわらず、区域の見直しも含め区割りを検討し、新たな再編案として西遠と北遠の2区案を令和元年12月に提案しました。

令和2年2月の行財政改革・大都市制度調査特別委員会において了承された「行政区再編協議の行程」に基づき、遅くとも令和2年12月末までに再編の有無を決定することとなりました。

♪ SDGsの認知度向上や理念等の普及啓発のため、シンポジウムを開催します。また、本市における課題解決に向けた新たな官民連携プラットフォームを設置します。

SDGs達成に向けた取組を推進するため、「浜松市SDGs推進プラットフォーム」を設立、「SDGs未来都市・浜松 パートナーシップシンポジウム」を開催し、行政、企業、教育・研究機関、市民団体等が連携・協働して取り組む重要性について理解を深めました。また、広報はままつにおける特集やコラムの掲載、JR浜松駅北口広場（キタラ）へのPR看板の設置など、情報発信及び周知を行いました。

♪ 出入国管理及び難民認定法の改正も踏まえ、多文化共生都市ビジョンに基づく取組を進めるとともに、多文化共生都市の国際連携やSDGsの推進をテーマとした国際会議を開催します。

外国人市民の定住化、多国籍化への対応として、浜松市多文化共生都市ビジョンに基づき、多文化共生センターと外国人学習支援センターの運営を中心とした外国人市民の生活支援及び学習支援に取組むとともに、多文化共生センターに外国人総合相談ワンストップセンターを設置し、タブレット端末を活用した多言語通訳支援の拡充を図ったほか、外国人の子供の不就学をなくす取組を推進しました。

また、世界最大規模の自治体の国際的組織である都市・自治体連合（UCLG）へ継続参加するとともに、米国・ニューヨーク市で開催された国連ハイレベル政治フォーラムに日本の自治体として唯一参加し、多文化共生を「SDGs未来都市・浜松」の特徴的な取組の一つとして世界に情報発信しました。このほか、「多文化共生」「自治体外交」「SDGs」をテーマとする国際会議を浜松市で開催し、国境を越えた都市間連携の構築を図りました。

♪ 民間の知恵と技術を活用することによる市民サービスの向上、行政の透明化、さらに新たなサービスやビジネスの創出を図るため、行政が蓄積した情報を誰もが自由に利用できるオープンデータとして公開します。

令和元年度までに、浜松市の保有する261データをオープンデータとして、「浜松市公式ウェブサイト」及び県が管理する「ふじのくにオープンデータカタログ」に公開しました。引き続き積極的に公開を進めていくとともに、既に掲載しているデータについても利用者が二次利用しやすいものとするため、データ精度の向上を図ります。

また、オープンガバメント推進協議会に参加し、参加自治体や企業、大学等と連携し、オープンデータの利活用推進に取り組むとともに、アプリを活用したバリアフリー情報収集イベントを本市で初めて実施するなど、地域のオープンデータを作成し地域情報を発信しました。

♪ 市民サービスの向上や業務の効率化を図るため、AI(人工知能)やRPA(業務プロセスの自動化)等の先進技術の導入・活用を積極的に進めます。

タブレット端末を利用した翻訳サービスや庁内のWeb会議、定型的な作業へのRPA活用など、19業務において先進技術を導入しました。

また、組織横断的なプロジェクトチームである「AI・RPA等先進技術導入推進プロジェクトチーム」を設置し、今までの行政の考え方にとらわれない柔軟な発想や斬新なアイデアを取り込むため、プロジェクトマネージャーに民間人材を活用しました。プロジェクトチームでは、RPAなどのツール活用を前提とした業務改善への取組支援や職員向けセミナーの開催、行政手続きのオンライン化検討のための全庁調査を行いました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。(予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額)

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 一 | 2,302 | 一 | 2,209 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 2,302 | 計 | 2,209 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 「浜松市未来ビジョン」の実現 に向けた総合計画の推進 (企画課) | 市民アンケート「市政 に関する現状認識につ いて」の満足度「5」、 「4」の割合(%) | 46 | 39 | 83% | 91% | B |
| | 行政区再編の決定(進 捗状況) | — | — | — | | |
| | 「浜松市人口ビジョ ン」、及び「浜松市総 合戦略」の策定 | 策定 | 策定 | 100% | | |
| 浜松市総合計画推進事業 【219】 | 市民アンケート「市政 に関する現状認識につ いて」の満足度「5」、 「4」の割合(%) | 46 | 39 | 83% | 67% | B |
| | 市区町村別認知度ラン キング(全国順位) | 15 | 28 | 53% | | |
| | 市区町村別認知度ラン キング(県内順位) | 1 | 3 | 33% | | |
| | SDGs官民連携プラット フォーム参加団体数 (団体) | 50 | 183 | 366% | | |
| 区制検討事業【204】 | 行政区再編の決定(進 捗状況) | — | — | — | — | — |
| 基礎自治体としての自立 (企画課) | 権限移譲件数(H27～累 計)(件) | 48 | 47 | 97% | 91% | B |
| | 三遠南信地域連携ビ ジョン重点プロジェクト の実施件数(件) | 28 | 24 | 85% | | |
| 大都市制度調査研究事業 【218】 | 特別自治市の法制化に 向けた国への働きかけ 回数(H27～累計) (回) | 13 | 14 | 107% | 98% | B |
| | 権限移譲件数累計(H27 ～累計)(件) | 48 | 47 | 97% | | |
| 広域行政推進事業【216・ 217】 | 三遠南信地域連携ビ ジョン重点プロジェクト の実施件数(件) | 28 | 24 | 85% | 88% | B |
| | 遠州広域行政推進会議 での調査・研究件数累 計(H27～累計)(件) | 9 | 8 | 88% | | |
| | 三遠南信地域における 新規連携施策数(H27～ 累計)(件) | 24 | 22 | 91% | | |
| 戦略拠点の連携強化 (東京事務所) | 中央省庁等情報取得件 数(件) | 1,000 | 975 | 97% | 97% | B |
| 首都圏情報収集発信事業 | 首都圏におけるサポー ターズクラブ会員数 | 1,400 | 1,396 | 99% | 99% | B |
| 東京事務所運営経費 | 中央省庁等情報取得件 数(件) | 1,000 | 975 | 97% | 97% | B |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
|---|--|--|---------------------|-----------|-----------------|------|-----|
| 主要事業 | | | | | | | |
| 市民主体のまちづくりを支える 広聴広報の好循環 (広聴広報課) | 必要な行政情報が提供 されている(満足度) (%) | 32 | 26.8 | 83% | 83% | B | |
| | 市政広報事業【214】 | 32 | 26.8 | 83% | | | |
| | オープンデータ提供件 数(件) | 260 | 261 | 100% | 91% | B | |
| | 広聴事業 | 広聴集会の参加者アン ケートによる満足度 (%) | 95 | 94.9 | | | 99% |
| | | 市民コールセンターの 一次対応率(%) | 100 | 99.7 | | | 99% |
| 世界とのつながりと多様性を 活かした都市の活性化 (国際課) | 外国人市民との相互理 解や交流を深める共生 社会づくりの市民満足 度(%) | 15 | 9.4 | 62% | 61% | B | |
| | 世界の人々との活発な 市民交流(%) | 18 | 11.1 | 61% | | | |
| | 多文化共生推進事業【83・ 180・182】 | 外国人の子どもの不就 学者数(人) | 0 | 4 | 0% | 31% | C |
| | | 外国人市民との相互理 解や交流を深める共生 社会づくりの市民満足 度(%) | 15 | 9.4 | 62% | | |
| | 国際交流連携推進事業 【181】 | 国際会議参加回数 (回) | 2 | 2 | 100% | 100% | A |
| 行政サービスがだれでもどこ でもいつでも受けられる電子 自治体の推進 (情報政策課) | 電子申請可能件数 (件) | 21,000 | 25,104 | 119% | 100% | A | |
| | ICT戦略推進事業【213】 | ICT調達支援(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | | AI・RPA等先進技術導入 件数(件) | 10 | 19 | 190% | | |

| | | |
|--------------|---------------------------|------------------------|
| 基本政策② | だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現 | |
| 責任者 | 市民部長 奥家 章夫 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 88% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|---|-------|----|
| 市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進 （市民協働・地域政策課） | — | — |
| “まち”と“むら”をつないで実現する中山間地域の 振興（市民協働・地域政策課） | 92% | B |
| 自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実 現（ユニバーサル社会・男女共同参画推進課） | 99% | B |
| 一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進 （ユニバーサル社会・男女共同参画推進課） | 75% | B |

主な取組(成果・課題など)

♪ 住民に身近な行政組織である協働センターにおいて、エリアマネージャーによる総括のもと、コミュニティ担当職員による地域状況に応じたコミュニティ支援を行います。

地域コミュニティ活動の活性化に向け、コミュニティ担当職員が区役所のエリアマネージャーと連携し、自治会をはじめとした地域組織への積極的な関与を通じて、地域情報の把握に努めるとともに、地域づくりに対して地域力向上事業を活用した活動支援と情報提供などを行いました。

また、地域住民がコミュニティを意識し、今後のあり方を考えるツールとして「みんなでコミ・スタ（「みんなで集まって地域づくりを楽しく学ぶコミュニティ・スタディ・ゲーム」の略）」を開発し、研修やワークショップに活用しました。

さらに、コミュニティ担当職員の資質向上を目的として、先進都市への職員の研修派遣、活動ハンドブックの更新等を行いました。

♪ 地域活動に市民が参加する頻度を高め新たな担い手の掘り起こしを図るため、講座や交流会を開催し、地域活動に一步踏み出すきっかけを提供します。

市民協働の新たな担い手の掘り起こしに向け、将来のまちづくりの担い手となる中高生を対象とした「市民活動体験講座」や地域活動の担い手を掘り起こす「はじめの一步！地域デビュー講座&交流会」を実施しました。併せて、市民協働を推進するための拠点施設である市民協働センターにおいて、中高生を対象とした講座「ボランティアクエスト2019」や定年後のシニア層を対象とした講座「ボラ活のすすめ」を開催し、延べ137人の参加者に対して、地域活動に一步踏み出すきっかけを提供しました。

♪ 地域住民への活動の場の提供と活性化のため、身近な公共施設の管理運営を地域のコミュニティ組織に委ねます。

地域施設を拠点としたコミュニティ活動の活性化や地域事情に応じた課題解決の仕組みの構築に向け管理運営を、平成29年度に龍山森林文化会館を地域密着型のNPO法人ほっと龍山に、平成30年度に和地協働センターを一般社団法人和地地区コミュニティ協議会に、そして令和元年度に春野文化センターをNPO法人春野のえがおにモデル事業として委ねました。なお、3年目を迎えた龍山森林文化会館については効果検証を行いました。

また、三ヶ日協働センター及び水窪文化会館については、令和2年度から管理運営を行いたいとの地元要望を受け、地域との調整を進めました。

♪ 浜松市市民協働センター内に設置した「学生ボランティアセンター」において、学生ボランティアサークル間の連携強化や、ボランティアに関する情報発信などを行い、学生による社会貢献活動の一層の活発化を図ります。

学生による社会貢献活動の活性化に向け「浜松学生ボランティアセンター（通称：フレッシュ広場）」において、学生ボランティアネットワーク事業を実施しました。

ボランティア活動を行う学生団体のネットワーク組織「学生FRESH」に事業を委託して、情報交換や情報発信のための会議やフォーラムを開催し、延べ145人の参加があったほか、学生同士や学生と社会、学生と企業を繋ぐ中間支援活動では20件の相談に対応しました。このような取組を通じて、学生による社会貢献活動の活発化につなげることができました。

♪ 中山間地域の課題解決と移住希望者の仕事づくりのため、完全閉鎖型陸上養殖の事業化、ドローン技術の活用など中山間地域あらたな仕事づくり研究事業やコミュニティビジネス起業貸付金事業を行います。

中山間地域の課題解決と新たな仕事づくりに向け、アワビ陸上養殖事業では、地域と市との協働による実証実験に取り組みました。大型ろ過水槽の導入など養殖設備を拡大するとともに、ICTを活用した実証実験を開始するなど、事業化に向けた取組を行いました。

また、市内ドローンスクールを開講し、ドローン技術や知識の市内展開を図るなど、中山間地域振興にドローン技術を活用する環境整備に取り組みました。

コミュニティビジネス起業貸付金事業では、移住を念頭に置いた3件の相談を受け、伴走型の支援を行いました。

♪ 「やま」と「まち」のコラボによる山の魅力体感イベント「ザ・山フェス」や中山間地域の生活に密着した生業に関わる優れた技術を体験する山の匠体験講座事業などにより、都市部と中山間地域における住民同士の交流機会を創出するとともに、特産品プロモーション事業などで新たなモノの流れを創出し、市民の中山間地域への関心を高めます。

都市部と中山間地域との交流の促進に向け、「ザ・山フェス」や「山の匠体験講座」、「まちむらりレーション市民交流会議」など、子供や大人が中山間地域を訪れ交流する事業を延べ30回実施することで、市内間交流の拡大につなげました。

また、「特産品プロモーション事業」では、「ザ・山フェス」と連携し、中山間地域の特産品を紹介することにより、都市部市民の中山間地域への関心や意識を高めました。

♪ 出張移住相談会の定期開催など首都圏でのプロモーション活動を実施するとともに、はじめようハマライフ助成事業の実施、移住コーディネーターや他団体と連携した支援などにより、浜松への移住・定住を促進します。

浜松市全域への移住・定住の促進に向け、首都圏においてふるさと回帰支援センターや浜松商工会議所と連携して出張相談会「浜松DAY」を定期開催するなど、全18回の相談会を実施しました。

また、はじめようハマライフ助成事業を実施し、補助金を2件交付することで、4人の移住・定住・就業につなげることができました。

このほか、移住コーディネーターや他団体と連携することで、移住希望者と移住希望地域をつなぐ、丁寧でニーズに合った支援を行いました。

このような取組により、令和元年度の相談件数は840件にのぼり、合計47人（うち中山間地域へは22人）の移住につなげることができました。

♪ 人口減少、高齢化が進む中山間地域において、地域力の維持・向上を図るため、浜松山里いきいき応援隊を配置し、地域に居住している市民の暮らしを支えます。

中山間地域における地域力の維持・向上に向け、「浜松山里いきいき応援隊」を前年に引き続き配置しました。令和元年度は最大11人の隊員が、地域行事や農作業など地域活動に参加するとともに、鳥獣害対策や耕作放棄地の解消などの地域課題の解決に繋げることができました。任期満了まで務めた隊員は、全員が引き続き市内に居住し、地域で活躍しました。

♪ 誰もが容易に情報へのアクセスやコミュニケーションを図ることができるよう、窓口等でICTを活用したコミュニケーション支援を行います。

外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、コミュニケーション支援のツールとして音声文字化アプリケーションを導入したタブレット端末7台を各区役所に配置した結果、28件の利用実績を収め、誰もが容易に情報へのアクセスやコミュニケーションを図ることができる環境づくりにつなげることができました。

♪ ブラジルパラリンピック選手団事前合宿が行われる公共施設を対象にISO(国際規格)に合わせたピクトグラムの改修・設置をするとともに、心のUDを推進するための人材育成や周知・啓発事業を進めます。

ブラジルパラリンピック選手団が事前合宿を行う公共10施設のピクトグラムをISO(国際規格)に合わせ70箇所の改修・設置を行いました。

また、小・中学校へのUD学習支援事業を継続実施し、受講者数9,105名の実績を収めるとともに、ユニバーサルデザインの普及活動のための市民リーダーの養成講座を開催し、32名の方がユニバーサルマナー検定3級を取得しました。今後、UD学習支援事業等の市民講師として登録に期待するとともに、心のユニバーサルデザインを推進することができました。

♪ 地域におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進を図るため、経営者・管理職を対象とした意識改革及び業務改善につながるセミナーを開催するほか、女性の継続就労・キャリアアップを支援するための事業を行います。

ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進を図るため、経営者や管理職等を対象とした「ミライの働き方2019～企業価値を高める本当の働き方改革～」を開催しました。講演会1回、研修会3回、事例発表会1回を実施し、延べ137人が参加しました。

また、女性の就労継続及びキャリアアップを図るため、就労中の20～30代の女性を対象とした「浜松女子Happy Work Labo」を開催しました。講座を5回実施し、延べ76人が参加しました。これらの事業の実績により、事業者に対するワーク・ライフ・バランスの意識向上を図るとともに、女性活躍の促進につなげることができました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。(予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額)

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|-----|--------------------------|-----|
| 一 | 569 | 一 | 530 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 569 | 計 | 530 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--|--------------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進 (市民協働・地域政策課) | 所轄NPO法人の総事業費 (億円) | 36.3 | R2. 8項確定 | — | — | — |
| 市民協働推進事業【185】 | 中間支援組織数(組織) | 3 | 3 | 100% | 97% | B |
| | NPOの信頼性や専門性を高める講座の参加者数 (人) | 320 | 304 | 95% | | |
| | 所轄NPO法人の総事業費 (億円) | 36.3 | R2. 8項確定 | — | | |
| | 市と多様な主体との協働件数(件) | 160 | R2. 8項確定 | — | | |
| はままつ暮らし促進事業 | 浜松移住相談センターの延べ相談件数(中山間地域への移住相談を含む)(件) | 400 | 840 | 210% | 100% | A |
| 自治会等コミュニティ振興事業【186・187・205】 | 自治会所有の防犯灯のLED化率(%) | 100 | 99.3 | 99% | 99% | B |
| | 地域づくりに関する活動ハンドブックの作成 | 更新 | 更新 | 100% | | |
| | 地域組織による協働センター等の管理委託施設数(H29～累計)(件) | 3 | 3 | 100% | | |
| 地域力向上事業【191】 | 地域力向上事業の実施件数(件) | 139 | 114 | 82% | 82% | B |
| “まち”と“むら”をつないで実現する中山間地域の振興 (市民協働・地域政策課) | 中山間地域の人口減少率(本年人口÷前年人口×100-100) | -2.25 | -2.43 | 92% | 92% | B |
| 居住促進事業【192】 | 市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(人) | 30 | 21 | 70% | 70% | B |
| 生活支援事業 | 山里いきいき応援隊の隊員数(人) | 12 | 11 | 91% | 75% | B |
| | 新たな仕事づくり事業数(H27～累計)(事業) | 3 | 2 | 66% | | |
| | 市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(人) | 30 | 21 | 70% | | |
| | 遊休施設を利用して事業を実施している民間企業などの数(団体) | 8 | 6 | 75% | | |
| 中山間地域まちづくり事業【192】 | 中山間地域まちづくり事業採択事業(H24～累計)(事業) | 19 | 19 | 100% | 100% | A |
| 中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業 | 貸付事業を活用した起業件数(H27～累計)(件) | 12 | 7 | 58% | 58% | C |
| 市内間交流事業 | 市が実施する交流事業の回数(回) | 24 | 30 | 125% | 100% | A |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|---|--------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実現 (UD・男女共同参画課) | ユニバーサルデザインによるまちづくりに対する市民満足度(%) | 17 | 16.7 | 98% | 99% | B |
| | ユニバーサルデザインの理解度(%) | 43 | 46.1 | 107% | | |
| ユニバーサルデザイン推進事業【193・194】 | UD出前講座受講率(%) | 40 | 31 | 77% | 92% | B |
| | 音声文字化アプリケーションの利用実績(件) | 20 | 28 | 140% | | |
| | UD市民リーダー養成に伴う講座受講者数(人) | 20 | 32 | 160% | | |
| 一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進 (UD・男女共同参画課) | 男女共同参画社会実現に向けた市の取り組みに対する満足度(%) | 15 | 7.6 | 50% | 75% | B |
| | 活動拠点施設で開催された講座の満足度(%) | 95 | 98.2 | 103% | | |
| ワーク・ライフ・バランス推進事業【18・71】 | ワーク・ライフ・バランス等アドバイザー派遣事業所数(社) | 7 | 3 | 42% | 34% | C |
| | ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業所数(社/年) | 30 | 8 | 26% | | |
| 活動拠点施設事業 | 啓発事業参加者数(人) | 2,800 | 4,195 | 149% | 97% | B |
| | 相談件数(件) | 1,900 | 1,709 | 89% | | |
| | 講座の満足度(%) | 95 | 98.2 | 103% | | |
| | はままつ女性カレッジの総参加者(H27～累計)(人) | 60 | 60 | 100% | | |

| | | |
|--------------|--------------------------|------------------------|
| 基本政策③ | 人的・制度的運用の推進による都市経営の基盤づくり | |
| 責任者 | 総務部長 金原 栄行 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 93% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|------------------------------|-------|----------|
| 秘書・表彰業務の推進 （秘書課） | 80% | B |
| 適正な組織体制と定員管理 （人事課） | 100% | A |
| 職員の育成 （人事課） | 98% | B |
| 政策法務の推進 （政策法務課） | 100% | A |
| 持続可能な都市経営の推進 （政策法務課） | 80% | B |
| 職員の健康管理と職場環境の安全管理 （職員厚生課） | 98% | B |
| 行政情報の提供・公開 （文書行政課） | 96% | B |

主な取組(成果・課題など)

効果的な行政運営を実現するため、組織・定員及び給与の適正化並びに抜本的な事業の見直しを推進するとともに、民間事業者等の知恵・資金等を活用した民間活力の導入に取り組めます。

平成31年4月1日に職員定数を69人削減するとともに、人事委員会勧告を踏まえて給与改定を行いました。

令和2年度から令和11年度までを計画期間とする浜松行政経営推進プラン（総論）及び前期5年間の取組である浜松行政経営推進プラン【実施計画（前期）】を策定・公表しました。また、業務改善ノウハウの習得と実践を目指した課題解決型研修を実施し、令和元年12月までに55,038千円の財政効果を生み出しました。さらに、自発的な事業の廃止及び見直しを実施し、67,029千円の見直し効果がありました。

内部統制制度の構築については、令和2年4月からの導入に向け、令和元年10月から3か月間トライアルを実施するとともに、基本方針の策定や推進体制の整備を行いました。

民間活力の導入促進に向けては、令和元年10月に基本方針の改定を行うとともに、官民連携推進窓口による相談対応や浜松市発案・提案型官民連携制度の運用、研修会開催などに取り組めました。

♪ 市民満足度の高いサービスを提供するため、新しい課題に即応していく人材の育成を進めるとともに、女性職員が活躍するための各種事業・環境整備に取り組みます。

市民サービス向上を図るため掲げている「市民への約束」を実践するため、全庁的な接遇センスアップ運動、職員及び職場対象の接遇研修、クレーム対応研修、「市民への約束」評価月間アンケートなどを実施しました。

社会環境の急速な変化と多様化・高度化する行政課題に的確に対応できる人材を育成するため、各職位に求められる能力等に応じた階層別研修を実施するとともに、国や自治大学校等研修機関への派遣研修、政策形成能力を身につけるための研修、民間企業経営者の講話や有識者による政策講演会、先進地視察や職場研修への支援などを実施しました。

また、女性職員の活躍を支援するため、女性職員の意識の向上を図る女性職員スキルアップ研修、キャリアアシスト研修を実施するとともに、育児休業職員職場復帰支援研修や所属長を対象としたイクボス研修などで職場環境の整備に取り組みました。

♪ 地方分権の進展に伴う自主立法の増加、法令遵守に対する市民の要求の高まりに対応するため、効果的かつ継続的な研修や弁護士等相談制度を通して、職員の法務能力の向上を図ります。

各部局において、主体的な立法、法令解釈による適正な業務執行、紛争の未然防止を図る政策法務主任は、第5期となる32人を選任し研修を開始しました。また、政策法務推進員や区役所職員、採用2年目及び5年目の職員を対象とした研修、希望する課（部）単位での研修を実施しました。

このほか、政策・施策の検討段階において、法令の解釈及び運用について助言を受ける政策法務アドバイザーへの相談や、法的紛争の未然防止・早期解決のため相談弁護士、庁内弁護士への相談を行うことを通じて、職員の法務能力の向上を図ることができました。

♪ 職員の健康の保持増進を図るため、健康相談、保健指導やストレスチェックを行い、職員の健康管理に努めます。

職員が心身ともに健康な状態で市民サービスの提供に従事できるようにするため、健康診断・メンタルヘルス対策などの健康保持の取組みや、公務災害対策を通じた健康障害の発生予防の取組みを進めました。

職員の心理的な負担の程度を把握するストレスチェックでは、高ストレス者の割合が8.2%と国の示す目安である10%を下回りました。さらに、高ストレス者に対する面接指導や、高ストレス者が多い職場へのヒアリングを進め、働きやすい職場環境づくりを推進しました。

公務災害では、衛生委員会の開催を通じ、発生事例における背景要因の検討を進め、作業環境の改善と再発防止を図りました。公務災害の発生件数は52件となり、前年比で16件減少しました。

♪ 公平公正で開かれた市政の運営を推進するため、情報公開制度及び個人情報保護制度の適正な運用を図ります。

民主的で開かれた市政の運営を図るため情報公開制度を運用するとともに、市民の個人情報の保護を図るため個人情報保護制度を運用しました。

情報公開制度に基づく公開請求件数は2,373件で部分公開を含む文書の公開率は91.0%と前年度と同水準となりました。

一方、情報公開制度と個人情報保護制度の適正な運営を確保するうえで、職員の知識と処理能力の向上が必要不可欠であることから情報公開・個人情報保護研修会を開催しました。

また、昨年度に引き続き番号法の施行に伴う個人情報の適正な取扱いに重点を置き、個人情報の適正管理に関する要綱に基づき管理体制の推進を図りました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。(予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額)

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|-----|--------------------------|-----|
| 一 | 645 | 一 | 578 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 645 | 計 | 578 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 秘書・表彰業務の推進 (秘書課) | 市制記念日認知度 (%) | 57 | 40.3 | 70% | 80% | B |
| | 市歌認知度 (%) | 46 | 41.4 | 90% | | |
| 市長・副市長秘書管理事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 市制記念式典開催事業 | 市制記念日認知度 (%) | 57 | 40.3 | 70% | 80% | B |
| | 市歌認知度 (%) | 46 | 41.4 | 90% | | |
| 政策調整事業【96】 | 講演会の実施高校数 (校) | 15 | 8 | 53% | 53% | C |
| 適正な組織体制と定員管理 (人事課) | 職員定数 (人) | 5,182 | 5,182 | 100% | 100% | A |
| | 時間外勤務 (時間) | 411,500 | R2. 8頃確定 | — | | |
| 人事管理運営事業 | 定員適正化の推進による 正規職員数 (定数) | 5,182 | 5,182 | 100% | 100% | A |
| | 総人件費の削減 (百万円) | 52,399 | R2. 8頃確定 | — | | |
| 職員の育成 (人事課) | 「市民への約束」評価 アンケート 全項目平均点 (点) | 4.5 | 4.5 | 100% | 98% | B |
| | 研修受講者アンケート 満足度平均点 (点) | 4.5 | 4.27 | 94% | | |
| | 復職の一年後就労継続 率 (プログラム受講 者) (%) | 90 | 90.3 | 100% | | |
| 人材開発推進事業 | 「市民への約束」評価 アンケート 全項目平均点 (点) | 4.5 | 4.5 | 100% | 98% | B |
| | 研修受講者アンケート 満足度平均点 (点) | 4.5 | 4.27 | 94% | | |
| | 復職の一年後就労継続 率 (プログラム受講 者) (%) | 90 | 90.3 | 100% | | |
| 政策法務の推進 (政策法務課) | 政策法務主任制度の有 効性 (%) | 65 | 66 | 101% | 100% | A |
| 政策法務事業 | 政策法務主任研修受講 者数 (H19～累計) (人) | 150 | 159 | 106% | 100% | A |
| 持続可能な都市経営の推進 (政策法務課) | 行政経営計画の年度別 進捗率 (%) | 策定 | 策定 | 100% | 80% | B |
| | 改善活動に伴う財政効 果額 ※R6目標値 (H27～R6の 累計額) (千円) | 125,000 | 77,000 | 61% | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|------------------------------|-----------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 経営改革推進事業【207・208・209・215】 | 事業の廃止及び見直しの実施 | 全事業見直しの実施 | 全事業見直しの実施 | 100% | 94% | B |
| | マイナンバーカード普及率(%) | 12 | 12.1 | 100% | | |
| | Good Job運動取り組み件数(件/年度) | 12,000 | 20,284 | 169% | | |
| | 庁内・外への民間活力の導入に関する制度周知及び啓発の実施回数(回) | 3 | 3 | 100% | | |
| | 内部統制に係る推進体制等の整備 | 整備 | 整備 | 100% | | |
| | 個人番号カードの市独自利用件数(件) | 3 | 2 | 66% | | |
| 職員の健康管理と職場環境の安全管理 (職員厚生課) | 公務災害発生率(認定件数/全職員)(千分率) | 5.5 | 3.8 | 144% | 98% | B |
| | 定期健康診断要精密・要受診判定者受診率(%) | 92.0 | 89.6 | 97% | | |
| 職員の健康、安全衛生管理事業 | 衛生管理者資格取得研修受講者数(H27～累計)(人) | 25 | 25 | 100% | 97% | B |
| | 生活習慣病予防研修受講者数(H27～累計)(人) | 100 | 94 | 94% | | |
| 職員の被服貸与、福利厚生事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 恩給及び退職年金に関する事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 行政情報の提供・公開 (文書行政課) | 公文書管理及び情報公開制度等研修会参加者数/所属数(%) | 100 | 96 | 96% | 96% | B |
| 公文書管理事業 | 文書主任事務説明会の参加率参加者数/所属数(%) | 100 | 97 | 97% | 96% | B |
| | 情報公開等研修会の参加率参加者数/所属数(%) | 100 | 95.3 | 95% | | |
| 住居表示事業 | 街区表示板維持管理件数(街区数) | 1,250 | 1,386 | 110% | 100% | A |
| 統計調査員確保対策事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 基幹統計調査事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 統計運営経費 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |

| | | |
|--------------|-------------------------------|------------------------|
| 基本政策④ | 将来像を実現する財政運営、財産管理、財源確保の推進 | |
| 責任者 | 財務部長 森本 哲司 財務部 税務担当部長 田中 克 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 99% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|---|-------|----------|
| 将来を見据えた持続可能な財政運営の維持 （財政課） | 100% | A |
| ファシリティマネジメントの推進 （アセットマネジメント推進課） | 100% | A |
| 安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供 （公共建築課） | 97% | B |
| 工事・物品の適正な契約 （調達課） | 100% | A |
| 技術職員の技術力向上 （技術監理課） | 100% | A |
| 公平公正・効率的な課税と収納・効率的な市税の賦課 徴収体制の確立（税務総務課） | 99% | B |
| 公平公正・効率的な課税と収納・適正な課税による市 税収入の確保（市民税）（市民税課） | 100% | A |
| 公平公正・効率的な課税と収納・適正な課税による市 税収入の確保（固定資産税）（資産税課） | 100% | A |
| 公平公正・効率的な課税と収納・市未収債権の厳正な 回収（収納対策課） | 100% | A |

主な取組(成果・課題など)

♪ 中期財政計画の目標達成に向け、規律ある財政運営を堅持し、将来世代への負担軽減を図ります。

総合計画基本構想「浜松市未来ビジョン」の実現に向けた事業進捗を図りつつ、市債残高について元金ベースのプライマリーバランスを維持するよう市債の発行と償還を管理した結果、中期財政計画の管理指標である市民一人当たり市債残高は令和元年度末時点で56万円となり、令和元年度計画値（58万2千円）を達成しました。

♪ 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の改修・更新、統廃合、長寿命化や、民間活力の導入による財政負担の軽減など、ファシリティマネジメントの推進を図ります。

浜松市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の劣化調査や学校施設長寿命化計画の策定といった施設長寿命化や、浜松フラワーパーク内施設のネーミングライツパートナーの公募・選出といった民間活力の導入など、ファシリティマネジメントの推進を図りました。

♪ 市税収納率の向上を図り、安定的な財源の確保に努めます。

市税滞納削減アクションプランを改定し、早期徴収体制やコンビニ収納等これまでの取組に加え、催告電話など税務事務における多言語化等を進めた結果、個人市民税納期内収入率は95.18%（令和元年度目標値95.38%）、累積滞納額23.3億円（同24.5億円以下）となりました。また、地方税共通納税システムの導入対応による税務手続のデジタル化を図るとともに、スマホ決済の令和2年度開始に向けた準備等を行いました。

事業費

★ 一＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| | R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 一 | 7,031 | 一 | 6,816 |
| 特 | 47,537 | 特 | 47,536 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 54,568 | 計 | 54,352 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
|------------------------------------|--|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|------|---|
| 主要事業 | | | | | | | |
| 将来を見据えた持続可能な財政運営の維持 (財政課) | 市民一人当たりの市債残高(千円) | 582 | 560 | 103% | 100% | A | |
| | 議案作成事業 | 100 | 100 | 100% | 100% | A | |
| | 財政状況公表事業【206】 | 市の財政状況公表の推進(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A |
| | | 市民一人当たりの市債残高(千円以下) | 582 | 560 | 103% | | |
| | | 総市債残高(億円以下) | 4,653 | 4,484 | 103% | | |
| 財政管理運営経費 | 適正な予算編成及び財政に係る企画・調整(%) | 100 | 100 | 100% | 100% | A | |
| ファシリティマネジメントの推進 (アセットマネジメント推進課) | ハコモノ資産の充足率(%) | 70 | R2.9頃確定 | — | 100% | A | |
| | インフラ資産の充足率(%) | 60 | R2.9頃確定 | — | | | |
| | 遊休財産の売却額(億円) | 3 | 3.2 | 106% | | | |
| アセットマネジメント推進事業【154・210・211】 | ハコモノ資産の充足率(%) | 70 | R2.9頃確定 | — | 100% | A | |
| | インフラ資産の充足率(%) | 60 | R2.9頃確定 | — | | | |
| | 浜松市公共施設等総合管理計画による官民連携手法の導入・活用 | 制度運用 | 制度運用 | 100% | | | |
| 公有財産維持管理事業【212】 | 遊休財産の売却額(億円) | 3 | 3.2 | 106% | 100% | A | |
| 借地解消事業【212】 | 借地料の削減額(億円) | 0.1 | 0.16 | 160% | 100% | A | |
| 安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供 (公共建築課) | 外壁・屋根の劣化調査の結果、優先的に改修すべきと判断された建物のうち改修済の建物の割合(%) | 40 | 39 | 97% | 97% | B | |
| | 吊り天井非構造部材落下防止工事实施割合(%) | 62 | 60 | 96% | | | |
| | 協働センターのユニバーサルデザイン化整備工事实施割合(%) | 100 | 100 | 100% | | | |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--|---|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 公共建築物長寿命化推進事業 | 外壁及び屋根改修工事 (施設) | 56 | 58 | 103% | 98% | B |
| | 空調設備改修工事(施設) | 3 | 3 | 100% | | |
| | 設備(受変電設備・給 水ポンプ)改修工事 (施設) | 13 | 12 | 92% | | |
| | 大規模改修工事(施設) | 1 | 1 | 100% | | |
| 公共建築物耐震化推進事業 | 吊り天井等非構造部材 落下防止対策工事(施設) | 4 | 3 | 75% | 87% | B |
| | 一般施設の耐震化(施設) | 1 | 1 | 100% | | |
| 公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業 | 協働センターユニバー サルデザイン化整備工 事(施設数) | 7 | 7 | 100% | 100% | A |
| | 公共建築物のユニバー サルデザイン度(点) | 60 | 60 | 100% | | |
| 工事・物品の適正な契約 (調達課) | 工事・物品の電子入札 実施割合(%) | 75 | 81 | 108% | 100% | A |
| 電子入札システム事業 | 物品の電子入札実施件 数(件) | 400 | 425 | 106% | 100% | A |
| 調達運営経費 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 技術職員の技術力向上 (技術監理課) | 技術職員総数に対する 研修参加者の割合 (%) | 83 | 84 | 101% | 100% | A |
| 職員技術研修事業 | 研修受講者アンケート 有用度(%) | 95 | 96 | 101% | 100% | A |
| 建設工事技術管理事業 | 工事の電子納品の実施 割合(%) | 100 | 99 | 99% | 99% | B |
| | 工事成績の平均点 (点) | 77.8 | 78.2 | 100% | | |
| 工事検査事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 公平公正・効率的な課税と収 納・効率的な市税の賦課徴収 体制の確立 (税務総務課) | 個人市民税納期内収入 率(%) | 95.38 | 95.18 | 99% | 99% | B |
| 税務管理事業 | 市税滞納削減アクション プラン目標値に掲げ る指標【個人市民税納 期内収入率】(%) | 95.38 | 95.18 | 99% | 99% | B |
| 税務総務事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
|---|--------------------------------------|-----------------------|---------------------|-----------|-----------------|------|---|
| 主要事業 | | | | | | | |
| 公平公正・効率的な課税と収納・適正な課税による市税収入の確保(市民税)(市民税課) | 給与所得者における特別徴収による納税義務者の割合(%) | 86 | 86.13 | 100% | 100% | A | |
| | 賦課徴収事業 | 86 | 86.13 | 100% | 100% | | |
| 公平公正・効率的な課税と収納・適正な課税による市税収入の確保(固定資産税)(資産税課) | 賦課更正件数の対前年度減少率(%) | 2 | 12 | 600% | 100% | A | |
| | 納税通知書等相続人代表者届書未提出率(%) | 18 | 12 | 150% | | | |
| | 賦課徴収事業 | 賦課更正件数の対前年度減少率(%) | 2 | 12 | 600% | 100% | A |
| | | 納税通知書等相続人代表者届書未提出率(%) | 18 | 12 | 150% | | |
| 公平公正・効率的な課税と収納・市未収債権の厳正な回収(収納対策課) | 市税滞納削減アクションプラン目標値に掲げる指標【累積滞納額】(億円以下) | 24.5 | 23.3 | 105% | 100% | A | |
| | 収納対策事業 | 24.5 | 23.3 | 105% | 100% | | |

| | | |
|--------------|--------------|-------------------------|
| 基本政策⑤ | — | |
| 責任者 | 会計管理者 那須田 政廣 | |
| 評価 | A | 指標達成率の平均 100% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|----------------------|-------|----------|
| 会計管理運營業務の推進 （会計課） | 100% | A |

事業費

★ —＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|-----|--------------------------|-----|
| — | 134 | — | 129 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 134 | 計 | 129 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|----------------------|------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 会計管理運営業務の推進 (会計課) | 現金出納事務検査の適 正箇所率 (%) | 90 | 93.3 | 103% | 100% | A |
| | 物品出納事務検査の適 正箇所率 (%) | 93 | 96.8 | 104% | | |

| | |
|--------------|--------------------|
| 基本政策⑥ | — |
| 責任者 | 市選挙管理委員会事務局長 石川 正喜 |
| 評価 | 指標達成率の平均 — |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|-------------------------------|-------|----|
| 公正かつ適正な選挙の実施 （市選挙管理委員会事務局） | — | — |

事業費

★ —=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|-----|--------------------------|-----|
| — | 427 | — | 425 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 427 | 計 | 425 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|-------------------------------|-------------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----------|
| 主要事業 | | | | | | |
| 公正かつ適正な選挙の実施 (市選挙管理委員会事務局) | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 参議院議員選挙 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 統一地方選挙 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 土地改良区総代選挙 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 選挙人名簿作成事業 | (指標の設定なし) | — | — | — | — | — |
| 明るい選挙推進事業 | 中学校等への選挙資材 貸出事業 貸出校数/学 校数 (%) | 50 | 55 | 110% | 100% | A |

| | | |
|--------------|-----------------|------------------------|
| 基本政策⑦ | — | |
| 責任者 | 人事委員会事務局長 三井 啓義 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 70% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|----------------------------------|-------|----------|
| 適正かつ公平中立な人事行政運営の推進 （人事委員会事務局） | 70% | B |

事業費

★ —＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|----|--------------------------|----|
| 一 | 26 | 一 | 22 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 26 | 計 | 22 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 適正かつ公平中立な人事行政 運営の推進 (人事委員会事務局) | 大卒事務職の募集人員 に対する応募倍率 (倍) | 15 | 6.6 | 44% | 70% | B |
| | 民間給与実態調査の対 象事業所に対する調査 完了率 (%) | 90 | 87.6 | 97% | | |

| | | |
|--------------|--------------|------------------------|
| 基本政策⑧ | — | |
| 責任者 | 監査事務局長 長坂 芳達 | |
| 評価 | B | 指標達成率の平均 93% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| 政策（担当課） | 指標達成率 | 評価 |
|------------------------------|-------|----------|
| 行財政運営に対する監査・指導の推進 （監査事務局） | 86% | B |
| 行財政運営に対する監査・指導の推進 （政策法務課） | 100% | A |

事業費

★ —＝一般会計、特＝特別会計、企＝企業会計。（予算額は令和2年2月補正後、決算額は見込み額）

| R1(2019) 予算額 (百万円) | | R1(2019) 決算額 (百万円) | |
|--------------------------|----|--------------------------|----|
| — | 20 | — | 19 |
| 特 | 0 | 特 | 0 |
| 企 | 0 | 企 | 0 |
| 計 | 20 | 計 | 19 |

参考資料(政策・主要事業評価)

| 政策 (担当課) | 指標 | R1 (2019) 計画値 | R1 (2019) 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|------------------------------|---------------------------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| 主要事業 | | | | | | |
| 行財政運営に対する監査・指導の推進 (監査事務局) | 定期監査、行政監査、財政援助団体等監査を実施した組織等の数 (箇所) | 120 | 158 | 131% | 86% | B |
| | 決算審査、例月出納検査を実施した会計数 (会計) | 22 | 22 | 100% | | |
| | 業務の改善につながる指摘事項・意見の掲出 (件) | 50 | 29 | 58% | | |
| 行財政運営に対する監査・指導の推進 (政策法務課) | 包括外部監査結果における指摘等に対する是正等対応率 (%) | 95 | 97.9 | 103% | 100% | A |

Ⅲ 総合戦略の評価



| | |
|---------------------------|----------|
| 基本目標Ⅰ 若者がチャレンジできるまち | (P. 137) |
| Ⅰ-1 地元産業力の強化 | (P. 138) |
| Ⅰ-2 労働供給力の開拓 | (P. 141) |
| 基本目標Ⅱ 子育て世代を全力で応援するまち | (P. 142) |
| Ⅱ-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 | (P. 143) |
| Ⅱ-2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成 | (P. 145) |
| 基本目標Ⅲ 持続可能で創造性あふれるまち | (P. 146) |
| Ⅲ-1 安全・安心なまちづくり | (P. 147) |
| Ⅲ-2 にぎわいの創出 | (P. 148) |
| Ⅲ-3 支えあいによる地域社会の形成 | (P. 150) |
| Ⅲ-4 コンパクトでメリハリの効いたまちづくり | (P. 151) |

| | | | |
|-------------|--------------------------|--------------|-----|
| 基本目標 | I 「若者がチャレンジできるまち」 | | |
| 評価結果 | B | 指標達成率の 平均 | 83% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| No. | 施策 | 指標達成率 | 評価 |
|-------|-------------------------------|-------|----|
| 1(1)ア | 「ものづくりのまち」の次代を担う成長産業へのチャレンジ支援 | 100% | A |
| 1(1)イ | “やらまいか精神”が根付く地場産業の支援 | — | — |
| 1(1)ウ | 農林水産業の6次産業化などの推進 | 97% | B |
| 1(1)エ | 天竜材のブランド力強化及び流通拡大 | 100% | A |
| 1(2)ア | 海外の活力を取り込むビジネス展開支援 | 59% | C |
| 1(2)イ | 新たなリーディング産業となる企業の誘致推進 | 100% | A |
| 1(2)ウ | 農林水産物の海外販路開拓 | 100% | A |
| 1(3)ア | 創業希望者への相談・情報提供の推進 | 100% | A |
| 1(3)イ | 新規就業者などへの支援 | 62% | B |
| 1(4)イ | 農地の流動化による有効利用の推進 | 84% | B |
| 1(4)イ | 多様な担い手の育成 | 98% | B |
| 1(5)ア | 浜松版スマートシティの実現 | 80% | B |
| 1(5)イ | 日照時間日本一を活かしたエネルギー自給率の向上 | 100% | A |
| 2(1)ア | ハピキャリもバリキャリも活躍できる環境づくり | 100% | A |
| 2(1)イ | UIターン・地元就職支援 | 84% | B |
| 2(1)ウ | 就職を希望する人への就労支援 | 88% | B |
| 2(1)エ | 働きやすさ・住みやすさの発信 | 43% | C |
| 2(2)ア | ワーク・ライフ・バランスの推進 | 26% | C |

参考資料（施策評価）

I - 1 地元産業力の強化

| ○基本的方向 | | | | | | |
|---|---|---------------------|-----------|-----------------|----|---|
| ◆施策 | | | | | | |
| ・ 施策を構成する主な事業 <<担当課>> [構成事業数] | 指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】 | R1 (2019) 目標値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
| | | 実績値 | | | | |
| (1) イノベーションの連鎖を生み出す新産業の創出と既存産業の高度化 | | | | | | |
| ア 「ものづくりのまち」の次代を担う成長産業へのチャレンジ支援 | | | | | | |
| ・ 産業イノベーション推進事業【①】【②】 <<産業振興課>> [1事業] | ①：粗付加価値額（従業員4人以上の事業所） 【千円】 | 92,953 R2.12頃確定 | — | 100% | A | |
| | ②：新技術・新製品開発などの事業化件数（H27～累計） 【件】 | 260 284 | 109% | | | |
| イ “やらまいか精神”が根付く地場産業の支援 | | | | | | |
| ・ 地域産業振興支援事業【①】 <<産業振興課>> [1事業] | ①：粗付加価値額（従業員4人以上の事業所） 【千円】 | 92,953 R2.12頃確定 | — | — | — | — |
| ウ 農林水産業の6次産業化などの推進 | | | | | | |
| ・ もうかる農業推進事業【①】【②】 <<農業水産課>> ・ 低コスト林業推進事業【③】 <<林業振興課>> ・ 林業成長産業化推進事業【③】 <<林業振興課>> [5事業] | ①：浜松市未来を拓く農林漁業育成事業費補助金申請件数（H27～累計） 【件】 | 100 96 | 96% | 97% | B | |
| | ②：グリーン・ツーリズムによる交流人口 【万人/年】 | 303 R2.9頃確定 | — | | | |
| | ③：木材生産量 【万m ³ /年】 | 14.3 14.1 | 98% | | | |
| エ 天竜材のブランド力強化及び流通拡大 | | | | | | |
| ・ 森林管理事業【①】【②】 <<林業振興課>> ・ 木材需要拡大事業【①】 <<林業振興課>> [3事業] | ①：木材・木製品製造業製造品出荷額 【億円/年】 | 450 R3.8頃確定 | — | 100% | A | |
| | ②：FSC森林認証面積 【ha】 | 45,500 48,542 | 106% | | | |

I-1 地元産業力の強化

| ○基本的方向 | | | | | | |
|---|--|---------------------|-----------|-----------------|----|--|
| ◆施策 | | | | | | |
| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標No.：重要業績評価指標 (KPI) 【単位】 | R1 (2019) 目標値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
| | | 実績値 | | | | |
| (2) 海外展開支援と集積による地域企業活性化 | | | | | | |
| ア 海外の活力を取り込むビジネス展開支援 | | | | | | |
| ・海外ビジネス展開支援事業 【①】 【②】 《産業振興課》 [3事業] | ①：見本市出展企業の成 約件数 【件】 | 25 | 40% | 59% | C | |
| | | 10 | | | | |
| | ②：海外展開企業数 【社】 | 165 | 78% | | | |
| | | 130 | | | | |
| イ 新たなリーディング産業となる企業の誘致推進 | | | | | | |
| ・企業立地推進事業【①】 《企業立地推進課》 [3事業] | ①：企業立地決定件数 (H27～累計) 【件】 | 116 | 112% | 100% | A | |
| | | 130 | | | | |
| ウ 農林水産物の海外販路開拓 | | | | | | |
| ・もうかる農業推進事業 【①】 《農業水産課》 [2事業] | ①：商談会などにおける 成約件数 (H27～累計) 【件】 | 30 | 123% | 100% | A | |
| | | 37 | | | | |
| (3) 新規創業・就農のチャレンジサポート | | | | | | |
| ア 創業希望者への相談・情報提供の推進 | | | | | | |
| ・創業支援事業【①】 《産業振興課》 [2事業] | ①：創業支援事業に伴う 新規創業者数 (法人登記 数) 【人/年】 | 120 | 108% | 100% | A | |
| | | 130 | | | | |
| イ 新規就業者などへの支援 | | | | | | |
| ・担い手育成支援事業【①】 《農業振興課》 ・林業従事者助成事業 (補助 金) 【②】 《林業振興課》 [2事業] | ①：新規就農者支援件数 【件】 | 61 | 75% | 62% | B | |
| | | 46 | | | | |
| | ②：新規就業者 (林業) 支援件数 【件】 | 20 | 50% | | | |
| | | 10 | | | | |
| (4) 担い手第一主義の農林水産業振興 | | | | | | |
| ア 農地の流動化による有効利用の推進 | | | | | | |
| ・農地の確保と有効利用事業 【①】 《農地利用課》 ・優良農地の確保推進事業 【①】 《農業委員会事務局》 [8事業] | ①：担い手への農地集積 率 【%】 | 38 | 84% | 84% | B | |
| | | 32 | | | | |

I - 1 地元産業力の強化

| ○基本的方向 | | | | | |
|---|-----------------------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| ◆施策 | | | | | |
| ・施策を構成する主な事業 <<担当課>> [構成事業数] | 指標No.：重要業績評価指標 (KPI) [単位] | R1 (2019) 目標値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| | | 実績値 | | | |
| イ 多様な担い手の育成 | | | | | |
| ・もうかる農業推進事業【①】 <<農業水産課>> ・市民に親しまれる農業推進事業【②】 <<農業振興課>> [4事業] | ①：農業経営塾卒業生 (H28～累計) [人] | 45 | 122% | 98% | B |
| | | 55 | | | |
| | ②：市民ふれあい農園数 [か所] | 54 | 96% | | |
| | | 52 | | | |
| (5) 浜松版スマートシティの推進 | | | | | |
| ア 浜松版スマートシティの実現 | | | | | |
| ・スマートシティ推進事業【①】 <<エネルギー政策課>> [1事業] | ①：スマートプロジェクトの創出件数 (H28～累計) [件] | 10 | 80% | 80% | B |
| | | 8 | | | |
| イ 日照時間日本一を活かしたエネルギー自給率の向上 | | | | | |
| ・スマートシティ推進事業【①】 <<エネルギー政策課>> [1事業] | ①：エネルギー自給率 [%] | 15.4 | 103% | 100% | A |
| | | 16.0 | | | |

| | | |
|-------------|----------------------------|----------------------------|
| 基本目標 | Ⅱ 「子育て世代を全力で応援するまち」 | |
| 評価結果 | B | 指標達成率の 平均 82% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| No. | 施策 | 指標達成率 | 評価 |
|-------|----------------------|-------|----------|
| 1(1)ア | 結婚・妊娠に対する前向きな機運の醸成 | 89% | B |
| 1(1)イ | 不妊に対する包括的な支援 | 99% | B |
| 1(2)ア | 母子の健康の保持・増進 | 100% | A |
| 1(3)ア | 保育施設・放課後児童会の拡充 | 0% | C |
| 1(3)イ | 地域の子育て力の向上 | 79% | B |
| 1(3)ウ | 子育てに対する不安や負担の軽減 | 99% | B |
| 2(1)ア | 子どもの才能を伸ばす特別課外講座の充実 | 100% | A |
| 2(1)イ | 子どもの興味を引き出す機会の充実 | 100% | A |
| 2(2)ア | 地域・保護者・学校の連携による学校づくり | 100% | A |
| 2(2)イ | 地域愛をはぐくむ教育の実践 | 91% | B |
| 2(2)ウ | 子どもの個性に応じた支援体制の整備 | 49% | C |

参考資料（施策評価）

Ⅱ - 1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

| ○基本的方向 | | | | | | |
|--|---|----------------------|-------|---------|----|---------|
| ◆施策 | | | | | | |
| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標No.：重要業績評価指標（KPI） 【単位】 | R1 | 指標達成率 | 平均指標達成率 | 評価 | |
| | | (2019) 目標値 実績値 | | | | |
| (1) 結婚・妊娠の希望を全力で応援 | | | | | | |
| ア 結婚・妊娠に対する前向きな機運の醸成 | | | | | | |
| ・地域少子化対策強化事業【①】 《次世代育成課》 ・母子衛生教育事業【②】 《健康増進課》 [2事業] | ①：女性の平均初婚年齢 【歳】 ②：全妊婦の内、20歳～34歳に妊娠した人の割合 【%】 | 27 | — | 89% | B | R3.3頃確定 |
| | | 80.0以上 71.2 | | | | |
| イ 不妊に対する包括的な支援 | | | | | | |
| ・母子医療費等支援事業【①】 《健康増進課》 [1事業] | ①：特定不妊治療（初回）治療開始時平均年齢 【歳】 | 35未満 35.0 | 99% | 99% | B | |
| (2) 安心して出産できる環境づくり | | | | | | |
| ア 母子の健康の保持・増進 | | | | | | |
| ・妊産婦乳幼児健康診査事業【①】 《健康増進課》 ・母子相談事業【①】 《健康増進課》 ・母子訪問指導事業【①】 《健康増進課》 [5事業] | ①：妊娠・出産の支援に満足している人の割合 【%】 | 90.0以上 92.2 | 102% | 100% | A | |
| | | | | | | |
| (3) 待機児童の解消と子育て支援の充実 | | | | | | |
| ア 保育施設・放課後児童会の拡充 | | | | | | |
| ・私立保育所等助成事業【①】 《幼児教育・保育課》 ・放課後児童会健全育成事業【②】 《教育総務課》 [2事業] | ①：保育所など利用待機児童数 【人】 ②：放課後児童会利用待機児童数 【人】 | 0 31 | 0% | 0% | C | |
| | | 0 471 | 0% | | | |
| イ 地域の子育て力の向上 | | | | | | |
| ・子育て家庭支援事業【①】 《子育て支援課》 [1事業] | ①：地域子育て支援拠点延べ利用者数 【人/件】 | 383,000 303,379 | 79% | 79% | B | |

Ⅱ - 1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

| ○基本的方向 | | | | | |
|--|------------------------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|
| ◆施策 | | | | | |
| ・ 施策を構成する主な事業 <<担当課>> [構成事業数] | 指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】 | R1 (2019) 目標値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| | | 実績値 | | | |
| ウ 子育てに対する不安や負担の軽減 | | | | | |
| ・ 子ども・若者支援プラン推進事業【①】 <<次世代育成課>> ・ こども保護対策事業【①】 <<子育て支援課>> ・ 子育て家庭支援事業【①】 <<子育て支援課>> ・ 社会的養護推進事業【①】 <<子育て支援課>> ・ 女性相談保護事業【①】 <<子育て支援課>> ・ 発達相談支援事業【①】 <<子育て支援課>> ・ 子育てワンストップサービス運用事業【①】 <<子育て支援課>> ・ ひとり親家庭等支援事業【①】 <<子育て支援課>> ・ 家庭福祉支援事業【①】 <<子育て支援課>> ・ 交通遺児等基金積立金【①】 <<子育て支援課>> [14事業] | ① : 子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合 | 50 | 99% | 99% | B |
| | | 【%】 | | | |

参考資料（施策評価）

Ⅱ-2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成

| ○基本的方向 | | | | | | |
|--|---|----------------------|-------|---------|----|--|
| ◆施策 | | | | | | |
| ・施策を構成する主な事業 <<担当課>> [構成事業数] | 指標No.：重要業績評価指標 (KPI) 【単位】 | R1 | 指標達成率 | 平均指標達成率 | 評価 | |
| | | (2019) 目標値 実績値 | | | | |
| (1) 第2・第3のノーベル賞受賞者の育成 | | | | | | |
| ア 子どもの才能を伸ばす特別課外講座の充実 | | | | | | |
| ・生涯学習機会提供事業【①】 <<創造都市・文化振興課>> [1事業] | ①：全国レベルのコンテスト入賞者数 (H24～累計) 【人】 | 15 | 100% | 100% | A | |
| | | 15 | | | | |
| イ 子どもの興味を引き出す機会の充実 | | | | | | |
| ・図書館運営事業【①】 <<中央図書館>> ・生涯学習施設運営事業【①】 <<創造都市・文化振興課>> [4事業] | ①：生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合 【%】 | 33.0 | 100% | 100% | A | |
| | | 33.1 | | | | |
| (2) 地域の力を活かした市民総がかりのひとづくり | | | | | | |
| ア 地域・保護者・学校の連携による学校づくり | | | | | | |
| ・コミュニティ・スクール推進事業【①】 <<教育総務課>> ・はままつ人づくりネットワーク推進事業【②】 <<教育総務課>> [8事業] | ①：コミュニティ・スクール推進モデル校実施数 【校】 | 24 | 100% | | A | |
| | | 24 | | | | |
| | ②：保護者や地域の方がボランティアや外部講師として支援する授業の実施率 【%】 | 80.0 | 107% | 100% | | |
| | | 86.0 | | | | |
| イ 地域愛をはぐくむ教育の実践 | | | | | | |
| ・学校特色化推進事業【①】 <<指導課>> [2事業] | ①：自分のふるさどが好きだと答える子どもの割合 【%】 | 小学生100.0 中学生100.0 | 91% | 91% | B | |
| | | 小学生92.3 中学生88.9 | | | | |
| ウ 子どもの個性に応じた支援体制の整備 | | | | | | |
| ・生徒指導事業【①】 <<指導課>> ・多文化共生推進事業【②】 <<国際課>> [7事業] | ①：自分にはよいところがあると思う子どもの割合 【%】 | 82.0 | 99% | | C | |
| | | 81.9 | | | | |
| | ②：外国人の子どもの不就学 【人】 | 0 | 0% | | | |
| | | 4 | | | | |

| | | | |
|-------------|--------------------------|----------------------------|--|
| 基本目標 | Ⅲ「持続可能で創造性あふれるまち」 | | |
| 評価結果 | B | 指標達成率の 平均 84% | |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| No. | 施策 | 指標達成率 | 評価 |
|-------|--------------------------------|-------|----|
| 1(1)ア | 防潮堤の早期実現 | 100% | A |
| 1(1)イ | 地域防災の推進 | 95% | B |
| 2(1)ア | 多様な音楽に触れる機会の創出 | 100% | A |
| 2(2)ア | ブランドの確立 | 43% | C |
| 2(2)イ | 国内外からの交流人口の拡大 | — | — |
| 2(3)ア | まちなかのにぎわい創出 | 95% | B |
| 2(3)イ | 中山間地域のにぎわい創出 | 72% | B |
| 3(1)ア | 市民協働のまちづくりの推進 | 83% | B |
| 3(1)イ | 多文化共生による市民主体の地域社会の形成 | — | — |
| 3(2)ア | 医療・介護・予防・住まい・生活支援など切れ目ないサービス提供 | 47% | C |
| 3(3)ア | 一人ひとりが健康づくりに取り組みやすい環境整備 | 100% | A |
| 4(1)ア | 集約型の都市づくり | 100% | A |
| 4(1)イ | 拠点を結ぶ交通ネットワークの形成 | 90% | B |
| 4(2)ア | 持続可能な市民サービス提供体制の構築 | — | — |
| 4(2)イ | 広域連携の推進 | 91% | B |

参考資料（施策評価）

Ⅲ - 1 安全・安心なまちづくり

| ○基本的方向 | | | | | | |
|--|--|---------------------|-----------|-----------------|----|--|
| ◆施策 | | | | | | |
| ・ 施策を構成する主な事業 <<担当課>> [構成事業数] | 指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】 | R1 (2019) 目標値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
| | | 実績値 | | | | |
| (1) 災害に強いまちづくりの推進 | | | | | | |
| ア 防潮堤の早期実現 | | | | | | |
| ・ 防災計画等整備事業【①】 <<危機管理課>> [1事業] | ① : 防潮堤の完成 【進捗率%】 | 100.0 | 100% | 100% | A | |
| | | 100.0 | | | | |
| イ 地域防災の推進 | | | | | | |
| ・ 防災計画等整備事業【①】 <<危機管理課>> | ① : 自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合 【%】 | 80.0 | 97% | 95% | B | |
| | | 78.3 | | | | |
| ・ 防災施設・資機材管理事業【①】 <<危機管理課>> | ② : 緊急輸送路上の橋りょう耐震対策実施率 【%】 | 100 | 94% | | | |
| ・ 防災学習施設整備事業【①】 <<危機管理課>> | | 94 | | | | |
| ・ 橋りょう耐震補強事業【②】 <<道路保全課>> | | | | | | |
| ・ 浸水対策支援事業【①】 <<河川課>> | | | | | | |
| ・ 急傾斜対策事業【①】 <<河川課>> [23事業] | | | | | | |

参考資料（施策評価）

Ⅲ- 2 にぎわいの創出

| ○基本的方向 | | | | | | |
|--|----------------------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|---|
| ◆施策 | | | | | | |
| ・ 施策を構成する主な事業 <<担当課>> [構成事業数] | 指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】 | R1 (2019) 目標値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
| | | 実績値 | | | | |
| (1) 創造都市の推進 | | | | | | |
| ア 多様な音楽に触れる機会の創出 | | | | | | |
| ・ 創造都市推進事業【①】 <<創造都市・文化振興課>> ・ 音楽文化発信・交流事業【①】 <<創造都市・文化振興課>> [3事業] | ① : 音楽を始めとする市の文化事業に対する満足度 【%】 | 38.0 | 109% | 100% | A | |
| | | 41.5 | | | | |
| (2) 浜松・浜名湖ブランドの確立による交流人口の拡大 | | | | | | |
| ア ブランドの確立 | | | | | | |
| ・ シティプロモーション事業【①②】 <<観光・シティプロモーション課>> [1事業] | ① : 市区町村別認知度ランキング (全国順位) 【位】 | 15 | 53% | 43% | C | |
| | | 28 | | | | |
| | ② : 市区町村別認知度ランキング (県内順位) 【位】 | 1 | 33% | | | |
| | | 3 | | | | |
| イ 国内外からの交流人口の拡大 | | | | | | |
| ・ 観光客誘致事業【①】 <<観光・シティプロモーション課>> ・ 海外戦略推進事業【②】 <<観光・シティプロモーション課>> | ① : 観光交流客数 【千人/年】 | 23,700 | — | — | — | — |
| | | R2.10頃確定 | | | | |
| ・ 観光宣伝事業【①】 <<観光・シティプロモーション課>> ・ 館山寺総合公園運営事業【①】 <<緑政課>> [19事業] | ② : 外国人延べ宿泊者数 【千人/年】 | 360 | — | — | — | — |
| | | R2.10頃確定 | | | | |

参考資料（施策評価）

Ⅲ - 3 支えあいによる地域社会の形成

| ○基本的方向 | | | | | | |
|---|--|-------------------------|-----------|-----------------|----|--|
| ◆施策 | | | | | | |
| ・ 施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】 | R1 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
| | | (2019) 目標値 実績値 | | | | |
| (1) 次世代を見据えた地域コミュニティの形成 | | | | | | |
| ア 市民協働のまちづくりの推進 | | | | | | |
| ・ 市民協働推進事業【①】 《市民協働・地域政策課》 ・ 安全で安心なまちづくり支援事業【②】 《市民生活課》 [9事業] | ① : 所轄NPO法人の総事業費 【億円】 | 36.3 R2.8頃確定 | — | 83% | B | |
| | ② : 市民参加による「地区安全会議」の団体数 【団体】 | 66 55 | 83% | | | |
| イ 多文化共生による市民主体の地域社会の形成 | | | | | | |
| ・ 多文化共生推進事業【①、②】 《国際課》 ・ 国際交流連携推進事業【①、②】 《国際課》 [2事業] | ① : 近隣の日本人市民とのつきあいがあると答える外国人市民の割合 【%】 | 90 — | — | — | — | |
| | ② : 近隣の外国人市民とのつきあいがあると答える日本人市民の割合 【%】 | 40 — | — | | | |
| (2) 人と人とのつながりをつくる社会の実現 | | | | | | |
| ア 医療・介護・予防・住まい・生活支援など切れ目ないサービス提供 | | | | | | |
| ・ 介護保険事業【②】 《高齢者福祉課》 ・ 老人福祉施設整備費助成事業【①】 《高齢者福祉課》 [4事業] | ① : 特別養護老人ホームの待機者（在宅重度） 【人】 | 0 242 | 0% | 47% | C | |
| | ② : 浜松市ささえあいポイント事業のボランティア登録人数 【人】 | 4,400 4,186 | 95% | | | |
| (3) 政令指定都市トップの健康寿命の延伸 | | | | | | |
| ア 一人ひとりが健康づくりに取り組みやすい環境整備 | | | | | | |
| ・ 健康づくり推進事業【①】 《健康増進課》 ・ 介護保険事業【②】 《高齢者福祉課》 [3事業] | ① : 健康寿命 【歳】 | 男73.48 女76.44 未公表 | — | 100% | A | |
| | ② : ロコモーショントレーニングの参加者数 【人】 | 15,000 15,151 | 101% | | | |

IV 重点戦略の評価



| | | |
|---|----------------------|---------|
| 1 | オール浜松で地域産業を盛り上げる | (P.155) |
| 2 | 子育てから教育まで 続「こども第一主義」 | (P.163) |
| 3 | 実感！ 健康寿命日本一 | (P.169) |
| 4 | きれいな浜松をいつまでも | (P.173) |
| 5 | 安全・安心で強靱な日本一暮らしやすいまち | (P.177) |
| 6 | 市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり | (P.182) |
| 7 | 持続可能な都市経営の推進 | (P.187) |

[参考] 指標達成率・平均指標達成率の計算方法

【指標達成率の計算方法】

① 上昇することが目標値となっている指標

実績値 ÷ 計画値 × 100 (%) [小数点以下切り捨て]

| No | 戦略項目 ・対象事業 «担当課» | 指標項目 (単位) | R1 (2019) | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|----|-------------------------|---------------|--------------|-----------|-----------------|----|
| | | | 計画値 | | | |
| 1 | 〇〇の推進 ・△△事業 «△△課» | △△事業 参加人数 (人) | 200 180 | 90% | 90% | B |

$$180 \div 200 \times 100(\%) = 90\%$$

② 減少することが目標値となっている指標

計画値 ÷ 実績値 × 100 (%) [小数点以下切り捨て]

| No | 戦略項目 ・対象事業 «担当課» | 指標項目 (単位) | R1 (2019) | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|----|-------------------------|---------------|--------------|-----------|-----------------|----|
| | | | 計画値 | | | |
| 1 | 〇〇の推進 ・□□事業 «□□課» | □□規制 違反件数 (件) | 90 120 | 75% | 75% | B |

$$90 \div 120 \times 100(\%) = 75\%$$

【平均指標達成率の計算方法】

指標達成率の平均値 [小数点以下切り捨て]

*指標達成率の値が 100%以上の場合は、100%として計算

*指標達成率の値が “-” の場合は、平均指標達成率の計算から除外する。

| No | 戦略項目 ・対象事業 «担当課» | 指標項目 (単位) | R1 (2019) | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
|----------------|-------------------------|---------------|--------------|-----------|-----------------|----|
| | | | 計画値 | | | |
| 1 | 〇〇の推進 ・△△事業 «△△課» | △△事業 参加人数 (人) | 200 | 90% | 88% | B |
| | | | 180 | | | |
| | ・□□事業 «□□課» | □□規制 違反件数 (件) | 90 | 75% | | |
| 120 | | | | | | |
| ・◎◎事業 «◎◎課» | ◎◎事業 認定数 (件) | 50 | 150% | | | |
| | | 75 | | | | |

$$(90\% + 75\% + 100\%) \div 3 = 88\%$$

重点戦略

1 オール浜松で地域産業を盛り上げる

評価結果

B

指標達成率の
平均

91%

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| No. | 施策 | 指標達成率 | 評価 |
|-----|---|-------|----|
| 1 | 既存中小企業の経営体質の強化 | 69% | B |
| 2 | 成長産業分野の高度化・高付加価値化の推進 | 100% | A |
| 3 | 中小企業振興基本条例の施行を契機とした事業継続・承継の支援 | 82% | B |
| 4 | 中小企業の固有技術を生かした次世代自動車産業の活性化 | 100% | A |
| 5 | 「光・電子技術を活用した未来創生ビジョン」の実現 | 100% | A |
| 6 | 中小企業の海外進出と海外販路開拓支援 | 40% | C |
| 7 | 次代を担う起業家の育成（法人の開業数を2022年度までの4年間で3,400件とする。） | — | — |
| 8 | ベンチャー企業に投資しやすい環境の整備 | — | — |
| 9 | IT人材の育成支援 | 100% | A |
| 10 | 首都圏等からのベンチャー企業誘致による新たな産業の活性化 | 100% | A |
| 11 | 新たな大規模工場用地の整備 | 100% | A |
| 12 | トップセールスや立地支援による戦略的な企業誘致により2022年度までの4年間で80件を新規立地 | 100% | A |
| 13 | 企業誘致による雇用の拡大と税収増、新たなサプライチェーンの構築 | 100% | A |
| 14 | 女性、障がい者等多様な人材の就労支援 | 100% | A |
| 15 | UIターン就職の支援 | 100% | A |
| 16 | 外国人留学生のインターンシップコーディネートの実施 | 48% | C |
| 17 | 障がい者を含む誰もが参画できるユニバーサル農業の推進 | 59% | C |
| 18 | 仕事と生活の調和がとれる職場環境づくりの支援 | 42% | C |
| 19 | 高齢者継続雇用の促進 | 100% | A |
| 20 | シルバー人材センターとの連携強化 | 98% | B |
| 21 | 地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活動支援と健康づくりの普及推進 | 100% | A |
| 22 | 自宅等で簡単にできる軽い運動「ロコモーショントレーニング」の普及拡大 | 100% | A |
| 23 | ボランティア活動や介護予防活動を行った人に対してポイントを付与する「ささえあいポイント事業」の普及推進 | 95% | B |
| 24 | シニアクラブによる地域づくり活動の支援 | 75% | B |
| 25 | アクティブ・シニア講座の充実 | 88% | B |
| 26 | 高齢者に対する情報提供や相談窓口の設置 | 100% | A |
| 27 | 市民文化創造拠点施設整備の推進 | 100% | A |
| 28 | ITやクリエイティブ産業などの都市型産業の集積と雇用創出 | 100% | A |

| No. | 施策 | 指標達成率 | 評価 |
|-----|---|-------|----|
| 29 | 都心への居住促進 | 97% | B |
| 30 | リノベーション（再生事業）による空き店舗などの再生と活性化 | 100% | A |
| 31 | 新川モール等の公共空間及び遊休不動産の利活用による賑わいと憩い空間の創出 | 100% | A |
| 32 | 安全安心な通行を妨げる繁華街の客引き行為等の対策のための条例を2020年4月施行に向け制定 | 100% | A |
| 33 | 官民連携による浜名湖観光圏の整備推進 | — | — |
| 34 | 世界水準を目指すDMO（Destination Management Organization）の体制強化 | — | — |
| 35 | 浜名湖周遊ルート等自転車走行空間の整備 | 85% | B |
| 36 | 東アジア及びASEANからのインバウンドの拡大 | — | — |
| 37 | 欧米豪など新市場の開拓 | — | — |
| 38 | 国際会議の誘致強化 | 100% | A |
| 39 | 「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」の活用 | 92% | B |
| 40 | 世界の創造都市と連携した響きの創造プロジェクト（2020文化プログラム）の推進 | 45% | C |
| 41 | 大規模スポーツ大会、スポーツイベント、合宿誘致の推進 | 100% | A |
| 42 | 多様な企業や人材、媒体などをフル活用した創造的かつ戦略的なシティプロモーションの推進 | 95% | B |
| 43 | 家康公浜松城築城450年（2020年）を活用した「出世の街 浜松」の全国発信 | 95% | B |
| 44 | 映画、テレビ、CMなどのフィルムコミッションの推進 | 100% | A |
| 45 | 浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を核とした地産地消・ブランド化の推進 | 100% | A |
| 46 | 農業経営意識の醸成と他分野との連携促進 | 96% | B |
| 47 | 認定農業者及び認定新規就農者の育成支援と生産力の強化 | 100% | A |
| 48 | 農業用水利施設の長寿命化と耐震対策 | 100% | A |
| 49 | 農地の集積・集約など安定した農地確保の支援 | 90% | B |
| 50 | 1億円以上を稼ぐ経営体を2022年度までに80経営体育成 | — | — |
| 51 | 東京オリパラ関係施設をはじめとする天竜材の地産外商 | — | — |
| 52 | FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林経営 | 100% | A |
| 53 | 市が仲介役となり森林所有者と林業経営者をつなぐ「新たな森林管理システム」の円滑な運用 | 100% | A |
| 54 | 森林環境譲与税（仮称）を活用した大都市圏での天竜材利用促進など都市間連携の推進 | 100% | A |
| 55 | 県営舞坂漁港の機能保全等と市営村櫛漁港の施設整備 | 84% | B |
| 56 | 持続可能な水産業に向けた養殖業等の振興 | 100% | A |
| 57 | 浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を核とした地産地消・ブランド化の推進（再掲） | 100% | A |

参考資料（戦略項目評価）

| ○テーマ | | | | | | |
|--------------------------------|---|-----------------------------|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目（単位） | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ① 既存産業の持続的発展・高度化と新産業の創出 | | | | | | |
| 1 | 既存中小企業の経営体質の強化 | | | | | |
| | ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 | 粗付加価値額【従業者4人以上の事業所】（千万円） | 92,953 R2.12頃確定 | — | 69% | B |
| | ・中小企業金融支援事業 《産業総務課》 | 新規融資額（千円） | 1,500,000 1,043,950 | 69% | | |
| 2 | 成長産業分野の高度化・高付加価値化の推進 | | | | | |
| | ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 | 新技術・新製品開発などの事業化件数（件） | 35 46 | 131% | 100% | A |
| 3 | 中小企業振興基本条例の施行を契機とした事業継続・承継の支援 | | | | | |
| | ・中小企業活性化支援事業 《産業総務課》 | 事業承継相談の件数（R1～累計）（件） | 50 41 | 82% | 82% | B |
| 4 | 中小企業の固有技術を生かした次世代自動車産業の活性化 | | | | | |
| | ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 | 電動化への取組社数（社） | 10 23 | 230% | 100% | A |
| 5 | 「光・電子技術を活用した未来創生ビジョン」の実現 | | | | | |
| | ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 | 産学官金連携による新事業プロジェクト件数（件） | 5 6 | 120% | 100% | A |
| 6 | 中小企業の海外進出と海外販路開拓支援 | | | | | |
| | ・海外ビジネス展開支援事業 《産業振興課》 | 見本市出展企業の成約件数（件） | 25 10 | 40% | 40% | C |
| ② 「浜松バレー」構想の実現（ベンチャー支援） | | | | | | |
| 7 | 次代を担う起業家の育成（法人の開業数を2022年度までの4年間で3,400件とする。） | | | | | |
| | ・創業支援事業 《産業振興課》 | 法人開業件数（R1～累計）（件） | 850 R2.9頃確定 | — | — | — |
| 8 | ベンチャー企業に投資しやすい環境の整備 | | | | | |
| | ・創業支援事業 《産業振興課》 | 市内企業に対するベンチャーキャピタルの投資額（百万円） | 190 R2.8頃確定 | — | — | — |
| 9 | IT人材の育成支援 | | | | | |
| | ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 | 受講生と企業のマッチング成功件数（件） | 20 21 | 105% | 100% | A |
| 10 | 首都圏等からのベンチャー企業誘致による新たな産業の活性化 | | | | | |
| | ・首都圏ビジネス情報センター事業 《産業振興課》 | 企業、大学等の訪問件数（件） | 350 563 | 160% | 100% | A |

| ○テーマ | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ③ ポテンシャルを活かした企業誘致の推進 | | | | | | |
| 11 | 新たな大規模工場用地の整備 | | | | | |
| | ・新・産業集積エリア整備事業 (工場用地開発事業) <<企業立地推進課>> | 分譲面積に占める売却済み面積の割合 (%) | 88 88 | 100% | 100% | A |
| | | 工場用地開発面積 (R1～累計) (ha) | 15 35 | 233% | | |
| 12 | トップセールスや立地支援による戦略的な企業誘致により2022年度までの4年間で80件を新規立地 | | | | | |
| | ・企業立地推進事業 <<企業立地推進課>> | 企業立地決定件数 (H27～累計) (件) | 116 130 | 112% | 100% | A |
| 13 | 企業誘致による雇用の拡大と税収増、新たなサプライチェーンの構築 | | | | | |
| | ・企業立地推進事業 <<企業立地推進課>> | 立地企業の新規雇用人数 (R1～累計) (人) | 150 365 | 243% | 100% | A |
| ④ 多様な人材が活躍できる雇用環境の整備 | | | | | | |
| 14 | 女性、障がい者等多様な人材の就労支援 | | | | | |
| | ・雇用促進事業 <<産業総務課>> | 女性就労支援事業に係るセミナー等参加者の就業率 (%) | 50 53 | 106% | 100% | A |
| 15 | UIJターン就職の支援 | | | | | |
| | ・雇用促進事業 <<産業総務課>> | マッチングアドバイザー派遣事業に係る内定者数 (人) | 40 134 | 335% | 100% | A |
| 16 | 外国人留学生のインターンシップコーディネートの実施 | | | | | |
| | ・雇用促進事業 <<産業総務課>> | インターンシップコーディネート事業に係る外国人留学生のインターンシップフェア参加者数 (人) | 35 17 | 48% | 48% | C |
| 17 | 障がい者を含む誰もが参画できるユニバーサル農業の推進 | | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 <<農業水産課>> | ユニバーサル農業シンポジウム参加者数 (H30～累計) (人) | 170 101 | 59% | 59% | C |
| 18 | 仕事と生活の調和がとれる職場環境づくりの支援 | | | | | |
| | ・ワーク・ライフ・バランス推進事業 <<UD・男女共同参画課>> | ワーク・ライフ・バランス等アドバイザー派遣事業所数 (社) | 7 3 | 42% | 42% | C |
| ⑤ 「70歳現役都市・浜松」の推進 | | | | | | |
| 19 | 高齢者継続雇用の促進 | | | | | |
| | ・雇用促進事業 <<産業総務課>> | 高齢者活躍宣言事業所認定事業に係る認定事業所数 (件) | 30 52 | 173% | 100% | A |
| 20 | シルバー人材センターとの連携強化 | | | | | |
| | ・シルバー人材センター支援事業 <<高齢者福祉課>> | シルバー人材センター会員数 (人) | 4,500 4,575 | 101% | 98% | B |
| | | 会員の就業率 (%) | 80 77.8 | 97% | | |

| ○テーマ | | | | | | | | | |
|--|---|-----------------------------|--|------------------|-----------------|------|---|-----|--|
| No | 戦略項目 | | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | | | |
| 21 | 地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活動支援と健康づくりの普及推進 | ・介護保険事業 《健康増進課》 | 市民いきいきトレーナー登録数（人） | 130 149 | 114% | 100% | A | | |
| | | | | | | | | | |
| 22 | 自宅等で簡単にできる軽い運動「ロコモーショントレーニング」の普及拡大 | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | ロコモーショントレーニング事業への参加者数（人） | 15,000 15,151 | 101% | 100% | A | | |
| | | | | | | | | | |
| 23 | ボランティア活動や介護予防活動を行った人に対してポイントを付与する「ささえあいポイント事業」の普及推進 | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | ささえあいポイント事業のボランティア登録人数（人） | 4,400 4,186 | 95% | 95% | B | | |
| | | | | | | | | | |
| 24 | シニアクラブによる地域づくり活動の支援 | ・シニアクラブ支援事業 《高齢者福祉課》 | シニアクラブ加入者率（%） | 10 8.3 | 83% | 75% | B | | |
| | | | シルバーサポーター派遣回数（回） | 170 114 | | | | 67% | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 25 | アクティブ・シニア講座※の充実 | ・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》 | アクティブ・シニア講座※受講者数（人） | 12,000 10,584 | 88% | 88% | B | | |
| | | | | | | | | | |
| ※アクティブ・シニア講座：地域の人々の生きがいがづくりの推進による「70歳現役都市」の実現を目指し、現代的課題についての学習機会を提供するもの。 | | | | | | | | | |
| 26 | 高齢者に対する情報提供や相談窓口の設置 | ・地域福祉推進事業 《福祉総務課》 | 相談窓口における高齢者の「いきがい相談」に関する相談件数（件） | 50 560 | 1120% | 100% | A | | |
| | | | | | | | | | |
| ⑥ 創造都市・浜松の顔づくり（中心市街地の活性化） | | | | | | | | | |
| 27 | 市民文化創造拠点施設整備の推進 | ・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》 | 調査・検討 | 発掘調査 発掘調査 | 100% | 100% | A | | |
| | | | R1～ 元城小学校跡地埋蔵文化財発掘調査 R5～R6 整備の在り方検討 | | | | | | |
| 28 | ITやクリエイティブ産業などの都市型産業の集積と雇用創出 | ・都心機能集積支援事業 《産業振興課》 | オフィス開設費用助成件数（件） | 3 3 | 100% | 100% | A | | |
| | | | | | | | | | |
| 29 | 都心への居住促進 | ・市街地再開発組合支援事業 《市街地整備課》 | 旭・板屋A地区の進捗率（%） | 100 97 | 97% | 97% | B | | |
| | | | | | | | | | |
| 30 | リノベーション（再生事業）による空き店舗などの再生と活性化 | ・都市機能更新促進事業 《市街地整備課》 | リノベーションスクールの検討戸数（戸） | 19 22 | 115% | 100% | A | | |
| | | | | | | | | | |
| 31 | 新川モール等の公共空間及び遊休不動産の利活用による賑わいと憩い空間の創出 | ・都心機能集積支援事業 《産業振興課》 | 新川モール整備進捗率（%） | 25 25 | 100% | 100% | A | | |
| | | | | | | | | | |

| ○テーマ | | | | | | |
|--|---|---------------------------------|--------------------|-----------------|------|----------------|
| No | 戦略項目 | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
| | | | | | | ・対象事業 《担当課》 |
| 32 | 安全安心な通行を妨げる繁華街の客引き行為等の対策のための条例を2020年4月施行に向け制定 | | | | | |
| | ・市民安全対策事業 《市民生活課》 | 客引き行為等※の禁止区域内で客引き行為等をする者の人数 (人) | — | — | 100% | A |
| | ・都市機能更新促進事業 《市街地整備課》 | リノベーションスクールの検討戸数 (戸) | 19 22 | 115% | | |
| ⑦ 浜名湖を核とした観光地域づくりの推進 | | | | | | |
| 33 | 官民連携による浜名湖観光圏の整備推進 | | | | | |
| | ・観光客誘致事業 《観光・シティプロモーション課》 | 観光交流客数 (千人) | 23,700 R2.10頃確定 | — | — | — |
| 34 | 世界水準を目指すDMO (Destination Management Organization) の体制強化 | | | | | |
| | ・浜松・浜名湖DMO形成支援事業 《観光・シティプロモーション課》 | 一人当たり旅行消費額 (円) | 23,200 R2.10頃確定 | — | — | — |
| 35 | 浜名湖周遊ルート等自転車走行空間の整備 | | | | | |
| | ・交通安全施設等整備・修繕事業 《道路企画課》 | 自転車走行空間等整備率 (%) | 70 60 | 85% | 85% | B |
| R1～R4：自転車走行空間整備工事 | | | | | | |
| ⑧ 訪日外国人観光客の誘致強化 | | | | | | |
| 36 | 東アジア及びASEANからのインバウンドの拡大 | | | | | |
| | ・海外戦略推進事業 《観光・シティプロモーション課》 | 外国人宿泊客数 (千人) | 360 R2.10頃確定 | — | — | — |
| 37 | 欧米豪など新市場の開拓 | | | | | |
| | ・海外戦略推進事業 《観光・シティプロモーション課》 | 欧米豪からの外国人宿泊客数 (千人) | 36 R2.10頃確定 | — | — | — |
| 38 | 国際会議の誘致強化 | | | | | |
| | ・MICE推進事業 《観光・シティプロモーション課》 | 国際会議等誘致件数 (件) | 5 8 | 160% | 100% | A |
| 39 | 「農泊 食文化海外発信地域 (SAVOR JAPAN) ※」の活用 | | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 農林漁業体験プログラム数 (件) | 57 53 | 92% | 92% | B |
| ※農泊 食文化海外発信地域 (SAVOR JAPAN)：地域の食と、それを生み出す農林水産業を核として訪日外国人を中心とした観光客の誘致を図る地域での取組。 | | | | | | |
| 40 | 世界の創造都市と連携した響きの創造プロジェクト (2020文化プログラム) の推進 | | | | | |
| | ・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》 | イベント参加者数 (人) | 5,000 2,265 | 45% | 45% | C |
| 41 | 大規模スポーツ大会、スポーツイベント、合宿誘致の推進 | | | | | |
| | ・大型スポーツイベント等誘致事業 《スポーツ振興課》 | 事前合宿、スポーツイベント等誘致数 (件) | 10 20 | 200% | 100% | A |

| ○テーマ | | | | | | |
|------------------------------------|--|---------------------------------------|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ⑨ 戦略的シティプロモーションの推進 | | | | | | |
| 42 | 多様な企業や人材、媒体などをフル活用した創造的かつ戦略的なシティプロモーションの推進 | | | | | |
| | ・シティプロモーション事業 《観光・シティプロモーション課》 | 浜松市の魅力度 (位) | 42 44 | 95% | 95% | B |
| 43 | 家康公浜松城築城450年(2020年)を活用した「出世の街 浜松」の全国発信 | | | | | |
| | ・シティプロモーション事業 《観光・シティプロモーション課》 | 浜松市の魅力度 (位) | 42 44 | 95% | 95% | B |
| 44 | 映画、テレビ、CMなどのフィルムコミッションの推進 | | | | | |
| | ・観光宣伝事業 《観光・シティプロモーション課》 | 撮影支援件数 (件) | 190 206 | 108% | 100% | A |
| ⑩ もうかる農業の実現 | | | | | | |
| 45 | 浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を核とした地産地消・ブランド化の推進 | | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 浜松パワーフード宣言・応援宣言認定事業者 (H30～累計) (事業者) | 100 113 | 113% | 100% | A |
| 46 | 農業経営意識の醸成と他分野との連携促進 | | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 浜松市未来を拓く農林業業育成事業費補助金申請件数 (H27～累計) (件) | 100 96 | 96% | 96% | B |
| 47 | 認定農業者及び認定新規就農者の育成支援と生産力の強化 | | | | | |
| | ・担い手育成支援事業 《農業振興課》 | 認定農業者及び認定新規就農者の新規認定件数 (経営体) | 86 96 | 111% | 100% | A |
| 48 | 農業用水利施設の長寿命化と耐震対策 | | | | | |
| | ・国・県施行事業 (負担金) 《農地整備課》 | 農業用水利施設の長寿命化・耐震対策実施箇所数 (箇所) | 21/39 21/39 | 100% | 100% | A |
| 49 | 農地の集積・集約など安定した農地確保の支援 | | | | | |
| | ・農地の確保と有効利用事業 《農地利用課》 | 担い手への農地集積率 (%) | 38 32 | 84% | 90% | B |
| | ・優良農地の確保推進事業 《農業委員会事務局》 | 農地の貸し借り面積 (ha) | 1,550 1,518 | 97% | | |
| 50 | 1億円以上を稼ぐ経営体を2022年度までに80経営体育成 | | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 売上1億円以上の経営体 (経営体) | 64 - | - | - | - |
| ⑪ 天竜材を世界にセールス ブランド力の強化と流通拡大 | | | | | | |
| 51 | 東京オリパラ関係施設をはじめとする天竜材の地産外銷 | | | | | |
| | ・木材需要拡大事業 《林業振興課》 | FSC認証材生産量 (m ³ /年) | 103,000 R2.9頃確定 | - | - | - |
| 52 | FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林経営 | | | | | |
| | ・森林管理事業 《林業振興課》 | FSC森林認証面積 (ha) | 45,500 48,542 | 106% | 100% | A |

| ○テーマ | | | | | | |
|------|--|---|---------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | | R1 (2019) 計画値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| | ・対象事業 《担当課》 | 指標項目(単位) | 実績値 | | | |
| 53 | 市が仲介役となり森林所有者と林業経営者をつなぐ「新たな森林管理システム」の円滑な運用 | | | | | |
| | ・森林経営管理推進事業 《林業振興課》 | 森林経営計画 認定面積 (H24～累計) (ha) | 18,400 21,083 | 114% | 100% | A |
| 54 | 森林環境譲与税(仮称)を活用した大都市圏での天童材利用促進など都市間連携の推進 | | | | | |
| | ・木材需要拡大事業 《林業振興課》 | 連携数(都市・団体) | 4 5 | 125% | 100% | A |
| ⑫ | 遠州灘から浜名湖まで 多彩な水産資源で元気な漁業の実現 | | | | | |
| 55 | 県営舞坂漁港の機能保全等と市営村櫛漁港の施設整備 | | | | | |
| | ・漁港管理事業 《農業水産課》 | 村櫛漁港整備進捗率(%) | 95 80 | 84% | 84% | B |
| 56 | 持続可能な水産業に向けた養殖業等の振興 | | | | | |
| | ・水産業振興事業 《農業水産課》 | 水産業協同組合の年間取扱 高(百万円) | 8,704 8,712 | 100% | 100% | A |
| 57 | 浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を核とした地産地消・ブランド化の推進(再掲) | | | | | |
| | ・水産業振興事業 《農業水産課》 | 浜松パワーフード宣言・応 援宣言認定事業者(H30～ 累計)(事業者) | 100 113 | 113% | 100% | A |

重点戦略

2 子育てから教育まで 続「子ども第一主義」

評価結果

B

指標達成率の
平均

93%

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| No. | 施策 | 指標達成率 | 評価 |
|-----|--|-------|----|
| 58 | 保育所等の定員を2022年度までの4年間で2,200人拡充 | 100% | A |
| 59 | 放課後児童会の定員を2022年度までの4年間で1,200人拡充 | 76% | B |
| 60 | AIなどを活用した幼児教育・保育施設の利用等に関する情報提供サービスの充実 | 100% | A |
| 61 | 幼児教育・保育施設における保育環境の充実 | 100% | A |
| 62 | 児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応の強化 | 100% | A |
| 63 | 家庭養育推進のための里親・ファミリーホームの充実 | 92% | B |
| 64 | 社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者への支援体制の充実 | 98% | B |
| 65 | 地域でささえ合い多世代が交流できる新たな子育て支援ひろばの設置 | 100% | A |
| 66 | 教育に関する相談体制の充実 | 100% | A |
| 67 | 教員以外の専門的人材の活用による「チーム学校」の体制整備 | 100% | A |
| 68 | いじめ防止対策の強化 | 100% | A |
| 69 | 保育所等の定員を2022年度までの4年間で2,200人拡充（再掲） | 100% | A |
| 70 | 放課後児童会の定員を2022年度までの4年間で1,200人拡充（再掲） | 76% | B |
| 71 | 仕事と生活の調和がとれる職場環境づくりの支援（再掲） | 42% | C |
| 72 | ひとり親家庭等の自立支援の推進 | 85% | B |
| 73 | こどもを産み育てやすい環境づくりに向けた産後ケア事業の推進 | 100% | A |
| 74 | コミュニティ・スクールの推進 | 100% | A |
| 75 | 地域愛を育む教育の実践 | 100% | A |
| 76 | ITキッズプロジェクトの充実（再掲） | 100% | A |
| 77 | キャリア教育の推進 | 100% | A |
| 78 | プログラミング学習など情報化社会に対応した教育の充実 | 100% | A |
| 79 | ITキッズプロジェクトの充実（再掲） | 100% | A |
| 80 | 英語や多文化共生教育の充実 | 100% | A |
| 81 | 発達に課題のあるこどもたちや心身に障がいのあるこどもたちへのきめ細かな支援の推進 | 97% | B |
| 82 | 不登校児童生徒への支援の充実 | 98% | B |
| 83 | 外国人の子どもの不就学ゼロ作戦の推進 | 49% | C |
| 84 | 学校施設の計画的な改修・更新 | 100% | A |
| 85 | 小中学校普通教室へのエアコンを2020年度までに整備 | 100% | A |
| 86 | こどもたちの見守り体制の強化 | 100% | A |
| 87 | 通学路整備の推進 | 100% | A |
| 88 | 学校における働き方改革の推進 | 97% | B |
| 89 | 指導員・支援員等の配置拡充 | 99% | B |
| 90 | 学校給食費への公会計の導入 | 100% | A |
| 91 | 教職員の資質・能力の向上 | 100% | A |
| 92 | 少人数指導の充実 | 100% | A |
| 93 | 幼稚園や保育所等における幼児教育・保育の質や機能性の向上 | 100% | A |
| 94 | 幼児教育・保育の無償化への対応 | 100% | A |
| 95 | 高校生世代への医療費助成を2019年10月より実施 | 100% | A |
| 96 | 高校生を対象とした講演の実施 | 53% | C |

参考資料（戦略項目評価）

| ○テーマ | | | | | | |
|--------------------------|---------------------------------------|--|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目（単位） | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ① 待機児童の解消 | | | | | | |
| 58 | 保育所等の定員を2022年度までの4年間で2,200人拡充 | | | | | |
| | ・私立保育所等助成事業 《幼児教育・保育課》 | 保育施設※の定員増数 (対H30比較累計) (人) | 550 550 | 100% | 100% | A |
| ※保育施設：認定こども園、保育所、地域型保育事業 | | | | | | |
| 59 | 放課後児童会の定員を2022年度までの4年間で1,200人拡充 | | | | | |
| | ・放課後児童会健全育成事業 《教育総務課》 | 放課後児童会の定員増数 (対H30比較累計) (人) | 300 228 | 76% | 76% | B |
| 60 | AIなどを活用した幼児教育・保育施設の利用等に関する情報提供サービスの充実 | | | | | |
| | ・保育事業運営経費 《幼児教育・保育課》 | AIを活用した保育施設入所 選考の検討 | 実証実験 実証実験 | 100% | 100% | A |
| 61 | 幼児教育・保育施設における保育環境の充実 | | | | | |
| | ・市立保育所管理運営事業 《幼児教育・保育課》 | 施設長寿命化工事の実施 (R1～累計) (件) | 5 5 | 100% | 100% | A |
| | ・市立幼稚園施設整備事業 《幼児教育・保育課》 | 施設長寿命化工事の実施 (R1～累計) (件) | 6 6 | 100% | | |
| ② 相談・支援体制の充実・強化 | | | | | | |
| 62 | 児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応の強化 | | | | | |
| | ・児童保護事業 《児童相談所》 | 研修に参加した回数 (回) | 40 45 | 112% | 100% | A |
| 63 | 家庭養育推進のための里親・ファミリーホームの充実 | | | | | |
| | ・社会的養護推進事業 《児童相談所》 | 里親登録数 (組) | 102 94 | 92% | 92% | B |
| 64 | 社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者への支援体制の充実 | | | | | |
| | ・子ども・若者サポート事業 《次世代育成課》 | 若者相談支援窓口「わか ば」新規相談の内、専門機 関へとつなげたり、傾聴・ 助言等により一定の解決に 至った割合 (%) | 85 84 | 98% | 98% | B |
| 65 | 地域でささえ合い多世代が交流できる新たな子育て支援ひろばの設置 | | | | | |
| | ・子育て家庭支援事業 《子育て支援課》 | 多世代交流している子育て 支援ひろばの設置割合 (%) | 80 80 | 100% | 100% | A |
| 66 | 教育に関する相談体制の充実 | | | | | |
| | ・教育相談推進事業 《指導課》 | スクールカウンセラーの配 置数 (人工) | 66 66 | 100% | 100% | A |

| ○テーマ | | | | | | |
|---|--------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| 67 | 教員以外の専門的人材の活用による「チーム学校」の体制整備 | | | | | |
| | ・生徒指導事業 《指導課》 | スクールソーシャルワーカーの配置数 (人工) | 12 12 | 100% | 100% | A |
| 68 | いじめ防止対策の強化 | | | | | |
| | ・教育相談推進事業 《指導課》 | スクールカウンセラーの配置数 (人工) | 66 66 | 100% | 100% | A |
| | ・生徒指導事業 《指導課》 | スクールソーシャルワーカーの配置数 (人工) | 12 12 | 100% | | |
| ③ 仕事と子育ての両立支援 | | | | | | |
| 69 | 保育所等の定員を2022年度までの4年間で2,200人拡充 (再掲) | | | | | |
| | ・私立保育所等助成事業 《幼児教育・保育課》 | 保育施設※の定員増数 (対H30比較累計) (人) | 550 550 | 100% | 100% | A |
| ※保育施設：認定こども園、保育所、地域型保育事業 | | | | | | |
| 70 | 放課後児童会の定員を2022年度までの4年間で1,200人拡充 (再掲) | | | | | |
| | ・放課後児童会健全育成事業 《教育総務課》 | 放課後児童会の定員増数 (対H30比較累計) (人) | 300 228 | 76% | 76% | B |
| 71 | 仕事と生活の調和がとれる職場環境づくりの支援 (再掲) | | | | | |
| | ・ワーク・ライフ・バランス推進事業 《UD・男女共同参画課》 | ワーク・ライフ・バランス等アドバイザー派遣事業所数 (社) | 7 3 | 42% | 42% | C |
| 72 | ひとり親家庭等の自立支援の推進 | | | | | |
| | ・ひとり親家庭等支援事業 《子育て支援課》 | 高等職業訓練促進給付金修了者の就職率 (%) | 100 85.7 | 85% | 85% | B |
| 73 | 子どもを産み育てやすい環境づくりに向けた産後ケア事業の推進 | | | | | |
| | ・子育て家庭支援事業 《子育て支援課》 | 産後ケア事業利用者数 (人) | 480 771 | 160% | 100% | A |
| ④ 市民協働による人づくり | | | | | | |
| 74 | コミュニティ・スクールの推進 | | | | | |
| | ・コミュニティ・スクール推進事業 《教育総務課》 | 学校運営協議会制度 (コミュニティ・スクール) の導入校数 (校) | 24 24 | 100% | 100% | A |
| 75 | 地域愛を育む教育の実践 | | | | | |
| | ・やらまいか教育推進事業 《指導課》 | やらまいか教育推進事業を実施する学校数 (H29～累計) (校) | 50 55 | 110% | 100% | A |
| 76 | ITキッズプロジェクト※の充実 (再掲) | | | | | |
| | ・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》 | ITキッズプロジェクト※の対象拡充 (対象) | 小3～中3 小3～中3 | 100% | 100% | A |
| ※ITキッズプロジェクト：体験型・実践型の課外講座の開催を通じ、こどもの科学に対する好奇心、探究心を高めるとともに、地域産業の発展に寄与する優れた技術者を育てるもの。 | | | | | | |

| ○テーマ | | | | | | |
|--|--|----------------------------|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ⑤ 社会の変化に対応する学力の育成 | | | | | | |
| 77 | キャリア教育※の推進 | | | | | |
| | ・対象事業 《担当課》 | 全校への計画訪問による指導実施率 (%) | 100 100 | 100% | 100% | A |
| ※キャリア教育：こども一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な力を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を表現していくための教育。 | | | | | | |
| 78 | プログラミング学習など情報化社会に対応した教育の充実 | | | | | |
| | ・学校情報技術環境整備事業 《教育施設課》 | ICT支援員活用校率 (%) | 13 14 | 107% | 100% | A |
| 79 | ITキッズプロジェクト※の充実 (再掲) | | | | | |
| | ・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》 | ITキッズプロジェクト※の対象拡充 (対象) | 小3～中3 小3～中3 | 100% | 100% | A |
| ※ITキッズプロジェクト：体験型・実践型の課外講座の開催を通じ、こどもの科学に対する好奇心、探究心を高めるとともに、地域産業の発展に寄与する優れた技術者を育てるもの。 | | | | | | |
| 80 | 英語や多文化共生教育の充実 | | | | | |
| | ・生きた英語力育成事業 《指導課》 | ALTの人数 (人) | 60 60 | 100% | 100% | A |
| ⑥ 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進 | | | | | | |
| 81 | 発達に課題のあるこどもたちや心身に障がいのあるこどもたちへのきめ細かな支援の推進 | | | | | |
| | ・発達支援教育指導員等配置事業《教職員課》 | 発達支援教室数 (教室) | 92 92 | 100% | | |
| | ・発達支援教育推進事業 《指導課》 | 発達支援学級数 (教室) | 321 322 | 100% | 97% | B |
| | ・市立幼稚園教職員管理事業 《幼児教育・保育課》 | 障がい児在籍学級キッズサポーターの配置数 (人) | 130 121 | 93% | | |
| 82 | 不登校児童生徒への支援の充実 | | | | | |
| | ・不登校児支援推進事業 《指導課》 | 校内適応指導教室における児童生徒の改善率 (%) | 66 65 | 98% | 98% | B |
| 83 | 外国人の子どもの不就学ゼロ作戦の推進 | | | | | |
| | ・多文化共生推進事業 《国際課》 | 定住外国人の子どもの不就学者数 (人) | 0 4 | 0% | | |
| | ・外国人子ども教育支援推進事業 《指導課》 | 日本語指導を必要とする児童生徒への支援達成率 (%) | 100 99 | 99% | 49% | C |

| ○テーマ | | | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ⑦ 安全・安心な教育環境の構築 | | | | | | |
| 84 | 学校施設の計画的な改修・更新 | | | | | |
| | ・小学校建設事業、中学校建設事業 《教育施設課》 | 整備校数（校） | 2 2 | 100% | 100% | A |
| 85 | 小中学校普通教室へのエアコンを2020年度までに整備 | | | | | |
| | ・学校施設整備事業 《教育施設課》 | 設置完了校率（%） | 43 43 | 100% | 100% | A |
| 86 | こどもたちの見守り体制の強化 | | | | | |
| | ・学校安全事業 《健康安全課》 | 見守りボランティアへの登録者数（人） | 350 483 | 138% | 100% | A |
| 87 | 通学路整備の推進 | | | | | |
| | ・交通安全施設等整備・修繕事業 《道路企画課》 | 通学路整備要望対応率（%） | 60 60 | 100% | 100% | A |
| ⑧ 学びを支える教育環境づくり | | | | | | |
| 88 | 学校における働き方改革の推進 | | | | | |
| | ・教育総合計画推進事業 《教育総務課》 | 学校における働き方改革のための業務改善方針の策定 | 運用・改訂 運用・改訂 | 100% | | |
| | ・教職員管理事業 《教職員課》 | 校務アシスタントの配置数（人） | 146 146 | 100% | 97% | B |
| | ・部活動等推進事業 《指導課》 | 部活動指導員の配置人数（人） | 40 37 | 92% | | |
| 89 | 指導員・支援員等の配置拡充 | | | | | |
| | ・学校教育指導支援員配置事業 《教職員課》 | 配置数（人） | 257 254 | 98% | | |
| | ・理科支援員配置事業 《指導課》 | 理科支援員の活用率（%） | 100 100 | 100% | 99% | B |
| 90 | 学校給食費への公会計の導入 | | | | | |
| | ・健康安全運営経費 《健康安全課》 | 公会計化導入に向けた進捗状況 | 課題整理 ・制度設計 課題整理 ・制度設計 | 100% | 100% | A |
| 91 | 教職員の資質・能力の向上 | | | | | |
| | ・教職員研修事業 《教育センター》 | 研修参加者の満足度（%） | 85 85 | 100% | 100% | A |
| 92 | 少人数指導の充実 | | | | | |
| | ・教職員管理事業 《教職員課》 | はまつ式少人数学級※対応講師の必要な小学校への配置率（%） | 100 100 | 100% | 100% | A |
| ※はまつ式少人数学級：小学校1・2・3年生を対象に、30人学級編制を実施。 | | | | | | |

| ○テーマ | | | | | | |
|------------------|-------------------------------|-----------------------|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| 93 | 幼稚園や保育所等における幼児教育・保育の質や機能性の向上 | | | | | |
| | ・市立保育所管理運営事業 ≪幼児教育・保育課≫ | 園内外職員研修の参加延人数 (人) | 3,800 3,843 | 101% | 100% | A |
| | ・市立幼稚園教職員管理事業 ≪幼児教育・保育課≫ | 園内外職員研修の参加延人数 (人) | 5,900 5,986 | 101% | | |
| 94 | 幼児教育・保育の無償化への対応 | | | | | |
| | ・幼児教育・保育無償化関連事業 ≪幼児教育・保育課≫ | 国制度に基づく幼児教育・保育の無償化の実施 | 実施 (10月～) 実施 | 100% | 100% | A |
| ⑨ 将来を担う高校生の育成・支援 | | | | | | |
| 95 | 高校生世代への医療費助成を2019年10月より実施 | | | | | |
| | ・家庭福祉支援事業 ≪子育て支援課≫ | 高校生世代医療費助成の実施 | 実施 実施 | 100% | 100% | A |
| 96 | 高校生を対象とした講演の実施 | | | | | |
| | ・政策調整事業 ≪秘書課≫ | 講演の実施高校数 (校) | 15 8 | 53% | 53% | C |

重点戦略

3 実感！健康寿命日本一

評価結果

B

指標達成率の
平均

93%

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| No. | 施策 | 指標達成率 | 評価 |
|-----|---|-------|----|
| 97 | 地域包括支援センターの相談支援体制の充実 | 100% | A |
| 98 | 在宅医療・介護連携相談支援センターの充実 | 100% | A |
| 99 | 認知症の本人・家族に対する支援の推進 | 77% | B |
| 100 | 認知症対応型共同生活介護施設の床数を2022年度までの4年間で108床拡充 | 99% | B |
| 101 | 人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発 | 60% | B |
| 102 | 食de元気応援店を2022年度までに300店に拡充 | 100% | A |
| 103 | 健康増進団体を2022年度までに100団体認証 | 100% | A |
| 104 | 地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活動支援と健康づくりの普及推進（再掲） | 100% | A |
| 105 | 健康づくりに関する情報発信の一元化 | 82% | B |
| 106 | 地区社会福祉協議会の設立・活動推進 | 94% | B |
| 107 | 地域ボランティアコーナーによる情報発信 | 81% | B |
| 108 | 生涯にわたる歯と口の健康づくりの推進 | 95% | B |
| 109 | 市民の健康を支える浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を活用した食育の推進 | 100% | A |
| 110 | 浜松医療センター新病院を2023年度中の開院に向け建設 | 100% | A |
| 111 | 相談支援体制の整備ときめ細かな相談支援の充実 | 100% | A |
| 112 | 手話言語の推進に関する条例の推進 | 100% | A |
| 113 | 措置入院者の退院後支援の実施 | 68% | B |
| 114 | 障害者就労支援施設から一般就労への移行推進 | 88% | B |
| 115 | 地域生活への移行推進のためのグループホームの定員を2022年度までの4年間で100人拡充 | 100% | A |
| 116 | ライフスタイルに応じた多様なスポーツ施策の展開 | 96% | B |
| 117 | 次世代アスリートの育成 | 93% | B |
| 118 | 東京オリパラを契機としたパラスポーツの推進 | 100% | A |
| 119 | eスポーツなど新たな概念の確立と普及推進 | 100% | A |
| 120 | 老人福祉センターを子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」へ転換 | 100% | A |
| 121 | 高齢者継続雇用の促進 | 100% | A |
| 122 | シルバー人材センターとの連携強化 | 98% | B |
| 123 | 地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活動支援と健康づくりの普及推進（再掲） | 100% | A |
| 124 | 自宅等で簡単にできる軽い運動「ロコモーショントレーニング」の普及拡大 | 100% | A |
| 125 | ボランティア活動や介護予防活動を行った人に対してポイントを付与する「ささえあいポイント事業」の普及推進 | 95% | B |
| 126 | シニアクラブによる地域づくり活動の支援 | 75% | B |
| 127 | アクティブ・シニア講座の充実 | 88% | B |
| 128 | 高齢者に対する情報提供や相談窓口の設置 | 100% | A |

参考資料（戦略項目評価）

| ○テーマ | | | | | | |
|-----------------------|---|--|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目（単位） | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ① 在宅福祉・在宅医療の充実 | | | | | | |
| 97 | 地域包括支援センターの相談支援体制の充実 | | | | | |
| | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | 地域包括支援センター総合 相談件数（件） | 45,750 49,384 | 107% | 100% | A |
| 98 | 在宅医療・介護連携相談支援センターの充実 | | | | | |
| | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | 在宅医療・介護連携相談セ ンター相談件数（件） | 960 1,285 | 133% | 100% | A |
| 99 | 認知症の本人・家族に対する支援の推進 | | | | | |
| | ・認知症施策推進事業 《高齢者福祉課》 | 認知症サポーター養成人数 （人） | 4,600 3,565 | 77% | 77% | B |
| 100 | 認知症対応型共同生活介護施設の床数を2022年度までの4年間で108床拡充 | | | | | |
| | ・介護サービス提供基盤整 備費助成事業（補助金） 《介護保険課》 | 認知症対応型共同生活介護 施設の定員（人） | 1,257 1,251 | 99% | 99% | B |
| 101 | 人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発 | | | | | |
| | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | 市民・専門職に対する講演 会・研修会の実施回数（R1 ～累計）（回） | 10 6 | 60% | 60% | B |
| ② 「健康都市・浜松」の展開 | | | | | | |
| 102 | 食de元気応援店を2022年度までに300店に拡充 | | | | | |
| | ・健康支援事業 《健康増進課》 | はままつ食de元気応援店登 録店舗数（店舗） | 258 260 | 100% | 100% | A |
| 103 | 健康増進団体を2022年度までに100団体認証 | | | | | |
| | ・健康づくり推進事業 《健康増進課》 | はままつ健康増進団体認証 数（団体） | 75 80 | 106% | 100% | A |
| 104 | 地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活動支援と健康づくりの普及推進（再掲） | | | | | |
| | ・介護保険事業 《健康増進課》 | 市民いきいきトレーナー登 録数（人） | 130 149 | 114% | 100% | A |
| 105 | 健康づくりに関する情報発信の一元化 | | | | | |
| | ・健康づくり推進事業 《健康増進課》 | 健康応援サイト情報更新数 （件） | 150 124 | 82% | 82% | B |
| 106 | 地区社会福祉協議会の設立・活動推進 | | | | | |
| | ・地域福祉推進事業 《福祉総務課》 | 地区社会福祉協議会の設置 数（団体） | 58 55 | 94% | 94% | B |
| 107 | 地域ボランティアコーナーによる情報発信 | | | | | |
| | ・地域福祉推進事業 《福祉総務課》 | 地域ボランティアコーナー 開設数（か所） | 58 47 | 81% | 81% | B |
| 108 | 生涯にわたる歯と口の健康づくりの推進 | | | | | |
| | ・歯科保健事業 《健康増進課》 | 定期的に歯科検診を受ける 人の割合（%） | 48 45.8 | 95% | 95% | B |

| ○テーマ | | | | | | | |
|--|--|--|---|----------------|-----------------|------|---|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
| 109 | 市民の健康を支える浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を活用した食育の推進 | ・対象事業 《担当課》 | | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 農水産業に係る食育体験の 体験者数 (R1～累計) (人) | 250 1,352 | 540% | 100% | A | |
| ③ 医療体制の充実 | | | | | | | |
| 110 | 浜松医療センター新病院を2023年度中の開院に向け建設 | ・浜松市病院事業 (医療セ ンター資本的支出) 《病院 管理課》 | 新病院整備率 (%) | 2.5 2.5 | 100% | 100% | A |
| H27～28：基本設計、H29～R2：実施設計、R2～5：新病院棟建設工 事、R5～6：3号館・渡り廊下棟改修工事、R7～8：1・2号館解体工 事、R8：渡り廊下棟増築・駐車場設置工事 | | | | | | | |
| ④ 障害のある人への支援の充実 | | | | | | | |
| 111 | 相談支援体制の整備ときめ細かな相談支援の充実 | ・障害者地域生活支援事業 《障害保健福祉課》 | 委託相談支援事業所の再編 (%) | 50 50 | 100% | 100% | A |
| H31：プロポーザルによる事業者選定 H32：整備完了 | | | | | | | |
| 112 | 手話言語の推進に関する条例の推進 | ・障害者地域生活支援事業 《障害保健福祉課》 | 手話奉仕員養成講座受講者 等 (H30～累計) (人) | 150 174 | 116% | 100% | A |
| 113 | 措置入院者の退院後支援の実施 | ・こころの健康づくり推進 事業 《障害保健福祉課》 | 措置入院を経て地域に退院 した人のうち、計画に基づ く支援を実施した人の割合 (%) | 25.0 17.0 | 68% | 68% | B |
| 114 | 障害者就労支援施設から一般就労への移行推進 | ・障害者就労支援事業 《障害保健福祉課》 | 障害者就労支援施設から一 般就労への移行者数 (人) | 159 140 | 88% | 88% | B |
| 115 | 地域生活への移行推進のためのグループホームの定員を2022年度までの4年間で100人拡充 | ・障害者施設整備費助成事 業 (補助金) 《障害保健福祉課》 | グループホームの定員 (人) | 450 493 | 109% | 100% | A |
| ⑤ 生涯スポーツの推進 | | | | | | | |
| 116 | ライフスタイルに応じた多様なスポーツ施策の展開 | ・スポーツ施設運営事業 《スポーツ振興課》 | 生涯スポーツ施設の利用者 数 (千人) | 5,600 5,417 | 96% | 96% | B |
| 117 | 次世代アスリートの育成 | ・スポーツ普及・活性化事 業 《スポーツ振興課》 | 高校生以下の全国大会出場 者数 (人) | 870 812 | 93% | 93% | B |
| 118 | 東京オリパラを契機としたパラスポーツの推進 | ・スポーツ普及・活性化事 業 《スポーツ振興課》 | パラスポーツ体験会等の実 施日数 (日) | 3 4 | 133% | 100% | A |

| ○テーマ | | | | | | |
|---|--|--|------------------------------|-------------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| 119 | eスポーツなど新たな概念の確立と普及推進 ・スポーツ普及・活性化事業 《スポーツ振興課》 | eスポーツの普及 | 情報収集 情報収集 | 100% | 100% | A |
| ⑥ 多世代交流の推進 | | | | | | |
| 120 | 老人福祉センターを子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」へ転換 ・高齢者施設運営事業 《高齢者福祉課》 | ふれあい交流センターへ転換 | 事業者 選定 選定済 | 100% | 100% | A |
| R1：R2～4年度事業者の選定 R2：転換、運営 ※R3年以降は利用者数を指標に設定予定 | | | | | | |
| ⑦ 「70歳現役都市・浜松」の推進 (再掲) | | | | | | |
| 121 | 高齢者継続雇用の促進 ・雇用促進事業 《産業総務課》 | 高齢者活躍宣言事業所認定 事業に係る認定事業所数 (件) | 30 52 | 173% | 100% | A |
| 122 | シルバー人材センターとの連携強化 ・シルバー人材センター支 援事業 《高齢者福祉課》 | シルバー人材センター会員 数 (人) 会員の就業率 (%) | 4,500 4,575 80 77.8 | 101% 97% | 98% | B |
| 123 | 地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活動支援と健康づくりの普及推進 (再掲) ・介護保険事業 《健康増進課》 | 市民いきいきトレーナー登 録数 (人) | 130 149 | 114% | 100% | A |
| 124 | 自宅等で簡単にできる軽い運動「ロコモーショントレーニング」の普及拡大 ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | ロコモーショントレーニング 事業への参加者数 (人) | 15,000 15,151 | 101% | 100% | A |
| 125 | ボランティア活動や介護予防活動を行った人に対してポイントを付与する「ささえあいポイント事業」の普及推進 ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | ささえあいポイント事業の ボランティア登録人数 (人) | 4,400 4,186 | 95% | 95% | B |
| 126 | シニアクラブによる地域づくり活動の支援 ・シニアクラブ支援事業 《高齢者福祉課》 | シニアクラブ加入者率 (%) シルバーサポーター派遣回 数 (回) | 10 8.3 170 114 | 83% 67% | 75% | B |
| 127 | アクティブ・シニア講座※の充実 ・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》 | アクティブ・シニア講座※ 受講者数 (人) | 12,000 10,584 | 88% | 88% | B |
| ※アクティブ・シニア講座：地域の人々の生きがいづくりの推進による「70歳現役都市」の実現を目指し、現代的課題についての学習機会を提供するもの。 | | | | | | |
| 128 | 高齢者に対する情報提供や相談窓口の設置 ・地域福祉推進事業 《福祉総務課》 | 相談窓口における高齢者の 「いきがい相談」に関する 相談件数 (件) | 50 560 | 1120% | 100% | A |

| | | |
|-------------|----------------|----------------------------|
| 重点戦略 | 4 きれいな浜松をいつまでも | |
| 評価結果 | B | 指標達成率の 平均 95% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| No. | 施策 | 指標 達成率 | 評価 |
|-----|---|-----------|----|
| 129 | 家庭系ごみ排出量を2020年度までに350g/人・日に削減 | 84% | B |
| 130 | 生ごみ減量、雑がみ分別、食品ロス削減の推進 | 97% | B |
| 131 | ごみ減量教育の推進 | 80% | B |
| 132 | 新清掃工場及び新破碎処理センターを2024年度の稼働に向け建設 | 100% | A |
| 133 | 西部清掃工場の更新事業計画を2022年度までに策定 | 100% | A |
| 134 | 絶滅危惧種等希少生物の保護対策の推進 | 95% | B |
| 135 | 特定外来生物による被害防止対策の推進 | 100% | A |
| 136 | 佐鳴湖の水環境向上 | 100% | A |
| 137 | フェアトレード及びエシカル消費の啓発促進 | 78% | B |
| 138 | 地球温暖化対策のための国民運動クールチョイスの普及 | 100% | A |
| 139 | 気候変動に対応した適応策の推進 | 100% | A |
| 140 | 日本一の太陽光発電導入をはじめ多彩な再生可能エネルギーの導入（2022年度までに再生可能エネルギーによる電力自給率を15.4%に引き上げる。（2018年現在14.0%）） | 100% | A |
| 141 | 木質バイオマスなど多彩な再生可能エネルギー導入促進 | 100% | A |
| 142 | （株）浜松新電力の事業拡大による浜松版シュタットベルケの構築 | 100% | A |
| 143 | LED化による省エネルギーの推進 | 87% | B |
| 144 | エネルギー効率の良い優れたまち「浜松版スマートタウン」の誘導 | 100% | A |
| 145 | 市域をフィールドにした官民連携によるスマートプロジェクトの推進 | 100% | A |
| 146 | 浜松版バーチャルパワープラントの実現 | 100% | A |

参考資料（戦略項目評価）

| ○テーマ | | | | | | | |
|------------------------------|---------------------------------|--|----------------------------|-----------|-----------------|----|--|
| No | 戦略項目 | 指標項目（単位） | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 | |
| ① ごみ減量天下取り大作戦の展開 | | | | | | | |
| 129 | 家庭系ごみ排出量を2020年度までに350g/人・日に削減 | | | | | | |
| | ・ごみ減量・リサイクル推進事業 《ごみ減量推進課》 | 一人1日あたりの家庭ごみ排出量（g） | 420 495 | 84% | 84% | B | |
| 130 | 生ごみ減量、雑がみ分別、食品ロス削減の推進 | | | | | | |
| | ・ごみ減量・リサイクル推進事業 《ごみ減量推進課》 | ごみの総排出量（t） | 248,724 253,821 | 97% | 97% | B | |
| 131 | ごみ減量教育の推進 | | | | | | |
| | ・ごみ減量・リサイクル推進事業 《ごみ減量推進課》 | 学校連携事業 参加児童数（人） | 22,000 17,739 | 80% | 80% | B | |
| ② 環境にやさしい施設の効率的な運営・建設 | | | | | | | |
| 132 | 新清掃工場及び新破砕処理センターを2024年度の稼働に向け建設 | | | | | | |
| | ・新清掃工場整備事業 《廃棄物処理課》 | PFI事業（設計・建設）の進捗率（%） | 11 11 | 100% | 100% | A | |
| | | H30～R3：造成工事・アプローチ道路工事、R2～3：プラント設計、R3～5：プラント工事 | | | | | |
| | | 施設整備に係る環境影響評価事後調査の進捗率（%） | 26 26 | 100% | | | |
| | | H30～R5：環境調査・猛禽類モニタリング調査、H30～R3：環境保全措置 | | | | | |
| | | 施設整備に係るモニタリング業務の進捗率（%） | 30 30 | 100% | | | |
| | | H30～R3：造成工事・アプローチ道路工事のモニタリング、R2～3：プラント設計のモニタリング、R3～5：プラント工事のモニタリング | | | | | |
| 133 | 西部清掃工場の更新事業計画を2022年度までに策定 | | | | | | |
| | ・西部清掃工場運営事業 《廃棄物処理課》 | 西部清掃工場の更新事業計画策定の進捗率（%） | 5 5 | 100% | 100% | A | |
| | | R1～2：更新事業計画準備、R3～4：同計画策定 | | | | | |
| ③ 生物多様性と生活環境の保全 | | | | | | | |
| 134 | 絶滅危惧種等希少生物の保護対策の推進 | | | | | | |
| | ・生物多様性保全事業 《環境政策課》 | ヤリタナゴ生息数（匹） | 64 61 | 95% | 95% | B | |
| 135 | 特定外来生物による被害防止対策の推進 | | | | | | |
| | ・生物多様性保全事業 《環境政策課》 | クリハラリス生息数（頭） | 18,000 18,000 | 100% | 100% | A | |
| 136 | 佐鳴湖の水環境向上 | | | | | | |
| | ・水質保全事業 《環境保全課》 | 佐鳴湖地域協議会での行動計画の策定及び業務実施 | 次期計画 策定 策定 | 100% | 100% | A | |

| ○テーマ | | | | | | |
|---|---|--|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ④ 消費で社会貢献 | | | | | | |
| 137 | フェアトレード※1及びエシカル消費※2の啓発促進 | | | | | |
| | ・消費生活推進事業 《市民生活課(くらしのセンター)》 | フェアトレードに関する認知度 (%) | 50.0 39.3 | 78% | 78% | B |
| <small>※1 フェアトレード： 発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入し、途上国の生産者や労働者の生活改善や自立を目指す貿易のしくみ。 ※2 エシカル消費：より良い社会に向けた、人・社会・環境・地球に配慮した消費行動。例えば、価格が高くても無農薬の野菜を購入する、太陽光発電で作られた自然エネルギーを購入するなどの消費活動。</small> | | | | | | |
| ⑤ 地球温暖化防止対策の推進 | | | | | | |
| 138 | 地球温暖化対策のための国民運動クールチョイス※の普及 | | | | | |
| | ・地球環境保全貢献事業 《環境政策課》 | 国民運動クールチョイス※への賛同数 (H28～累計) (人) | 9,500 9,521 | 100% | 100% | A |
| <small>※クールチョイス：省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしようという取組。</small> | | | | | | |
| 139 | 気候変動に対応した適応策の推進 | | | | | |
| | ・地球環境保全貢献事業 《環境政策課》 | 気候変動に対応した適応策の認知度 (%) | 28.4 30.5 | 107% | 100% | A |
| ⑥ エネルギー政策の推進 | | | | | | |
| 140 | 日本一の太陽光発電導入をはじめ多彩な再生可能エネルギーの導入(2022年度までに再生可能エネルギーによる電力自給率を15.4%に引き上げる。(2018年現在14.0%)) | | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 | 再エネによる電力自給率 (%) | 14.5 15.1 | 104% | 100% | A |
| 141 | 木質バイオマスなど多彩な再生可能エネルギー導入促進 | | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 | 再エネ導入容量 (MWh) | 725,000 753,930 | 103% | 100% | A |
| 142 | (株)浜松新電力の事業拡大による浜松版シュタットバルク※の構築 | | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 | 総合エネルギー事業の構築 | 一般家庭への電力供給 一般家庭への電力供給 | 100% | 100% | A |
| <small>※シュタットバルク：電力共有やエネルギーサービスだけでなく、地域が抱える課題解決サービス等を提供する「生活総合サービス企業」。</small> | | | | | | |
| 143 | LED化による省エネルギーの推進 | | | | | |
| | ・地球環境保全貢献事業 《環境政策課》 | 市有施設における旧型蛍光灯(年間点灯時間2,000時間以上)のLED化率 (%) | 4.3 4.6 | 106% | 87% | B |
| | ・公園施設改良事業(都市公園LED化事業)《公園管理事務所》 | 指定管理14公園の照明灯LED化率 (%) | 35 37 | 105% | | |
| | ・公園整備事業 《公園課》 | 公園整備における照明のLED化率 (%) | 100 100 | 100% | | |
| | ・道路照明LED化更新事業 《道路企画課》 | 道路照明LED化更新率 (%) | 80 40 | 50% | | |

| ○テーマ | | | | | | |
|--|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ⑦ スマートシティの推進 | | | | | | |
| 144 | エネルギー効率の良い優れたまち「浜松版スマートタウン」の誘導 | | | | | |
| | ・土地利用適正化事業 《土地政策課》 | 浜松版スマートタウン誘導 件数（件） | 3 3 | 100% | 100% | A |
| 145 | 市域をフィールドにした官民連携によるスマートプロジェクトの推進 | | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 | スマートプロジェクトの実 装件数（H28～累計） （件） | 1 1 | 100% | 100% | A |
| 146 | 浜松版バーチャルパワープラント※の実現 | | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 | 浜松市マイクログリッド事 業の進捗状況 | 実証 実証→ 実装 | 100% | 100% | A |
| ※バーチャルパワープラント：「仮想発電所」とも呼ばれ、多数の小規模な発電所 や、電力の需要制御システムを一つの発電所のようにまとめて制御すること。 | | | | | | |

重点戦略

5 安全・安心で強靱な日本一暮らしやすいまち

評価結果

B

指標達成率の
平均

97%

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| No. | 施策 | 指標達成率 | 評価 |
|-----|--|-------|----|
| 147 | 三遠南信自動車道の建設に合わせた幹線道路の整備 | 77% | B |
| 148 | 地域要望事業の着実な推進 | 100% | A |
| 149 | 適性な都市機能の誘導を図る都市計画マスタープランの見直し | 100% | A |
| 150 | 市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 | 100% | A |
| 151 | 拠点間の連携に資する幹線道路の整備 | — | — |
| 152 | 拠点間を結ぶ公共交通の確保 | — | — |
| 153 | IT等を活用した新たな交通システムの導入 | 100% | A |
| 154 | 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の適正化と長寿命化の推進 | — | — |
| 155 | 道路・橋りょうの適切な維持管理（長寿命化の推進） | 100% | A |
| 156 | 河川の適切な維持管理（河川維持管理計画の策定） | 100% | A |
| 157 | 交通事故ワースト1からの脱出（人身交通事故件数をオール浜松で2020年末までに6,000件以下とする。） | 91% | B |
| 158 | 防潮堤を2019年度の完成に向け整備 | 100% | A |
| 159 | 新たな災害情報伝達手段を2021年4月の運用開始に向け整備 | 100% | A |
| 160 | 防災教育の充実 | 100% | A |
| 161 | 重要道路の橋りょうの耐震化対策の推進（2022年度までに重要道路の橋りょうの耐震化率を33%とする。） | 100% | A |
| 162 | 無電柱化推進計画の策定 | 100% | A |
| 163 | 浸水被害に対する総合的な対策の推進 | — | — |
| 164 | 「浜松版グリーンレジリエンス」による天竜美林の多面的機能の維持・拡大 | — | — |
| 165 | エネルギー面で災害時の市民生活を支える仕組みの整備促進 | 100% | A |
| 166 | 建築物の耐震化の促進（2022年度までに建築物の耐震化率を95%とする。） | — | — |
| 167 | フラワーパークの開園50周年（2020年）に向けた魅力の創出 | 93% | B |
| 168 | 動物園のいのちのふれあいゾーンの整備 | 100% | A |
| 169 | 都市の顔となる浜松城公園の整備や浜松城跡の発掘調査の推進 | 90% | B |
| 170 | 消防ヘリコプターの運航体制及び安全管理体制の強化 | — | — |
| 171 | 高所監視カメラの増設による情報収集体制の強化 | 100% | A |
| 172 | 巨大地震に備えた上下水道の期間管路耐震適合率の向上及びマンホールトイレの整備（2022年度までに基幹管路耐震適合率を上水道81%、下水道89%とする。） | 100% | A |
| 173 | 都市部における頻発する大雨による床上浸水軽減のための雨水調整池や排水ポンプなどの整備 | 100% | A |

参考資料（戦略項目評価）

| ○テーマ | | | | | | |
|--------------------------------|---|--|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目（単位） | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ① 地域の活力・魅力をはぐくむみちづくりの推進 | | | | | | |
| 147 | 三遠南信自動車道の建設に合わせた幹線道路の整備 | | | | | |
| | ・三遠南信自動車道関連整備事業 《道路企画課》 | 現道改良区間 整備率 (%) | 18 14 | 77% | 77% | B |
| | | H30：用地補償、橋梁詳細設計、橋梁工、道路工、R1：用地補償、橋梁工、道路工、R2～4橋梁工、道路工 | | | | |
| 148 | 地域要望事業の着実な推進 | | | | | |
| | ・交通安全施設等整備・修繕事業 ・市道整備事業 ・国県道整備事業 ・道路維持修繕事業 ・道路防災事業 ・河川改良事業 ・河川維持修繕事業 《道路企画課、道路保全課、河川課》 | 中規模要望（高判定）の残件数（件） ※平成30年度末時点における累積未実施分 | 335 328 | 102% | 100% | A |
| ② 拠点ネットワーク型都市構造の形成 | | | | | | |
| 149 | 適性な都市機能の誘導を図る都市計画マスタープランの見直し | | | | | |
| | ・都市計画策定事業 《都市計画課》 | 新・都市計画マスタープランの策定 (%) | 90 90 | 100% | 100% | A |
| | | H30：全体構想骨子検討、R1：地域別構想・推進策検討、R2：策定公表 | | | | |
| 150 | 市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 | | | | | |
| | ・スマートインターチェンジ関連整備事業 ・国県道整備事業 ・市道整備事業 ・都市計画道路整備事業 《道路企画課》 | 対象路線 整備率 (%) | 55 55 | 100% | 100% | A |
| | | R1～4：用地、物件補償、道路改良工 | | | | |
| 151 | 拠点間の連携に資する幹線道路の整備 | | | | | |
| | ・国県道整備事業 ・市道整備事業 《道路企画課》 | 対象路線 整備率 (%) | 0 0 | — | — | — |
| | | R1～4：用地、物件補償、道路改良工 R1年度は対象路線が工事中で共用（完了）していないため。R2年度中には一部供用開始予定。 | | | | |
| 152 | 拠点間を結ぶ公共交通の確保 | | | | | |
| | ・公共交通推進事業 《交通政策課》 | 主要な駅・バス停の利用者（千人） | 約27,200 R3.4頃確定 | — | — | — |
| 153 | IT等を活用した新たな交通システムの導入 | | | | | |
| | ・交通計画推進事業 《交通政策課》 | IT等を活用とした地域バスの実証運行（地域） | 1 1 | 100% | 100% | A |

| ○テーマ | | | | | | |
|--|--|---|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ③ 道路・河川・橋りょう施設の適切な維持管理 | | | | | | |
| 154 | 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の適正化と長寿命化の推進 | | | | | |
| | ・アセットマネジメント推進事業 《アセットマネジメント推進課》 | 浜松市公共施設等総合管理計画におけるハコモノ資産充足率 (%) ※ | 70 R2.9頃確定 | — | — | — |
| | | 浜松市公共施設等総合管理計画におけるインフラ資産充足率 (%) ※ | 60 R2.9頃確定 | — | — | — |
| ※充足率=「改修・更新の投資実績額(1年当たり)」/「将来の改修・更新経費試算値(1年当たり)」 | | | | | | |
| 155 | 道路・橋りょうの適切な維持管理(長寿命化の推進) | | | | | |
| | ・道路維持修繕事業 《道路保全課》 | 緊急輸送路等の重要道路上の橋梁の耐震化率 (%) ※重要道路橋梁数：387橋 | 31 | 100% | 100% | A |
| | | | 31 | | | |
| 156 | 河川の適切な維持管理(河川維持管理計画の策定) | | | | | |
| | ・河川維持修繕事業 《河川課》 | 河川管理延長に対する河川点検巡視の実施延長割合 (%) | 41 | 100% | 100% | A |
| | | | 41 | | | |
| 157 | 交通事故ワースト1からの脱出(人身交通事故件数をオール浜松で2020年末までに6,000件以下とする。) | | | | | |
| | ・交通安全推進事業 《道路企画課》 | 人身交通事故発生件数(件) | 6,000 | 91% | 91% | B |
| | | | 6,582 | | | |
| ④ 自然災害に強い強靱な浜松づくりの推進 | | | | | | |
| 158 | 防潮堤を2019年度の完成に向け整備 | | | | | |
| | ・防災計画等整備事業 《危機管理課》 | 防潮堤整備(17.5km)の進捗率 (%) | 100 | 100% | 100% | A |
| | | | 100 | | | |
| 整備完了時期：R1末 | | | | | | |
| 159 | 新たな災害情報伝達手段を2021年4月の運用開始に向け整備 | | | | | |
| | ・防災施設・資機材管理事業 《危機管理課》 | 同報無線を含めた災害情報伝達手段の整備 | 通信システム工事 | 100% | 100% | A |
| | | | 通信システム工事 | | | |
| 整備完了時期：R4末 | | | | | | |
| 160 | 防災教育の充実 | | | | | |
| | ・学校安全事業 《健康安全課》 | 防災ノート活用率 (%) | 100 | 100% | 100% | A |
| | | | 100 | | | |
| | ・防災学習センター管理運営事業 《危機管理課》 | 年間の来館客数(人) | 12,000 | 116% | | |
| | | | 13,927 | | | |
| 161 | 重要道路の橋りょうの耐震化対策の推進(2022年度までに重要道路の橋りょうの耐震化率を33%とする。) | | | | | |
| | ・橋りょう耐震補強事業 《道路保全課》 | 緊急輸送路等の重要道路上の橋梁の耐震化率 (%) | 31 | 100% | 100% | A |
| | | | 31 | | | |
| 162 | 無電柱化推進計画の策定 | | | | | |
| | ・無電柱化推進事業 《道路保全課》 | 無電柱化推進率 (%) ※延長割合 | 9 | 100% | 100% | A |
| | | | 9 | | | |

| ○テーマ | | | | | | |
|-----------------|---------------------------------------|---|------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| | | | (2019) 計画値 実績値 | | | |
| 163 | 浸水被害に対する総合的な対策の推進 | | | | | |
| | ・河川改良事業 《河川課》 | 高塚川流域浸水対策アクションプランに基づく床上浸水戸数の解消割合 (%) | — — | — | — | — |
| | | ※解消割合の検証はアクションプラン中間年にあたるR2年度に実施予定 | | | | |
| 164 | 「浜松版グリーンレジリエンス※」による天竜美林の多面的機能の維持・拡大 | | | | | |
| | ・森林管理事業 《林業振興課》 | 年間間伐実施面積 (ha) | 2,000 R2. 11頃確定 | — | — | — |
| | | ※グリーンレジリエンス：森林の持つ水資源の確保、山地災害防止、生態系保全、CO2の吸収等の多面的機能と、木材を利用した新産業創出、産業振興を同時に進め、地方創生を実現する事業や活動。 | | | | |
| 165 | エネルギー面で災害時の市民生活を支える仕組みの整備促進 | | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 | エネルギー（電力）自給率 (%) | 15.4 16.0 | 103% | 100% | A |
| 166 | 建築物の耐震化の促進（2022年度までに建築物の耐震化率を95%とする。） | | | | | |
| | ・地震対策推進事業 《建築行政課》 | 住宅の耐震化率 (%) | 91 R2. 8頃確定 | — | — | — |
| | | ※耐震改修促進計画における最終年度（R2）目標値：95% | | | | |
| ⑤ 公園施設など憩いの場の整備 | | | | | | |
| 167 | フラワーパークの開園50周年（2020年）に向けた魅力の創出 | | | | | |
| | ・館山寺総合公園運営事業 《緑政課》 | フラワーパークの入園者数 (人) | 490,000 460,286 | 93% | 93% | B |
| 168 | 動物園のいのちのふれあいゾーンの整備 | | | | | |
| | ・施設整備事業 《動物園》 | いのちのふれあいゾーンの整備 | ふれあいゾーン整備 ふれあいゾーン整備 | 100% | 100% | A |
| 169 | 都市の顔となる浜松城公園の整備や浜松城跡の発掘調査の推進 | | | | | |
| | ・公園整備事業 《公園課》 | 浜松城公園歴史ゾーン整備の進捗状況 | 樹木伐採 樹木伐採 | 100% | | |
| | ・浜松城公園整備事業（鹿谷地区） 《公園課》 | 整備率 (%) | 25 18 | 72% | 90% | B |
| | ・浜松城公園長期整備構想推進事業 《緑政課》 | 浜松城跡（元城小跡地）の発掘調査の進捗率 (%) | 25 25 | 100% | | |
| | ・埋蔵文化財調査事業 《文化財課》 | R1：遺構残存状況の確認、R2：遺構範囲確認等の詳細調査、R3：確認された遺構の掘削調査、R4：掘削調査及び補足調査 | | | | |
| ⑥ 迅速な消防・救急体制の整備 | | | | | | |
| 170 | 消防ヘリコプターの運航体制及び安全管理体制の強化 | | | | | |
| | ・消防航空隊運営事業 《警防課》 | 安全運航体制の強化【操縦士計器飛行証明※所持者数】 (人) | 0 0 | — | — | — |
| | | R1：操縦士採用準備のため計画値は0人、R2：計器飛行証明所持者2人採用、R4：計器飛行証明1人取得見込み ※計器飛行証明：航空従事者国家資格技能証明で、航空機の位置及び針路の測定を計器のみに依存して飛行を行うことができる国家資格。 | | | | |

| ○テーマ | | | | | | |
|--------------------|--|-----------------------------------|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| 171 | 高所監視カメラの増設による情報収集体制の強化 | | | | | |
| | ・対象事業 《担当課》 | 指標項目 (単位) | | | | |
| | ・消防情報通信ネットワーク事業 《情報指令課》 | 情報収集体制強化率 (%) | 100 100 | 100% | 100% | A |
| | | R1：高所監視カメラの更新及び新規設置 | | | | |
| ⑦ 生活を支える上下水道の維持・提供 | | | | | | |
| 172 | 巨大地震に備えた上下水道の期間管路耐震適合率の向上及びマンホールトイレの整備 (2022年度までに基幹管路耐震適合率を上水道81%、下水道89%とする。) | | | | | |
| | ・管路耐震化事業 《水道工事課》 | 基幹管路耐震適合率 (%) | 73.0 73.3 | 100% | | |
| | ・地震対策事業 《下水道工事課》 | 基幹管渠の耐震化率 (%) | 88.7 98.9 | 111% | 100% | A |
| | ・防災施設・資機材管理事業 《危機管理課》 | マンホールトイレ整備箇所 数 (箇所) | 5 5 | 100% | | |
| | | 整備完了時期：R4末 | | | | |
| 173 | 都市部における頻発する大雨による床上浸水軽減のための雨水調整池や排水ポンプなどの整備 | | | | | |
| | ・浸水対策事業 《下水道工事課》 | 都市部における雨水調整池 や排水ポンプ等整備率 (%) | 85.0 86.0 | 101% | 100% | A |

重点戦略

6 市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり

評価結果

B

指標達成率の
平均

90%

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| No. | 施策 | 指標達成率 | 評価 |
|-----|---|-------|----|
| 174 | 次代の音楽文化を担う人材育成拠点「(仮称)市民音楽ホール」を2020年度までに整備 | 100% | A |
| 175 | 世界の創造都市と連携した響きの創造プロジェクト(2020文化プログラム)の推進(再掲) | 45% | C |
| 176 | 浜松版アーツカウンシルの推進と市民の創造的活動を支援する新たな伴走型助成制度の創設 | 77% | B |
| 177 | アクトシティ浜松の計画的な改修整備に向けた準備 | 100% | A |
| 178 | 国際ピアノコンクールや吹奏楽大会の実施とやらフェスなど市民主体の音楽イベントの支援 | 91% | B |
| 179 | 環境の変化に対応した新たな文化振興ビジョンの策定 | 100% | A |
| 180 | インターカルチュラル・シティをはじめとした国内外の連携を通じた多文化共生の推進 | 62% | B |
| 181 | 国際会議を通じた「多文化共生都市・浜松」の発信 | 100% | A |
| 182 | 国の制度改正等を踏まえた多文化共生の推進 | 62% | B |
| 183 | 浜松科学館事業の充実(2019年7月リニューアルオープン) | 100% | A |
| 184 | 浜松ゆかりの美術文化等に触れる機会の充実 | 94% | B |
| 185 | 地域コミュニティとの協働の推進 | — | — |
| 186 | 地域コミュニティの活動支援 | 100% | A |
| 187 | 協働センターの機能拡充 | — | — |
| 188 | 史跡整備を活かしたまちづくりの推進 | 100% | A |
| 189 | 文化財保存活用地域計画の策定 | 100% | A |
| 190 | 無形民俗文化財の次世代継承 | 100% | A |
| 191 | 地域課題の解決や地域の特性を活かした取組の支援(地域力向上事業) | 82% | B |
| 192 | 中山間地域のまちづくりや移住の支援 | 85% | B |
| 193 | 必要な情報へのアクセスが保証される環境づくり | 100% | A |
| 194 | 多様性の理解や思いやりの心の醸成 | 100% | A |
| 195 | JR弁天島駅、遠鉄八幡駅など主要駅のバリアフリー化の推進 | 60% | B |
| 196 | ビーチ・マリンスポーツ施設の整備(2021年度までに江之島ビーチコートを整備) | 100% | A |
| 197 | ビーチ・マリンスポーツ大会の誘致等の推進 | 100% | A |
| 198 | 「ビーチ・マリンスポーツ推進協議会」を核とした官民連携事業の推進 | 95% | B |
| 199 | 大規模スポーツ大会、スポーツイベント、合宿誘致の推進(再掲) | 100% | A |
| 200 | ラグビーW杯の事前合宿の受入 | — | — |
| 201 | 東京オリパラにおけるブラジルホストタウンの推進 | 97% | B |
| 202 | 野球場を有する遠州灘海浜公園(篠原地区)整備に向けた静岡県との連携強化 | 100% | A |
| 203 | 四ツ池公園スポーツ施設再整備の検討 | 100% | A |

参考資料（戦略項目評価）

| ○テーマ | | | | | | |
|--|--|------------------------------------|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目（単位） | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ① 「音楽の都・浜松」のさらなる飛躍 | | | | | | |
| 174 | 次代の音楽文化を担う人材育成拠点「（仮称）市民音楽ホール」を2020年度までに整備 | | | | | |
| | ・文化施設管理事業 《創造都市・文化振興課》 | 整備率（%） | 5 5 | 100% | 100% | A |
| H30：基本設計・実施設計、R1～2：建設工事 | | | | | | |
| 175 | 世界の創造都市と連携した響きの創造プロジェクト（2020文化プログラム）の推進（再掲） | | | | | |
| | ・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》 | イベント参加者数（人） | 5,000 2,265 | 45% | 45% | C |
| 176 | 浜松版アーツカウンシル※の推進と市民の創造的活動を支援する新たな伴走型助成制度の創設 | | | | | |
| | ・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》 | 浜松市創造都市推進事業補助金採択件数（件） | 22 17 | 77% | 77% | B |
| ※アーツカウンシル：市民が主体となって文化活動の活性化を図り、文化芸術がもたらす効果をまちづくり、観光振興、教育、福祉等に波及させ、文化活動の経済的自立、地域課題解決に向けた活動を行う組織。 | | | | | | |
| 177 | アクトシティ浜松の計画的な改修整備に向けた準備 | | | | | |
| | ・文化施設管理事業 《創造都市・文化振興課》 | アクトシティ浜松改修計画策定及び改修整備 | 計画策定 計画策定 | 100% | 100% | A |
| 178 | 国際ピアノコンクールや吹奏楽大会の実施とやらフェスなど市民主体の音楽イベントの支援 | | | | | |
| | ・音楽文化発信・交流事業 ・市民音楽文化振興事業 ・芸術文化人材育成事業 《創造都市・文化振興課》 | 国際的音楽イベント等の開催日数（日） | 71 88 | 123% | 91% | B |
| | | 音楽イベントに参加する市民団体等の数（団体） | 1,510 1,260 | 83% | | |
| 179 | 環境の変化に対応した新たな文化振興ビジョンの策定 | | | | | |
| | ・文化推進運営経費 《創造都市・文化振興課》 | 新たな文化振興ビジョンの策定 | ビジョン策定 ビジョン策定 | 100% | 100% | A |
| ② 多文化共生の世界的モデル都市の推進 | | | | | | |
| 180 | インターカルチュラル・シティ※をはじめとした国内外の連携を通じた多文化共生の推進 | | | | | |
| | ・多文化共生推進事業 《国際課》 | 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりの市民満足度（%） | 15 9.4 | 62% | 62% | B |
| ※インターカルチュラルシティ：欧州協議会が2008年から進めている「文化的多様性を脅威ではなくむしろ好機と捉え、都市の活力や革新、創造、成長の源泉とする都市政策」に賛同する欧州を中心としたネットワークに参加する都市。 | | | | | | |
| 181 | 国際会議を通じた「多文化共生都市・浜松」の発信 | | | | | |
| | ・国際交流連携推進事業 《国際課》 | 国際会議参加数（回） | 2 2 | 100% | 100% | A |
| 182 | 国の制度改正等を踏まえた多文化共生の推進 | | | | | |
| | ・多文化共生推進事業 《国際課》 | 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりの市民満足度（%） | 15 9.4 | 62% | 62% | B |

| ○テーマ | | | | | | |
|----------------------------|---------------------------------------|--|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ③ 生涯学習の充実 | | | | | | |
| 183 | 浜松科学館事業の充実 (2019年7月リニューアルオープン) | | | | | |
| | ・生涯学習施設運営事業 《創造都市・文化振興課》 | 浜松科学館の来館者数 (人) | 187,500 248,155 | 132% | 100% | A |
| 184 | 浜松ゆかりの美術文化等に触れる機会の充実 | | | | | |
| | ・美術館展覧会開催事業 ・秋野不矩美術館展覧会事業 《美術館》 | 収蔵品展観覧者数 (人) | 9,000 8,476 | 94% | 94% | B |
| ④ 市民協働・地域コミュニティの推進 | | | | | | |
| 185 | 地域コミュニティとの協働の推進 | | | | | |
| | ・市民協働推進事業 《市民協働・地域政策課》 | 市と多様な主体との協働件数 (件) | 160 R2.8項確定 | — | — | — |
| 186 | 地域コミュニティの活動支援 | | | | | |
| | ・自治会等コミュニティ振興事業 《市民協働・地域政策課》 | 地域組織による協働センター等の管理委託施設数 (H29～累計) (件) | 3 3 | 100% | 100% | A |
| 187 | 協働センターの機能拡充 | | | | | |
| | ・自治会等コミュニティ振興事業 《市民協働・地域政策課》 | | | — | — | — |
| ⑤ 地域特性を活かしたまちづくりの推進 | | | | | | |
| 188 | 史跡整備を活かしたまちづくりの推進 | | | | | |
| | ・文化財活用地域連携事業 《文化財課》 | 各区協議会、まちづくり協議会等地域団体との延べ会合数 (件) | 5 6 | 120% | 100% | A |
| 189 | 文化財保存活用地域計画の策定 | | | | | |
| | ・文化財保護継承事業 《文化財課》 | 浜松地域遺産推薦受理件数 (H28～累計) (件) | 260 310 | 119% | 100% | A |
| 190 | 無形民俗文化財の次世代継承 | | | | | |
| | ・文化財活用地域連携事業 《文化財課》 | 無形民俗文化財保護団体連絡会が芸能、祭礼等を伝承する次世代の延べ人数 (人/年) | 50 90 | 180% | 100% | A |
| 191 | 地域課題の解決や地域の特性を活かした取組の支援 (地域力向上事業) | | | | | |
| | ・地域力向上事業 《市民協働・地域政策課、各区区振興課》 | 地域力向上事業の実施件数 (件) | 139 114 | 82% | 82% | B |
| 192 | 中山間地域のまちづくりや移住の支援 | | | | | |
| | ・中山間地域まちづくり事業 《市民協働・地域政策課》 | 中山間地域まちづくり事業採択事業数 (H24～累計) (事業) | 19 19 | 100% | 85% | B |
| | ・居住促進事業 《市民協働・地域政策課》 | 市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数 (人) | 30 21 | 70% | | |

| ○テーマ | | | | | | |
|---|---|--|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目 (単位) | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ⑥ ユニバーサルデザイン都市の推進 | | | | | | |
| 193 | 必要な情報へのアクセスが保証される環境づくり | | | | | |
| | ・ユニバーサルデザイン推進事業 《UD・男女共同参画課》 | 音声文字化アプリケーションの利用実績 (件) | 20 28 | 140% | 100% | A |
| 194 | 多様性の理解や思いやりの心の醸成 | | | | | |
| | ・ユニバーサルデザイン推進事業 《UD・男女共同参画課》 | UD市民リーダー養成に伴う講座受講者数 (人) | 20 32 | 160% | 100% | A |
| 195 | JR弁天島駅、遠鉄八幡駅など主要駅のバリアフリー化の推進 | | | | | |
| | ・公共交通推進事業 《交通政策課》 | JR弁天島駅、遠鉄八幡駅バリアフリー化整備率 (%) | 10 2 | 20% | 60% | B |
| | | 【JR弁天島駅】R1:調査、R2:交通事業者との協議、R3:詳細設計、R4:整備工事 【遠鉄八幡駅】R1:交通事業者との協議、R2:詳細設計、R3~4整備工事 | | | | |
| | ・交通安全施設等整備・修繕事業 《道路企画課》 | JR弁天島駅 (国道301号) UD化整備率 (%) | 5 5 | 100% | | |
| | | R1:詳細設計、R2~4:UD化工事 | | | | |
| ⑦ 「ビーチ・マリンスポーツの聖地」の確立 | | | | | | |
| 196 | ビーチ・マリンスポーツ施設の整備 (2021年度までに江之島ビーチコートを整備) | | | | | |
| | ・ビーチスポーツ施設整備事業 《公園管理事務所、公園課》 ・ビーチ・マリンスポーツ推進事業 | ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチサッカー、ビーチラグビー等のビーチスポーツコートの整備 | サブコート完成 サブコート完成 | 100% | 100% | A |
| 197 | ビーチ・マリンスポーツ大会の誘致等の推進 | | | | | |
| | ・ビーチ・マリンスポーツ推進事業 《スポーツ振興課》 | ビーチ・マリンスポーツの東海大会以上の大会開催数 (件) | 7 18 | 257% | 100% | A |
| 198 | 「ビーチ・マリンスポーツ推進協議会」を核とした官民連携事業の推進 | | | | | |
| | ・シティプロモーション事業 《観光・シティプロモーション課》 | 浜松市の魅力度 (位) | 42 44 | 95% | 95% | B |
| ⑧ 大型スポーツイベント (ラグビーW杯、東京オリパラ) の支援 | | | | | | |
| 199 | 大規模スポーツ大会、スポーツイベント、合宿誘致の推進 (再掲) | | | | | |
| | ・大型スポーツイベント等誘致事業 《スポーツ振興課》 | 事前合宿、スポーツイベント等誘致数 (件) | 10 20 | 200% | 100% | A |
| 200 | ラグビーW杯の事前合宿の受入 | | | | | |
| | ・大型スポーツイベント等誘致事業 《スポーツ振興課》 | 欧米豪からの外国人宿泊者客数 (千人) | 36 R2.10頃確定 | — | — | — |
| | | ※R1年度事業終了 | | | | |
| 201 | 東京オリパラにおけるブラジルホストタウンの推進 | | | | | |
| | ・ブラジルホストタウン交流事業 《スポーツ振興課》 | ブラジル選手団との交流人数 (人) | 1,700 1,664 | 97% | 97% | B |
| | | ※R3年度事業終了 | | | | |

| ○テーマ | | | | | | |
|---------------|--|-------------------------------|----------------------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ⑨ 大型スポーツ施設の整備 | | | | | | |
| 202 | 野球場を有する遠州灘海浜公園（篠原地区）整備に向けた静岡県との連携強化 | | | | | |
| | ・公園整備事業 《公園課》 ・スポーツ施設運営事業 《スポーツ振興課》 | 新野球場を含めた遠州灘海浜公園の施設整備等に向けた進捗状況 | 県協議（基本計画） 県協議（基本計画） | 100% | 100% | A |
| 203 | 四ツ池公園スポーツ施設再整備の検討 | | | | | |
| | ・スポーツ施設運営事業 《スポーツ振興課》 | 四ツ池公園運動施設再整備 | 委員会協議 委員会協議 | 100% | 100% | A |

| | | |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 重点戦略 | 7 持続可能な都市経営の推進 | |
| 評価結果 | B | 指標達成率の 平均 97% |

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

| No. | 施策 | 指標 達成率 | 評価 |
|-----|---|-----------|----|
| 204 | 行政区再編の実施 | — | — |
| 205 | 地域委員会の創設 | — | — |
| 206 | 持続可能な行財政運営（2022年度末までに総市債残高を4,558億円以下、市民一人当たり市債残高を577千円以下とする。） | 100% | A |
| 207 | 機動性を確保するための業務改善の推進 | 100% | A |
| 208 | 内部統制制度の構築と市民への公表 | 100% | A |
| 209 | 民間事業者等の保有する経営資源の積極的な活用 | 100% | A |
| 210 | 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の適正化と長寿命化の推進（再掲） | — | — |
| 211 | PFIや指定管理者制度等の官民連携の積極的な導入と適正な制度運用 | 100% | A |
| 212 | 遊休資産の活用及び借地の解消 | 100% | A |
| 213 | AI等先進技術を活用した市民サービスの向上と業務の効率化の推進 | 100% | A |
| 214 | オープンデータの利活用推進 | 100% | A |
| 215 | マイナンバーカードの普及促進 | 100% | A |
| 216 | 新・三遠南信地域連携ビジョンの推進 | 85% | B |
| 217 | 遠州地域の各市町との連携による共通課題の解決 | 88% | B |
| 218 | 「しずおか型特別自治市」の推進 | 100% | A |
| 219 | SDGsの戦略的な推進 | 100% | A |

参考資料（戦略項目評価）

| ○テーマ | | | | | | |
|---------------------------|---|---|--|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 | 指標項目（単位） | R1 (2019) 計画値 実績値 | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| ① 未来のための行政区再編の実現 | | | | | | |
| 204 | 行政区再編の実施 | | | — | — | — |
| | ・区制検討事業 《企画課》 | | | | | |
| 205 | 地域委員会の創設 | | | — | — | — |
| | ・自治会等コミュニティ振 興事業 《市民協働・地域政策課》 | | | | | |
| ② 市民生活を支える行財政改革の推進 | | | | | | |
| 206 | 持続可能な行財政運営（2022年度末までに総市債残高を4,558億円以下、市民一人当たり市債残高を577千円以下とする。） | | | | | |
| | ・財政状況公表事業 《財政課》 | 市民一人あたりの市債残高 (千円以下) | 582 | 103% | 100% | A |
| | | | 560 | | | |
| | | 総市債残高（億円以下） | 4,653 | 103% | | |
| | | | 4,484 | | | |
| 207 | 機動性を確保するための業務改善の推進 | | | | | |
| | ・経営改革推進事業 《政策法務課》 | 事業の廃止及び見直しの実 施 | 全事業 見直しの 実施 全事業 見直しの 実施 | 100% | 100% | A |
| 208 | 内部統制制度※の構築と市民への公表 | | | | | |
| | ・経営改革推進事業 《政策法務課》 | 内部統制に係る推進体制等 の整備・運用 | 整備 整備 | 100% | 100% | A |
| | | ※地方公共団体における内部統制：地方自治法等の一部を改正する法律(平成29年法律第54号)により、住民の福祉の増進を図ることを基本とする組織目的が達成されるよう、行政サービスの提供等の事務を執行する主体である長自らが、組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別及び評価し、対応策を講じることで、事務の適正な執行を確保すること。 | | | | |
| 209 | 民間事業者等の保有する経営資源の積極的な活用 | | | | | |
| | ・経営改革推進事業 《政策法務課》 | 庁内・外への民間活力の導 入に関する制度周知及び啓 発の実施回数（回） | 3 3 | 100% | 100% | A |
| ③ ファシリティマネジメントの推進 | | | | | | |
| 210 | 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の適正化と長寿命化の推進（再掲） | | | | | |
| | ・アセットマネジメント推 進事業 《アセットマネジメント推進課》 | 浜松市公共施設等総合管理 計画におけるハコモノ資産 充足率（%）※ | 70 | — | — | — |
| | | | R2.9項確定 | | | |
| | | 浜松市公共施設等総合管理 計画におけるインフラ資産 充足率（%）※ | 60 | — | | |
| | | | R2.9項確定 | | | |
| | ※充足率＝「改修・更新の投資実績額（1年当たり）」／「将来の改修・更新経費試算値（1年当たり）」 | | | | | |
| 211 | PFIや指定管理者制度等の官民連携の積極的な導入と適正な制度運用 | | | | | |
| | ・アセットマネジメント推 進事業 《アセットマネジメント推進課》 | 浜松市公共施設等総合管理 計画による官民連携手法の 導入・活用 | 制度運用 制度運用 | 100% | 100% | A |

| ○テーマ | | | | | | |
|-----------------------------|---|-----------------------------------|--------------|-----------|-----------------|----|
| No | 戦略項目 ・対象事業 《担当課》 | 指標項目（単位） | R1 (2019) | 指標 達成率 | 平均 指標 達成率 | 評価 |
| | | | 計画値 実績値 | | | |
| 212 | 遊休資産の活用及び借地の解消 | | | | | |
| | ・公有財産維持管理事業 ・借地解消事業 《アセットマネジメント推進課》 | 遊休財産の売却額（億円） | 3 | 106% | 100% | A |
| | | | 3.2 | | | |
| | | 借地料の削減額（億円） | 0.1 | 160% | | |
| | | | 0.16 | | | |
| ④ スマート自治体の推進 | | | | | | |
| 213 | AI等先進技術を活用した市民サービスの向上と業務の効率化の推進 | | | | | |
| | ・ICT戦略推進事業 《情報政策課》 | AI・RPA等先進技術導入件数（件） | 10 | 190% | 100% | A |
| | | | 19 | | | |
| 214 | オープンデータの利活用推進 | | | | | |
| | ・市政広報事業 《広聴広報課》 | オープンデータ提供件数（件） | 260 | 100% | 100% | A |
| | | | 261 | | | |
| 215 | マイナンバーカードの普及促進 | | | | | |
| | ・戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等事業 《市民生活課》 ・経営改革推進事業 《政策法務課》 | マイナンバーカード普及率（%） | 12 | 100% | 100% | A |
| | | | 12.1 | | | |
| ⑤ 多様な地域経営の推進 | | | | | | |
| 216 | 新・三遠南信地域連携ビジョンの推進 | | | | | |
| | ・広域行政推進事業 《企画課》 | 三遠南信地域連携ビジョン重点プロジェクトの実施件数（件） | 28 | 85% | 85% | B |
| | | | 24 | | | |
| 217 | 遠州地域の各市町との連携による共通課題の解決 | | | | | |
| | ・広域行政推進事業 《企画課》 | 遠州広域行政推進会議での調査・研究件数（H27～累計）（件） | 9 | 88% | 88% | B |
| | | | 8 | | | |
| 218 | 「しずおか型特別自治市」の推進 | | | | | |
| | ・大都市制度調査研究事業 《企画課》 | 特別自治市の法制化に向けた国への働きかけ回数（H27～累計）（回） | 13 | 107% | 100% | A |
| | | | 14 | | | |
| ⑥ 持続可能な開発目標（SDGs）の推進 | | | | | | |
| 219 | SDGsの戦略的な推進 | | | | | |
| | ・浜松市総合計画推進事業 《企画課》 | SDGs官民連携プラットフォーム参加団体（団体） | 50 | 366% | 100% | A |
| | | | 183 | | | |



浜松市
HAMAMATSU CITY

浜松市戦略計画 2019 評価レポート

編集・発行：浜松市企画調整部企画課

発行年月：令和2年7月

住所：〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2

TEL 053-457-2241 FAX 050-3730-1867

E-mail：kikaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL：<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>